NTT docomo

F-05E

ARROWS Tab

取扱説明書　’12.11

はじめに

「F-05E」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作説明

「クイックスタートガイド」（冊子）

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明しています。

「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）（本端末に搭載）

すべての機能の案内や操作について説明しています。
〈操作手順〉アプリケーションメニューで［取扱説明書］→検索方法を選択

「取扱説明書」を削除した場合には、Playストアで Google Playのサイトにアクセスして再度ダウンロードすることができます。
〈操作手順〉アプリケーションメニューで［Playストア］→「取扱説明書」を検索して「取扱説明書」アプリを選択→［インストール］

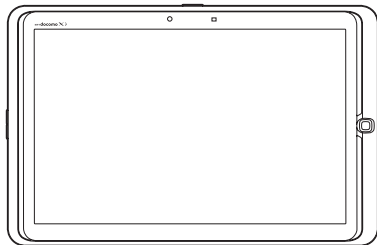
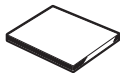
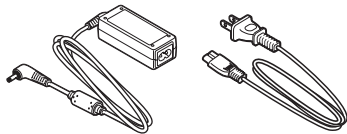
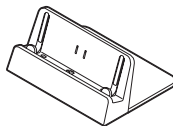
「取扱説明書」（PDFファイル）

すべての機能の案内や操作について説明しています。
〈パソコンから〉http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※最新情報がダウンロードできます。

本書の見かた

- 本書においては、「F-05E」を「本端末」と表記しています。
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書は、ホームアプリがdocomo Palette UIで、ファミリー利用設定が「標準モード」の場合で説明しています。
- 本書内の「認証操作」という表記は、機能に応じて暗証番号やパスワードなどを入力する操作、または指紋認証を行う操作を表しています。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

■F-05E（保証書含む）

■クイックスタートガイド

■AC アダプタ F07（保証書付き）

■卓上ホルダ F39

■アンテナ付イヤホン変換ケーブル（試供品）
（取扱説明書付き）

□その他のオプション品→P148

目　次

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れることがありますので、ご了承ください。
- 本端末は、無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の送信内容と異なって受信される場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容（連絡先、スケジュール、メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本端末は、Xiエリア、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本端末はｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなどには対応しておりません。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカードやFOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。
- 本端末は、音声通話およびデジタル通信（テレビ電話、64Kデータ通信）には対応しておりません。
- 本端末ではマナーモード中でも、シャッター音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、Bluetooth Low Energy設定のFind Me通知音は消音されません。
- お客様の電話番号（自局番号）は以下の手順で確認できます。
  アプリケーションメニューで［ドコモ電話帳］→［マイプロフィール］
- 本端末は、データの同期や最新ソフトウェアバージョンをチェックするための通信やサーバーとの接続を維持するための通信などを一部自動的に行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリケーションやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P158

- 端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後に、古いバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- microSDカードや端末の容量がいっぱいに近い状態のときに、起動中のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。そのときは保存しているデータを削除してください。
- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスを他人に利用されないように、パソコンから各種アカウントのパスワードを変更してください。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードを設定し、端末のセキュリティを確保してください。→P95
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットVPN設定はPPTPのみに限定）以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要です。
- ご利用の料金プランにより、テザリングご利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- モバキャスは通信と連携したサービスであるため、サービスのご利用にはパケット通信料が発生します。パケット定額サービスの加入をおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

絵表示	内容
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

◆本端末、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードの取り扱い（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能についてはこちらをご参照ください。→P19「防水／防塵性能」

指示

本端末に使用するアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらアプリケーションやワンセグ視聴などを長時間行うと本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

◆本端末の取り扱い

■ 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表　示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムポリマー電池

⚠危険

禁止

火の中に投下しないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

禁止

本端末内のドコモminiUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で携帯電話が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスなどの破片や露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部には強化ガラス、カメラのレンズにはプラスチックパネルを使用し飛散りにくい構造になっておりますが、万が一割れた場合に破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠注意

禁止

アンテナなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質について→P12「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

◆アダプタ、卓上ホルダの取り扱い

⚠警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

◆ドコモminiUIMカードの取り扱い

⚠注意

指示

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

◆医用電気機器近くでの取り扱い

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

◆材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
ディスプレイパネル		強化ガラス／AFコーティング
外装ケース	表示側	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	背面側	PC樹脂／UV硬化処理
TVアンテナ	アンテナ先端部	PC+ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	パイプ部	ステンレス鋼
	根元屈曲部	ニッケルチタン合金
	根元回転部	ステンレス鋼／ニッケルメッキ
カメラパネル		高強度アクリル樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
電源キー		PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
音量キー		PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
ステレオイヤホン端子		PA樹脂
外部接続端子		ステンレス鋼／錫メッキ
端子キャップ		PC樹脂＋ポリエステル系エラストマー樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理

使用箇所	材質／表面処理
スロットキャップ	PC樹脂＋ポリエステル系エラストマー樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
指紋センサー	フレキシブルプリント基板
充電端子	ステンレス鋼／金メッキ

■ACアダプタ F07

使用箇所		材質／表面処理
ケース		PC樹脂
ラベル		ポリエステル／PET
ACインレット	樹脂部	PBT、GF複合
	金属部	黄銅／ニッケルメッキ
コード外皮		PVC樹脂
DCプラグ	樹脂部	PVC樹脂
	金属部	黄銅／ニッケルメッキ

■卓上ホルダ F39

使用箇所		材質／表面処理
外装ケース	上ケース	ABS樹脂
	背面ケース	ABS樹脂
	下ケース	ABS樹脂
充電端子	端子レバー	POM樹脂
	接点部	C5191W-H／金メッキ
ゴム足		PORON

取り扱い上のご注意

◆共通のお願い

- **F-05Eは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。**
  - アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
    また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末などに無理な力がかからないように使用してください。**
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子やステレオイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

◆本端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  - タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  - 温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。風呂場でのご使用については、「F-05Eが有する防水性能でできること」をご覧ください。→P19
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **外部接続端子やステレオイヤホン端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は端子キャップとスロットキャップを閉じた状態でご使用ください。**
  - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。**
  - 指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- **指紋センサーは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で清掃してください。**
  - 指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していたりすると、指紋の読み取りができなくなり、認証性能の低下や誤動作の原因となります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。

- **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
  - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- **内蔵電池は消耗品です。**
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**
- **内蔵電池を保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

◆ アダプタについてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
  - 故障の原因となります。

◆ ドコモminiUIMカードについてのお願い

- **ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**

- **お客様ご自身でドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  - 故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。**
  - 故障の原因となります。

◆Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- **本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。**
- **Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**
- **周波数帯について**
  本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。
  使用周波数帯域：2400MHz帯
  変調方式：FH-SS方式およびその他の方式（DS-SS方式／DS-FH方式／FH-OFDM複合方式／OFDM方式以外）
  想定される与干渉距離：10m以下
  周波数変更の可否：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

Bluetooth機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆無線LAN（WLAN）についてのお願い

- **無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。**
- **無線LANについて**
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- **周波数帯について**
  WLAN搭載機器が使用する周波数帯は次のとおりです。
  使用周波数帯域：2400MHz帯
  変調方式：DS-SS方式、OFDM方式
  想定される与干渉距離：40m以下
  周波数変更の可否：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能
  本端末に内蔵の無線LANを5.2／5.3GHzでご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。
  利用可能なチャンネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
  航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

5GHz機器使用上の注意事項

本端末が日本で使用できるチャンネル番号と周波数は次のとおりです。

5.2GHz帯

チャンネル番号（Ch）	周波数（MHz）
36	5,180
40	5,200
44	5,220
48	5,240

5.3GHz帯

チャンネル番号（Ch）	周波数（MHz）
52	5,260
56	5,280
60	5,300
64	5,320

5.6GHz帯

チャンネル番号（Ch）	周波数（MHz）
100	5,500
104	5,520
108	5,540
112	5,560
116	5,580
120	5,600
124	5,620
128	5,640
132	5,660
136	5,680
140	5,700

◆注意

- **改造された端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク㊦」が本端末の電子銘版に表示されております。電子銘板は、本端末で次の操作を行うとご確認いただけます。
  アプリケーションメニューで［設定］→［端末情報］→［認証］
  本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
  技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **Bluetooth機能は日本国内で使用してください。**
  本端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。
- **通信中は、本端末を身体から15mm以上離してご使用ください。**

防水／防塵性能

F-05Eは、端子キャップとスロットキャップをしっかりと閉じた状態で、IPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP5X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信端末としての機能を有することを意味します。

※2 F-05EにおけるIPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所にF-05Eを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信端末としての機能を有することを意味します。

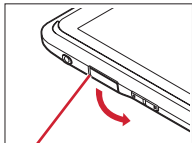
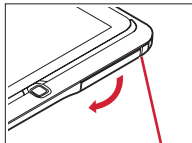
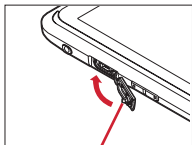
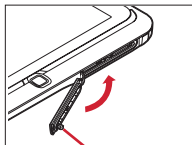
※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に通信端末を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに通信端末としての機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

❖F-05Eが有する防水性能でできること

- **1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通信ができます。**
  - 手が濡れているときや端末に水滴がついているときには、端子キャップやスロットキャップの開閉はしないでください。
- **水深1.5mのプールの中に沈めることができます。**
  - 水中で操作しないでください。
  - プールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
  - プールの水がかかったり、プールの水に浸けたりした場合は、所定の方法（→P22）で水抜きしてください。
- **風呂場で使用できます。**
  - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。
    万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（→P22）で水抜きしてください。
  - 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
    万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、所定の方法（→P22）で洗い流してください。
  - 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
  - 急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かい風呂などに本端末を持ち込むときは、本端末が常温になるまで待ってください。
  - 蛇口やシャワーから水やお湯などをかけないでください。

◆防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- ドコモminiUIMカードやmicroSDカードの取り付け／取り外し時や外部接続端子を使用するときには、次の図に示すミゾに指を掛けてキャップを開けてください。

また、ドコモminiUIMカードやmicroSDカードの取り付け／取り外し後や外部接続端子使用後は次の図の示す方向にキャップを閉じ、ツメを押し込んでキャップの浮きがないことを確認してください。

- 端子キャップとスロットキャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
- ステレオイヤホン端子、マイク、スピーカーなどを尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 端子キャップ、スロットキャップのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉

石鹸／洗剤／入浴剤をつける

ブラシ／スポンジで洗う

洗濯機で洗う

強すぎる水流を当てる

海水につける

温泉で使う

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。付属の卓上ホルダに端末を差し込んだ状態で動画再生などをする場合、ACアダプタを接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 規定（→P19）以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。F-05EはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水やプールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。電源端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- ステレオイヤホン端子、マイク、スピーカーに水滴を残さないでください。動作不良となる恐れがあります。
- 端子キャップやスロットキャップが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 端子キャップやスロットキャップのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取替えください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

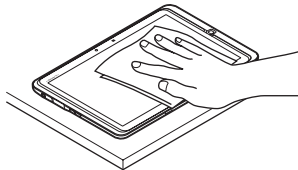
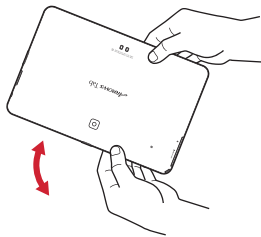
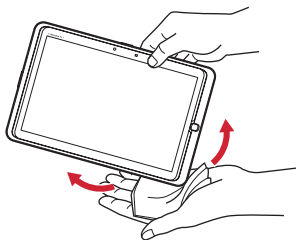
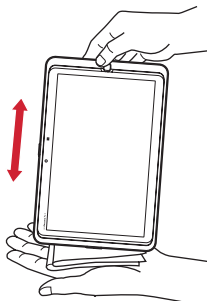
◆本端末の洗いかた

強くこすらずに水道水で手洗いしてください。このとき、端末を両手で持ち替えながら端子キャップやスロットキャップを押さえ、キャップに直接水道水がかからないように注意してください。

- 規定（→P19）以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。
- ブラシやスポンジ、石鹸、洗剤などは使用しないでください。
- 泥や土が付着している場合は操作をせず、まず洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落としてから、流水で洗い流してください。
- 洗い流した後は表面を乾いた布でよく拭いて、次の方法で水抜きを行った後、自然乾燥させてください。

◆水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、下記の手順で水抜きを行ってください。

① 本端末を安定した台などに置き、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

② 本端末のディスプレイ面を下にして、長い辺を両手でしっかりと持ち、10回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。その後、180度持ち替えて同様に10回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。

③ 外周部の隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末の四隅を各10回程度振るように押し当てて拭き取ってください。

④ ステレオイヤホン端子、マイク、スピーカー、キー、充電端子などの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて拭き取ってください。

⑤ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

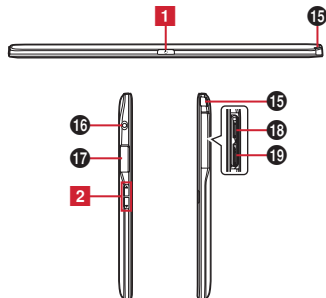
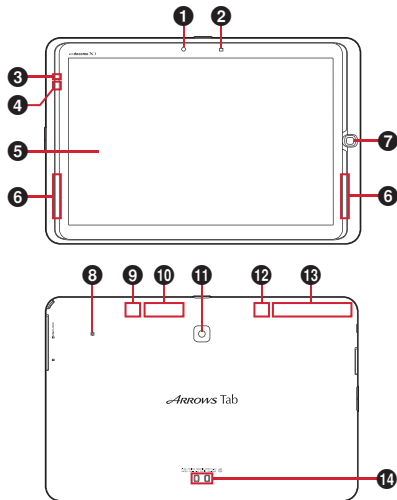
- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

◆充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 充電時は、本端末が濡れていないか確認してください。本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- 本端末が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、端子キャップを開いたりしてください。
- 端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。なお、外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

〈各部の機能〉

❶ インカメラ

❷ RGBセンサー

周囲の光の状態や明るさを検知して、ディスプレイの色味やバックライトの明るさを自動調節

※ ふさぐと正しく検知されない場合があります。

❸ お知らせLED

※ 点灯／点滅色は、設定やアプリケーションによって異なります。

❹ マイク

❺ ディスプレイ（タッチパネル）

❻ スピーカー

❼ 指紋センサー

指をスライドさせる：指紋認証、ロック画面解除

押す：スリープモードの設定／解除

❽ NFCマーク

※ NFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざして通信することができます。

❾ Bluetooth／Wi-Fiアンテナ部
※アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
❿ Xiアンテナ部
※アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
⓫ アウトカメラ
⓬ GPSアンテナ部
※アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
⓭ Xi／FOMAアンテナ
※アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
⓮ 充電端子
⓯ TVアンテナ
※ワンセグ視聴／モバキャス視聴時に伸ばします。
⓰ ステレオイヤホン端子（防水）
⓱ 外部接続端子（MHL兼用）
別売りのPC接続用USBケーブル T01などの接続
※HDMIケーブル（市販品）を接続するには、HDMI変換ケーブル L01（別売）またはHDMI変換ケーブル SC01（別売）が必要です。
⓲ microSDカードスロット→P28
⓳ ドコモminiUIMカードスロット→P26

〈キーの機能〉

1 電源キー [⏻]
押す：スリープモードの設定／解除
長く押す：電源を入れる／切る、再起動

2 音量キー [▲][▼]
押す：音量調節

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードとは、お客様の情報が記録されているICカードです。

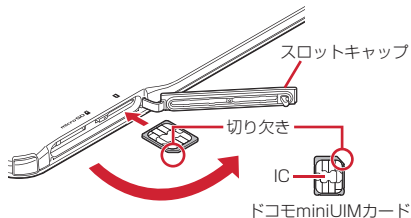
- 本端末ではドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードが本端末に取り付けられていないと、一部の機能を利用することができません。
- ドコモminiUIMカードについて詳しくは、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

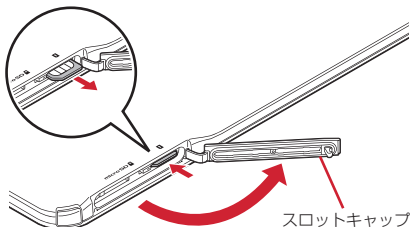
◆ ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。

■ 取り付けかた

本端末のスロットキャップを開け、本端末裏側のドコモminiUIMカードマークの向きに合わせてドコモminiUIMカードのIC面を上に向けて、ドコモminiUIMカードを「カチッ」と音がするまで差し込む

- 切り欠きの方向にご注意ください。

■ 取り外しかた

本端末のスロットキャップを開け、ドコモminiUIMカードを軽く押し込んでから離し、ドコモminiUIMカードをまっすぐ引き出す

✔お知らせ

- ドコモminiUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモminiUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモminiUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- ドコモminiUIMカードを取り外すとき、ドコモminiUIMカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

◆ ドコモminiUIMカードの暗証番号

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P94

microSDカード

◆ microSDカードについて

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードまたはmicroSDHC UHS-Iカード、64GBのmicroSDXCカードまたはmicroSDXC UHS-Iカードに対応しています（2012年11月現在）。ただし、市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカへお問い合わせください。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。

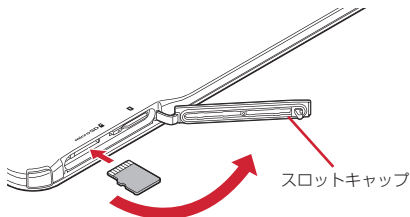
✔お知らせ

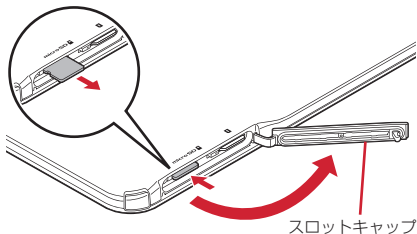
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することがあるため、差し込まないでください。データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードを初期化（データはすべて削除されます）する必要があります。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先（元）機器の規格に準拠したmicroSDHCカードまたはmicroSDカードをご利用ください。

◆ microSDカードの取り付け／取り外し

- microSDカードの取り外しは、マウントを解除するか電源を切ってから行ってください。

■ 取り付けかた

本端末のスロットキャップを開け、本端末裏側のmicroSDマークの向きに合わせてmicroSDカードの金属端子面を上に向けて、microSDカードを「カチッ」と音がするまで差し込む

■ 取り外しかた

本端末のスロットキャップを開け、microSDカードを軽く押し込んでから離し、microSDカードをまっすぐ引き出す

✔お知らせ

- microSDカードを取り外すとき、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

充電

❖充電時のご注意

- 本端末を使用しながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、充電が完了しなかったりすることがあります。
- 充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 次の場合は充電エラーになり、お知らせLEDが消灯します。充電可能な状態になると、再度充電を開始します。
  - 充電器の電圧が充電可能な範囲外になった
  - 内蔵電池または端末の温度が充電可能な範囲外になった
- 長時間かかっても充電が完了しない場合は、充電エラーになりお知らせLEDが消灯します。アプリケーションを終了した後、充電器から取り外して充電し直してください。
- 内蔵電池の電圧に異常があると充電エラーになり、お知らせLEDが点滅します。充電器から取り外し、電源ONの状態の場合は ⏻ を10秒以上押して一旦電源を切ってから、本書巻末の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。

❖充電時間（目安）

F-05Eの電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。特に、操作しながら卓上ホルダで充電すると、充電時間が大幅に長くなりますのでご注意ください。

ACアダプタ F07（卓上ホルダ F39併用）	約300分
ACアダプタ 03	約800分
DCアダプタ 03	約950分

❖十分に充電したときの使用時間（目安）

充電のしかたや使用環境によって、使用時間は変動します。→P162

連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約2190時間
	GSM	静止時（自動）：約1590時間
	LTE	静止時（自動）：約1430時間

❖内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

❖ご利用になれる充電用アダプタについて

詳しくは、ご利用になるACアダプタまたはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

FOMA ACアダプタ 01（別売）：AC100Vのみに対応しています。

FOMA ACアダプタ 02（別売）／FOMA 海外兼用ACアダプタ 01（別売）／ACアダプタ 03（別売）／ACアダプタ F05（別売）／ACアダプタ F06（別売）／ACアダプタ F07（付属品）：AC100Vから240Vまで対応しています。ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

FOMA DCアダプタ 01（別売）／FOMA DCアダプタ 02（別売）／DCアダプタ 03（別売）：自動車の中で充電する場合に使用します。

◆ 卓上ホルダを使って充電

付属の卓上ホルダ F39とACアダプタ F07を使って充電します。

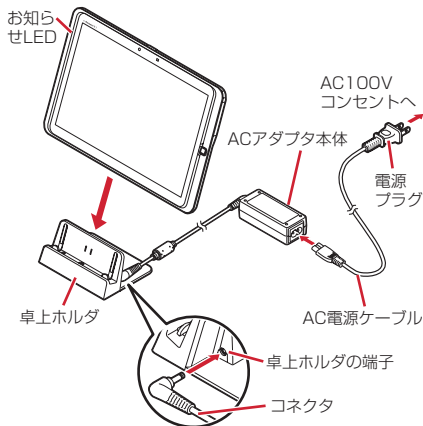
① **AC電源ケーブルをACアダプタ本体に差し込む**

② **ACアダプタ本体のコネクタを卓上ホルダの端子に差し込む**

③ **AC電源ケーブルの電源プラグをコンセントに差し込む**

④ **本端末を卓上ホルダに差し込み、お知らせLEDの点灯を確認する**
   - 充電中はお知らせLEDが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。

⑤ **充電が終わったら、本端末を卓上ホルダから取り外し、AC電源ケーブルの電源プラグをコンセントから抜く**

⑥ 卓上ホルダからACアダプタ本体のコネクタを抜く

◆ ACアダプタを使って充電

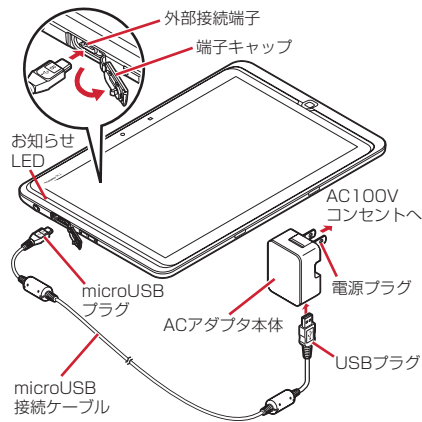
別売りのACアダプタ 03を使って充電します。

① 本端末の端子キャップを開け、microUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを、刻印面を上にして外部接続端子に水平に差し込む

② microUSB接続ケーブルのUSBプラグを、ACアダプタ本体の端子に差し込む

③ ACアダプタ本体の電源プラグをコンセントに差し込む
- 充電中はお知らせLEDが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。

④ 充電が終わったら、ACアダプタ本体の電源プラグをコンセントから抜く

⑤ ACアダプタ本体と本端末からmicroUSB接続ケーブルを抜き、本端末の端子キャップを閉じる

◆ パソコンを使って充電

別売りのPC接続用USBケーブル T01で接続すると、本端末をパソコンから充電することができます。

- パソコン上にハードウェアの検索画面や実行する動作の選択画面などが表示されたら、「キャンセル」を選択してください。

電源ON／OFF

◆ 電源を入れる

1 **⏻（2秒以上）**

お知らせLEDが緑色に点灯して、バイブレータが振動します。起動画面に続いて誤操作防止用のロック画面が表示されます。

2 **ロック画面で🔒**

- ロック画面→P46

■ 初めて電源を入れたときは

Googleアカウントの設定とファミリー利用設定を行った後、ドコモサービスの初期設定を行います。それぞれ画面の案内に従って操作してください。

- 本書は、ファミリー利用設定が「標準モード」の場合で説明しています。
- ソフトウェア更新機能の確認画面が表示された場合は［OK］をタップします。
- 操作ガイドが表示された場合は、［以後表示しない］または［OK］をタップします。

■ ホームアプリの変更

初回起動時はホーム画面に［docomo Palette UI］が設定されています。［NX!ホーム］に変更する場合は、アプリケーションメニューで［設定］→［ディスプレイ］→［ホーム画面切替］から切り替えるホームアプリを選択してください。

◆ 電源を切る

1 **電源オプションメニューが表示されるまで、⏻を押し続ける**

- ⏻を10秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。

2 **［電源を切る］**

バイブレータが振動して電源が切れます。

再起動：**［再起動］**

基本操作

◆タッチパネルの使いかた

本端末はタッチパネルを指で直接触れて操作します。

- タップが認識されているときに、振動でお知らせするかどうかを設定できます（はっきりタッチ→P83）。

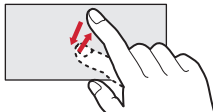
❖タッチパネル利用上のご注意

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - タッチパネルが濡れたままでの操作
  - 指が汗や水などで濡れた状態での操作

❖タップ／ダブルタップ

タップ：画面に軽く触れてから離します。画面から指を離した時点で操作が有効になります。

ダブルタップ：すばやく2回続けてタップします。

例：タップ

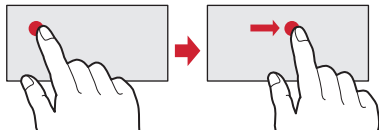
❖ロングタッチ

画面に長く触れます。画面に指を触れたまま次の操作を行う場合もあります。

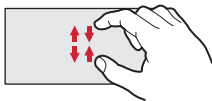
❖ドラッグ／スライド（スワイプ）／パン

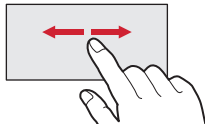
ドラッグ：画面の項目やアイコンに指を触れたまま、任意の位置に動かします。
スライド（スワイプ）：画面に指を軽く触れたまま、目的の方向に動かします。

- アプリケーションによっては、数本の指を画面に触れたまま上下に動かしたり回転させたりして操作できます。

パン：画面そのものを任意の方向にドラッグして見たい部分を表示します。

例：ドラッグ

❖ピンチ

画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。

❖フリック

画面に触れた指をすばやく払います。

◆縦／横画面表示の切り替え

向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本端末を縦または横に傾けて、画面表示を切り替えることができます（画面の自動回転→P86）。

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

◆スクリーンショット

本端末に表示されている画面を画像として保存します。

- 画面によっては画像を保存できない場合があります。

1 **[⏻]と[▾]を同時に押す（1秒以上）**

通知パネルを開いてスクリーンショットの通知をタップ、またはアプリケーションメニューで［ギャラリー］→［Screenshots］をタップすると、画像を確認できます。

文字入力

ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使って、文字を入力します。

- ここでは、主にNX!inputでの入力方法について説明します。
- 他の入力方法に切り替えることもできます。→P40
- 外付けキーボードを接続して入力ができます。→P42

◆ キーボードの使いかた

テンキーキーボード、QWERTYキーボード、手書きキーボード、50音キーボードを使って文字を入力できます。

- 各キーボードから、音声文字入力を起動することもできます。→P39

■ テンキーキーボード

入力方式の設定により、フリック入力、ケータイ入力、ジェスチャー入力の3種類の入力方式を使用できます。→P37

■ QWERTYキーボード

ローマ字入力で入力します。

■ 手書きキーボード

手書きで文字を入力できます。

■ 50音キーボード

50音順、アルファベット順で入力します。

英数入力モード時

① 変換候補表示領域：文字を入力したときに変換候補を表示、選択
- 変換候補の表示領域を左右にスライドすると隠れている候補を表示できます。キーボードによっては、変換候補の下に、確定前の文字列が表示されます。
- 文字入力欄によっては、変換候補が表示されない場合があります。

② 戻す：直前に確定した文字を変換前の文字に戻す
⟲：テンキーキーボードでの入力で、キーに割り当てられた文字を逆順に表示
←：カーソルを左に移動
↑／↓：カーソルを上下に移動
A 1 あ／あ A／あ A1：入力モードの切り替え（かな・英字・数字）／（かな・英字）／（かな・英数字）
ひらがな／カタカナ：ひらがな／カタカナの切り替え

Shift ⇧／⇧：英字入力時の大文字と小文字の切り替え
- ⇧はタップするたびに大文字→大文字固定→小文字に切り替わります。

Caps Lock：大文字固定に設定／解除
&#?!／&?123：記号入力モードに切り替え
ABC：英字入力モードに切り替え
^：パスワードマネージャーの引用、電話帳／ATOKダイレクトの引用、NX!inputの設定、文字コードの入力、単語登録、定型文に切り替え
- ［定型文］は絵文字／絵文字Dが入力可能な場合に表示されます。
- キーボードの非表示の操作にも利用します。

後変換：かな／全角カタカナ／半角カタカナ、英字の後変換候補から選択
カナ英数：カタカナ／数字／英数／年月日（全角／半角）などに変換

③ ⌫：カーソルの左側の文字を削除
- 上にフリックすると、カーソルの右側の文字を削除できます。

→：カーソルを右に移動
゛゜小：小文字・濁点・半濁点／大文字の切り替え
全角半角／全角半角：全角／半角の切り替え
変換／␣：文字の変換／空白の入力
Next／↵：次の入力項目にカーソル移動／確定または改行
- この他にも、Go、🔍、Doneなど、機能が変化する場合があります。

◀／▶：手書きキーボードで左右の表示枠に1文字分だけ移動

④ 10キー／QWERTY／あ 50音／手書き：キーボードの切り替え
(^_^)／記号／定型文／（絵文字）：顔文字／記号／定型文（spモードメール本文入力時以外）／絵文字（spモードメール本文入力時）の入力
音声：音声文字入力の起動
10キー：ロングタッチでテンキーキーボードの位置の切り替え
- テンキーキーボードの上で2本の指で移動方向にドラッグしても位置を切り替えられます。

QWERTY：ロングタッチでQWERTYキーボードの分割キーボードと通常キーボードの切り替え
- QWERTYキーボードの上でピンチアウト、ピンチインしても切り替えられます。

あ 50音：ロングタッチで50音キーボード（50音順）の左向き／右向きの切り替え
- 50音キーボード（50音順）で↔ 50音をタップしても、左向き／右向きを切り替えられます。

手書き：ロングタッチで手書きキーボードの枠数の切り替え
（アイコン）：上書き手書き入力の有効／無効
⑤ （アイコン）：キーボードの非表示
⑥ （アイコン）：キーボードの各種設定
⑦ 手書き入力領域：指で文字を書いて入力
- 入力確定していない文字をタップすると、補正候補の文字が表示されます。文字をタップすると入れ替えることができます。
- 右端の枠に文字を書くと、自動的にスクロールして左端の枠に移動します。
- QWERTYキーボードで、左右にキーボードを分けたときは中央に表示されます。
- （アイコン）をスライドすると隠れた入力領域を表示できます。

❖キーボードの表示／非表示

■ キーボードの表示

1 文字入力欄を選択

■ キーボードの非表示

1 キーボード表示中に（アイコン）

- （アイコン）をタップして、ガイドが表示されたらそのまま任意の方向にスライドし、（アイコン）が（アイコン）に切り替わってから、再度（アイコン）にスライドして指を離しても非表示にできます。

❖テンキーキーボードの入力方式

テンキーキーボードでは、次の3つの入力方式を利用できます。
- キーボードの設定の「テンキーの設定」で入力方式を選択して利用します。→P40

■ フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままにすると、キーの上に文字（フリックガイド）が表示されます。指を離さず目的の文字の方向にフリックします。
- 濁音／半濁音／拗音を入力するには、フリックしたあと（゛゜小）を1回または2回タップします。

■ ケータイ入力

入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

■ ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままにすると、キーの周りに文字（ジェスチャーガイド）が表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

- 濁音／半濁音／拗音を入力するには、キーから指を離さず下に1回または2回スライドします。キーの周りに濁音／半濁音／拗音のジェスチャーガイドが表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

例：「ぱ」を入力する場合

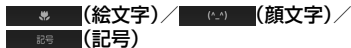
- 英字入力モードの場合は、キーをタッチした指を離さず下にスライドすると、大文字／小文字を切り替えることができます。

◆ 便利な入力機能

絵文字や記号、定型文の入力をしたり、電話帳やパスワードマネージャーのデータを引用して入力できます。また、音声で文字を入力することもできます。

❖絵文字／顔文字／記号パレットで入力

- 文字入力欄によっては、絵文字は入力できません。

1 （絵文字）／ (^_^)（顔文字）／ 記号（記号）

2 カテゴリーを選択→アイテム一覧から絵文字／顔文字／記号を選択

- パレット上部のカテゴリー欄を左右にスクロールすると、表示されていないカテゴリーを表示できます。
- アイテム一覧を左右にスクロールすると、表示されていないアイテムを表示できます。
- パレットの左上にある［履歴］をタップすると、最も新しく入力したアイテムを先頭に履歴一覧が表示されます。履歴一覧から入力することもできます。

❖定型文／文字コード表から入力

1 ^→定型文／文字コード

- キーボード上に 定型文 が表示されているときは、それをタップしても同様の操作ができます。
- 手書きキーボードの場合は、^→NX!inputメニューの［定型文］／［文字コード］を選択します。

2 **カテゴリーを選択→一覧から定型文／文字を選択**

❖他のデータから引用して入力

電話帳やパスワードマネージャーのデータを引用して入力できます。

- パスワードマネージャー→P99

1 ^→

- 手書きキーボードの場合は、^→NX!inputメニューの［ATOKダイレクト］を選択します。

2 **目的の操作を行う**

電話帳から引用：［電話帳／ATOKダイレクト］→連絡先リストで名前を選択→項目にチェック→［OK］

パスワードマネージャーから引用：［パスワードマネージャー］→認証操作→タイトルを選択→「ID（アカウント）」欄または「パスワード」欄の↵

- 文字入力中にキーボードの^→をタップしても操作できます。

❖音声文字入力

音声を文字に変換して入力します。

1 **文字入力中に 音声 →言葉を発声**

2 **認識結果候補一覧から文字を選択**

- 発声した言葉が正しく認識されない場合は、認識エラー画面で［やり直す］をタップすると、再度発声できます。
- 認識結果候補一覧では、上下にスクロールすると、表示されていない候補を表示できます。

◆ 他の入力方法に切り替え

Androidキーボードなど、他の入力方法に切り替えて入力することもできます。

- Androidキーボードは日本語入力に対応していません。
- 「NX!input 中国語（簡体字）」または「NX!input 韓国語」に切り替えたときは、手書きキーボードでのみ入力できます。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→ユーザー設定の[その他...]→[言語と入力]→[デフォルト]→入力方法を選択**

✔お知らせ

- ATOKの日本語キーボードに戻すには、入力方法の一覧で［NX!input］を選択します。

◆ NX!inputとATOKの設定

❖キーボードの設定

各キーボードの入力中の動作やデザインなどについて設定します。また、単語や定型文の登録、設定の初期化などもできます。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→ユーザー設定の[その他...]→[言語と入力]→[NX!input]のをタップ**

2 **各項目を設定**

操作音・バイブ：キー操作音、キー操作バイブを設定します。

テンキーの設定：入力方式（フリック入力／ケータイ入力／ジェスチャー入力）、フリック入力の設定（トグル入力、フリックガイド、フリック感度、修飾キーフリック）、ケータイ入力の設定（自動カーソル）、ジェスチャー入力の設定（トグル入力、ジェスチャーガイド）、文字削除キーを設定できます。

QWERTYキーボードの設定：英字は確定入力、数字キー表示（縦画面）、数字キー表示（横画面）、フリックガイド、フリック感度を設定します。

手書き入力の設定：上書き手書き入力（テンキー、QWERTYキーボード、50音キーボード）、上書き手書き枠数（縦画面／横画面）、ガイド表示、確定速度、線の設定（太さ、色）を設定します。手書きジェスチャーのデモアニメも表示できます。

共通の設定：推測変換、未入力時の推測候補表示、スペースは半角で出力、自動スペース入力を設定します。

候補一覧設定：候補一覧の文字サイズ、表示行数（縦画面）、表示行数（横画面）を設定します。

デザイン：画面デザインのテーマ、キーサイズ（縦画面）、キーサイズ（横画面）を設定します。

ユーティリティ：辞書ユーティリティで単語の登録（→P41）や、定型文ユーティリティで定型文の登録、編集（→P41）を行います。

初期化：設定の初期化、学習データの初期化を行います。

- ［設定の初期化］を実行しても学習データやユーザー辞書の単語、登録した定型文は削除されません。

❖単語の登録（ユーザー辞書）

よく使う単語をあらかじめユーザー辞書に登録しておくと、その読みを入力したとき変換候補として優先的に表示されます。

■ ユーザー辞書に単語を登録

1 アプリケーションメニューで[設定]→ユーザー設定の[その他...]→[言語と入力]→[NX!input]のをタップ

2 [ユーティリティ]→[辞書ユーティリティ]

3 →[新規登録]→[単語]に登録する単語を入力→[読み]に読みかたを入力→品詞を選択→[登録]

登録単語を修正：単語をタップ→内容を修正→［修正］

登録単語を1件削除：単語をロングタッチ→［削除］→［はい］

登録単語を全件削除：→［全削除］→［はい］

登録単語をmicroSDカードに保存：→［一覧出力］→場所欄で［sdcard］→保存先のフォルダを選択→ファイル名を入力→［OK］→［実行］→［閉じる］

microSDカードに保存した単語を読み込む：→［一括登録］→場所欄で［sdcard］→フォルダを選択→ファイルを選択→［OK］→［登録］→［閉じる］

- 文字入力の確定時に自動的に学習された単語も登録する場合は、［自動登録単語は含めない］のチェックを外してください。

❖定型文の登録

1 アプリケーションメニューで[設定]→ユーザー設定の[その他...]→[言語と入力]→[NX!input]のをタップ

2 [ユーティリティ]→[定型文ユーティリティ]

3 →[新規作成]→定型文を入力→｢カテゴリー｣欄でカテゴリーを選択→[登録]

定型文の本文を修正：定型文をタップ→内容を修正→［登録］

- 新規に作成した定型文の本文を修正すると、タイトルも連動して変更されます。タイトルを本文と連動させたくない場合は、定型文のタイトル変更をしてください。

定型文を削除：定型文をロングタッチ→［削除］→［はい］

定型文のタイトルを修正：定型文をロングタッチ→［タイトル変更］→内容を修正→［OK］

カテゴリーを追加：→［カテゴリー］→→［新規作成］→カテゴリー名を入力→［OK］

カテゴリーを変更：定型文をロングタッチ→［カテゴリー移動］→移動先のカテゴリーを選択

お買い上げ時の状態に戻す：→［初期化］→［はい］

◆テキスト編集

文字入力欄、Webサイト、受信メールなどのテキストコピー、文字入力欄でのテキストの切り取り、貼り付けの操作ができます。

- アプリケーションの種類によって、操作方法が異なる場合があります。

❖テキストのコピー／切り取り

■文字入力欄でのコピー／切り取り

1 テキストをロングタッチ

選択された語句がハイライト表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをスライドすると選択範囲を調節できます。
- すべてを選択するには［すべて選択］をタップします。
- 選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。

2 (コピー)／(切り取り)

■Webサイトなどでコピー

1 テキストをロングタッチ

テキスト範囲がハイライト表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをスライドすると選択範囲を調節できます。
- すべてを選択するには［すべて選択］をタップします。
- 選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。
- Webサイトによっては、表示されるメニューから［テキストを選択してコピー］をタップします。

2 (コピー)

クリップボードにコピーされます。

❖テキストの貼り付け

1 貼り付け位置にカーソルを移動してロングタッチ→[貼り付け]

カーソル位置にテキストが貼り付けられます。

◆外付けキーボードの利用

本端末とUSBキーボードやBluetoothキーボード（HID／SPP）を接続して文字入力ができます。

- 101キーボード、104キーボード、106キーボード、OADG 109キーボード、OADG 109Aキーボードに対応しています。

❖外付けキーボードの接続

- Bluetoothキーボードの接続方法→P108

■USBキーボードの接続

1 USBキーボードと本端末の外部接続端子を接続

❖外付けキーボードの設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→ユーザー設定の[その他...]→[言語と入力]→[キーボード配列]→キーボードを選択

初期設定

本端末を使うために最初に設定が必要な項目をまとめて設定できます。

- 各設定はいつでも変更できます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[初期設定]

2 各項目を設定

スライドイン機能設定：画面の端から指をスライドさせてアプリケーションを起動したり、画面をキャプチャしたりすることができる機能を設定します。→P104

画面ロックの認証設定：画面ロックの認証設定を有効にするかを設定します。→P95

セキュリティ解除方法：画面ロックの解除方法を設定します。→P95

❖その他の初期設定について

初期設定の項目以外にも、必要に応じて、次の項目を設定してください。

- Googleなどのアカウントの設定→P91
- Eメールのアカウントの設定→P60
- Wi-Fi機能の設定→P76
- アクセスポイント（APN）の設定→P75

お知らせLED

充電中や新着SMSなど、本端末の状態をお知らせLEDの点灯や点滅で通知します。

■ 通知の種類と点灯／点滅について

電源ON：緑色1回点灯
充電異常：赤色点滅
新着SMS：点滅色は［メッセージ］で設定→P59
充電中：赤色点灯

✔お知らせ

- アプリケーション利用時の点灯／点滅は、アプリケーションによって設定や動作などが異なります。

画面表示／アイコン

◆ ナビゲーションバーのキー

画面左下のナビゲーションバーに、画面を操作するためのキー（アイコン）が表示されます。キーの名称と動作は次のとおりです。

ナビゲーションバー

バックキー

タップ：直前の画面に戻る、アプリケーションの終了

ホームキー

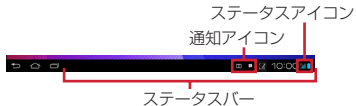
タップ：ホーム画面に戻る→P48

タスクキー

タップ：最近使用したアプリケーションの一覧を表示

ロングタッチ：タスクマネージャの起動→P47

◆ ステータスバーのアイコン

ステータスバーに表示される通知アイコンとステータスアイコンで様々な状態を確認できます。

ステータスアイコン

通知アイコン

ステータスバー

■ 主な通知アイコン

：新着Gmail

：新着Eメール

：spモードメール

：新着SMS

：エリアメール

：SMSの送信失敗

：Wi-FiがONでWi-Fiネットワークが利用可能

：Wi-Fiテザリングが有効、Wi-Fi Direct利用中

：USB接続中

：USBテザリングが有効

：Wi-FiテザリングとUSBテザリングが有効

：データのアップロード完了

：データのダウンロード完了

：Google Playなどからのアプリケーションがインストール完了

：イヤホン接続中（端末のマイクからの入力）

：イヤホン接続中（イヤホンマイクからの入力）

／：ワンセグ受信中／録画中

：モバキャス受信中

：NOTTVから通知あり

：音声コンテンツのバックグラウンド再生中

：ソフトウェア更新有

：ソフトウェア更新完了

：ソフトウェア更新継続不可

：NX!エコ（タイマーエコモード時間帯1）

：NX!エコ（タイマーエコモード時間帯2）

：NX!エコ（電池残量エコモード）

：NX!エコ（今すぐエコモード）

：GPS測位中

：VPN接続

：おまかせロック設定中

：Dolby Digital PlusがON

■ 主なステータスアイコン

: 電波状態

- 通信中は△（アップロード時）▽（ダウンロード時）が表示されます。
- 国際ローミング中は左上に［R］が表示されます。

: 圏外
: GPRS接続中
: 3G接続中
: LTE接続中
: 機内モード
: Wi-Fi接続中
: Bluetooth機能ON
: Bluetooth機器接続中
: 要充電
: 電池残量がほとんどない
: 電池残量が少ない
: 電池残量十分
: 充電中
: マナーモード（通常マナー）
: マナーモード（サイレントマナー）
: マナーモード（アラームONマナー）
: マナーモード（オリジナルマナー）
: IP通話アプリの音質サポート

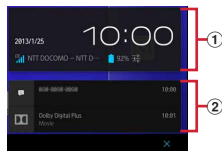
✔お知らせ

- ステータスバーに表示されているをタップすると、キャプメモを利用できます。

◆ 通知パネル

通知パネルを開くと、通知アイコンの情報を確認したり設定を行ったりすることができます。

1 ステータスバーの時計やアイコンをタップ

- 以外をタップしてください。

① **通知パネル**
日時、電波状態、在圏ネットワーク名、電池残量や端末の状態（ステータス）などの表示
- が表示されているときに通知パネルをタップすると、通知情報一覧が設定パネルに切り替わります。
→P46

② **通知情報一覧**
通知アイコン、通知の内容
- 各通知をタップすると、詳細を確認したり必要な設定を行ったりすることができます。
- 通知情報一覧の下の［X］をタップすると、通知情報が消去されます。通知によっては［X］が表示されません。

通知パネルと通知情報一覧を閉じる：通知パネルと通知情報一覧以外のエリアをタップ

◆ 設定パネル

通知パネル下の表示を、設定パネルに切り替えます。

1 ステータスバーの時計やアイコンをタップ→通知パネルをタップ

① **通知パネル**

- が表示されているときに通知パネルをタップすると、設定パネルが通知情報一覧に切り替わります。→P45

② **設定パネル**

各種設定のON／OFF切り替えや設定メニューの表示

- 設定メニュー→P71

通知パネルと設定パネルを閉じる：**通知パネルと設定パネル以外のエリアをタップ**

◆ ディスプレイの表示が消えたら

本端末を一定時間操作しなかったときは、［ディスプレイ］の［スリープ］の設定に従って自動的にディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。

1 ⏻

スリープモードが解除され、ロック画面が表示されます。

手動でスリープモードにする：⏻

✔お知らせ

- 指紋センサーを押しても、スリープモードにしたり解除したりできます。

◆ ロック画面が表示されたら

1 ロック画面で🔒

ロックが解除されます。

「ひつじのしつじくん®」©NTT DOCOMO

✔お知らせ

- 指紋センサーに指をスライドしても、ロック画面を解除できます。指紋センサーを押してスリープモードを解除した後に操作する場合は、センサーから一度指を離した後、指をスライドさせてください。
- ロック画面のをタップするとカメラが起動し、をタップするとしゃべってコンシェルが起動します。画面ロックの認証設定が有効の場合は、認証操作後にしゃべってコンシェルが起動します。
- 画面ロックの認証設定が無効の場合は、ロック画面で通知パネルを表示できます。

◆ タスク管理

をタップするなどしてアプリケーションの操作を中断すると、バックグラウンドで起動したままの状態になる場合があります。また、操作によっては複数のアプリケーションが実行中の状態になることがあります。タスクマネージャを起動すると、実行中のアプリケーションを確認したり、表示を切り替えたり、終了したりできます。

1 **をロングタッチ**

タスクマネージャが起動して、実行中のアプリケーションが表示されます。

- をタップすると、最近使用したアプリケーションが表示されます。サムネイルをタップするとアプリケーションを起動できます。サムネイルをロングタッチすると、リストから削除したりアプリ情報を確認したりできます。

2 **目的の操作を行う**

アプリケーションの表示：［表示］
アプリケーションの終了：［終了］／［すべて終了］

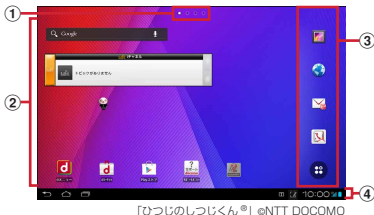
❖スライドインランチャーについて

お買い上げ時は、画面の左端（下）から指をスライドすることでスライドインランチャーを呼び出すことができます。スライドインランチャーのショートカットからアプリケーションを起動することができます。

- スライドイン機能設定→P104

docomo Palette UI

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面です。をタップしていつでも呼び出すことができます。

「ひつじのしつじくん®」©NTT DOCOMO

① **インジケータ**
ホーム画面の現在位置を示します。

② **カスタマイズエリア**
ショートカット、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。

③ **ドック**
ホーム画面に表示されます。

④ **ステータスバー→P44**
ステータスバーの時計やアイコンをタップすると、通知パネルが表示されます。→P45

◆ ホーム画面のカスタマイズ

ホーム画面に好みのアプリケーションのショートカットやウィジェットなどを自由に配置できます。

1 左右にフリックしてカスタマイズするホーム画面を表示→カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ

2 [ショートカット]／[ウィジェット]／[フォルダ]／[グループ]→必要に応じて項目の選択や設定を行う

- 項目をロングタッチしてドラッグすると、位置を変更できます。
- ウィジェットによっては、ロングタッチしてサイズを変更することができます。
- ショートカットをロングタッチして他のショートカットの上にドラッグすると、ショートカットを統合したフォルダが作成できます。
- フォルダをロングタッチして［名称変更］をタップすると、フォルダ名を変更できます。

✔お知らせ

- ドックも同様にショートカット、フォルダ、グループを配置できます。ただし、は移動／削除／変更できません。

❖ショートカットなどの削除

1 左右にフリックしてカスタマイズするホーム画面を表示

2 削除するショートカットなどをロングタッチ→[削除]

- ロングタッチした後、画面下のまでドラッグしても削除できます。

❖アプリケーションやウィジェットのアンインストール

1 左右にフリックしてカスタマイズするホーム画面を表示

2 アンインストールするショートカットまたはウィジェットをロングタッチ→[アンインストール]→[OK]→[OK]

◆ きせかえ／壁紙の変更

1 カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ

2 [きせかえ]／[壁紙]／[壁紙ループ設定]→項目の選択や設定を行う

✔お知らせ

- 本端末は［壁紙ループ設定］を利用することができません。

◆ ホーム画面の追加／削除

最大12件のホーム画面を設定できます。

1 カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ→[ホーム画面一覧]

2 目的の操作を行う

追加：[+]

並べ替え：ホーム画面のサムネイルをロングタッチ→移動先へドラッグ

削除：[×]

- アイテムが配置されている場合は、削除の確認画面が表示されます。
- ホーム画面のサムネイルをロングタッチした後、［削除］をタップしても削除できます。

表示：ホーム画面のサムネイルをタップ

✔お知らせ

- ホーム画面の任意の位置でピンチインしても、ホーム画面一覧を表示できます。

アプリケーション画面

アプリケーションメニューを呼び出し、登録されているアプリケーションを起動したり、本端末の設定を変更したりできます。

◆ アプリケーションメニューの表示

1 ホーム画面で

① アプリ一覧／おすすめアプリ切り替えタブ
② グループ
③ グループ内アプリケーションの数
④ グループ内アプリケーション
⑤ メニュー

- 新着アプリケーションのアイコンにはが表示されます。
- アプリケーションによっては、アイコンに未読件数が表示されます。
- メニューから、設定メニューの表示、きせかえ、docomo Palette UI操作ガイドの表示などができます。

グループ内アプリケーションの表示／非表示：縦画面でグループ名をタップ
- 横画面では、アプリケーションの表示のみできます。

全グループ内アプリケーションの表示／非表示：縦画面でピンチアウト／ピンチイン

ホーム画面へ追加：アプリケーションまたはグループをロングタッチ→［ホームへ追加］

アプリ一覧／おすすめアプリの切り替え：／［おすすめ］

◆ アプリケーション一覧

- アプリケーションによっては、別途お申し込み（有料）が必要なものがあります。

Chrome：パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。

COOKPAD：日本最大の料理サイト「クックパッド」のレシピを検索できます。

DiXiM Player：ホームネットワーク上のTV録画番組や写真、音楽、ビデオをお手持ちの機器で視聴できるアプリケーションです。ご利用には、Wi-Fi環境が必要となります。→P112

docomo Wi-Fiかんたん接続：ドコモの公衆無線LANサービス「docomo Wi-Fi」もしくは自宅のWi-Fi環境を便利に利用するためのアプリです。ウィジェットによりWi-Fiエリア内では、ワンタッチでWi-Fiへの接続／切断ができます。

Document Viewer：Microsoft officeファイルなどを表示できます。→P143

dマーケット：dマーケットを起動するアプリです。dマーケットでは、音楽や動画、書籍などのコンテンツを購入することができます。また、Google Play上のアプリを紹介しています。→P115

dメニュー：iモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「dメニュー」へのショートカットアプリです。→P115

Gmail：Googleアカウントのメールを送受信できます。→P63

Google+：大量のデータ（メールや連絡先、写真、オフィス文書など）を、さらに活用するためのSNS機能を利用できます。

ICタグ・バーコードリーダー：ICタグとバーコードを読み取るためのアプリです。

iチャネル：iチャネルを利用するためのアプリです。

Ksfilemanager：本端末やmicroSDカードなどのデータ内容を管理できるアプリです。

Latitude：地図上で友だちと位置を確認しあうことができます。→P139

milock：指定したアプリを保護することができます。保護したアプリは起動時に認証が必要になります。

NOTTV：モバキャスを視聴できます。「NOTTV」などの放送局の番組・コンテンツをお楽しみいただけます。→P118

Playストア：Google Playを利用できます。→P115

Playブックス：ダウンロードした電子書籍を閲覧できます。

Playミュージック：音楽を再生します。

Playムービー：映画をレンタルして視聴できます。ダウンロードして好きなときに視聴することもできます。

spモードメール：ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。→P58

TegraZone ゲーム：Tegraモバイルプロセッサの能力を最大限に引き出すよう最適化されたゲームを簡単に探すことができるアプリです。

Wacky Motors for F：キャラクターやマシンを育てながら参加するレースゲームです。

YouTube：YouTubeの動画が見られます。→P136

おけいこ時計：指で触って動かせる「おけいこ時計」で、いつでも楽しく時計の読み方を学べます。

カメラ：静止画や動画を撮影します。→P129

カレンダー：カレンダーの表示とスケジュールの登録ができます。→P140

かんたんインターネット：簡単な操作で、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。→P69

ギャラリー：カメラで撮影したり、Webページからダウンロードして、microSDカードや本体メモリに保存した静止画や動画を表示できます。→P133

しゃべってコンシェル：「調べたいこと」や「やりたいこと」などを端末に話しかけると、その言葉の意図を読み取り、最適な回答を表示するアプリです。

デモンズ体験版：リズムに合わせてタイミング良く画面をタップするアクションゲームです。

テレビ：ワンセグを視聴します。→P122

トーク：Googleトークを利用してチャットができます。→P65

ドコモゼミ キッズえいご こどもえいごずかん1：「これ、なーんだ？」と指差しながら名前をあてっこできるアプリです。身近な動物・乗り物などの名前を学べます。

ドコモゼミ キッズ絵本 アニーのちいさなかばん：絵本作家たちもとみちこさんの人気えほんをアプリ化しました。ナレーションや動くキャラクターに夢中になります。

ドコモ電話帳：電話番号やメールアドレスなどを登録でき、連絡先から簡単な操作で連絡できます。→P54
トルカ：トルカの取得、表示、検索、更新などができます。
ナビ：Googleマップナビを利用して、目的地までのルートを検索できます。→P139
フォトコレクション：写真や動画をアップロードして、クラウド上で閲覧、整理などができるアプリです。
ブラウザ：パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。→P65
マップ：現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。→P138
メール：パソコンなどとEメールの送受信ができます。→P60
メッセージ：SMSの送受信ができます。→P58
メッセンジャー：チャット機能（グループチャットなど）を利用できます。
メディアプレイヤー：音楽や動画を再生することができるアプリです。→P135
ローカル：近くの場所の詳細情報を検索できます。→P139
遠隔サポート：「スマートフォンあんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「スマートフォンあんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。→P154
検索：本端末内の機能やWebサイトを検索します。→P142
災害用キット：緊急速報「エリアメール」の受信メール確認と各種設定、災害用伝言板にメッセージの登録や確認などができるアプリです。
将棋ウォーズ：オンライン対局も可能な、画面をタップして操作する将棋ゲームです。
設定：本端末の各種設定を行います。→P71
電卓：加算、減算、乗算、除算などの計算ができます。→P141
統合辞書＋：日本を代表する辞書をひとつのパッケージにおさめた、毎日の学習・仕事のあらゆるシーンに対応できる辞書ソフトです。→P141
時計：時刻の確認、アラームの設定などができるアプリです。→P140
取扱説明書：本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。

✔お知らせ

- このアプリケーション一覧は、お買い上げ時にプリインストールされているものです。プリインストールされているアプリケーションには一部アンインストールできるアプリケーションがあります。一度アンインストールしてもPlayストアで再度ダウンロードできます。→P115

◆ アプリケーションメニューの管理

1 アプリケーションメニュー表示中に目的の操作を行う

アプリケーションのアンインストール：アプリケーションをロングタッチ→［アンインストール］→［OK］→［OK］

並べ替え：アプリケーションまたはグループをロングタッチ→移動先へドラッグ

- アプリケーションをロングタッチした後、［移動］を選択しても移動できます。

グループの追加：⋮→［グループ追加］→グループ名を入力→［OK］

- 最大50件のグループを設定できます。

グループ名の編集：グループをロングタッチ→［名称変更］→グループ名を入力→［OK］

グループの削除：グループをロングタッチ→［削除］→［OK］

ホームアプリの情報確認：⋮→［アプリケーション情報］

検索：⋮→［検索］

- 端末内のアプリケーションやWeb上の情報を検索します。

◆「おすすめ」アプリケーションのインストール

［おすすめ］タブをタップすると、ドコモがおすすめするアプリケーションが表示されます。

1 ホーム画面で ⁘ →［おすすめ］→［おすすめアプリを見る］→アプリケーションを選択→画面の案内に従ってダウンロードを行う

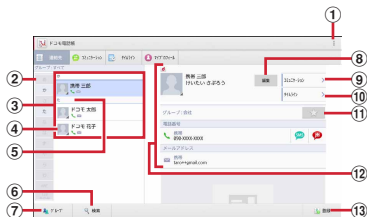
- ダウンロードしたアプリケーションは、アプリケーションメニューの［ダウンロードアプリ］グループに表示されます。
- すべてのおすすめアプリを確認する場合は、［おすすめ］タブの［おすすめアプリをすべて見る］をタップします。

電話帳

電話帳の使いかた

電話帳の連絡先には電話番号やメールアドレスなどを入力できます。連絡先から簡単な操作で登録した人に連絡できます。

- クラウドの利用には、ドコモ電話帳アプリが必要となり、クラウドの利用開始を行う必要があります。ドコモ電話帳アプリを初めて起動する場合（アプリの初期化後を含む）、「クラウドの利用について」の画面が表示され、クラウドの利用を開始できます。

1 **アプリケーションメニューで[ドコモ電話帳]→[連絡先]**

連絡先画面

① **メニュー**

② **インデックス**
文字を選択して連絡先を検索できます。

③ **連絡先リスト**

④ **名前**
タップして個人情報画面に情報を表示します。サムネイル画像をタップすると、SMS送信やメール送信などができます。

⑤ **インデックスバー**

⑥ **検索**

⑦ **グループリストの表示**

⑧ **編集**

⑨ **コミュニケーション**
SMSの送受信、spモードメールなどの送受信履歴が表示されます。→P56

⑩ **タイムライン**
「フレンドNEWS」機能、および「マイSNS」機能によるSNS・ブログのタイムラインが表示されます。→P56

⑪ **お気に入り**
タップすると連絡先のグループ「お気に入り」に登録されます。

⑫ **個人情報画面**
選択した相手の個人情報を表示します。項目をタップして、SMS送信やメール送信などができます。

⑬ **連絡先の新規登録**

❖連絡先のメニューについて

連絡先画面で ⋮ をタップすると、次のメニューを操作することができます。

1件削除／選択削除：連絡先リストを削除できます。

全体設定：電話帳の海外利用設定やWi-Fi利用設定について設定できます。

クラウドメニュー：クラウドの設定を変更できます。

インフォメーション：電話帳変更お知らせ機能などの履歴を確認できます。

電話帳変更お知らせ一覧：電話帳変更お知らせ機能で受信した通知を確認できます。

ヘルプ：電話帳の詳細を確認できます。

その他：電話帳のインポート／エクスポート（→P56）、センターの同期、電話帳の共有、表示順の変更、表示するアカウントの設定などを操作できます。

◆ 連絡先をグループごとに表示

登録時に設定したグループ別に連絡先を表示できます。

1 連絡先画面で[グループ]→グループを選択

❖グループの新規作成

1 グループリストで[追加]→必要に応じてアカウントを選択→グループ名を入力→[OK]

- docomoアカウントまたはGoogleアカウントにのみグループ作成が可能です。

グループ名の変更：グループリストでグループをロングタッチ→［グループ編集］→グループ名を変更→［OK］

グループの削除：グループリストでグループをロングタッチ→［グループ削除］→［OK］

✔お知らせ

- 「グループなし」とGoogle既定のグループでの変更／削除はできません。

❖連絡先のグループ登録

1 グループリストで連絡先をロングタッチ→そのまま登録先グループの上にドラッグ＆ドロップ

グループから削除：グループリストで登録中のグループをタップ→連絡先をロングタッチ→そのまま登録中グループの上にドラッグ＆ドロップ

◆ 連絡先を登録

1 連絡先画面で[登録]→必要に応じてアカウントを選択→各項目を設定→[登録完了]

✔お知らせ

- クラウドと同期できるのは、docomoアカウントで登録した連絡先データです。

◆ 連絡先の編集

1 連絡先画面で編集したい連絡先を選択→[編集]→変更したい項目を入力→[登録完了]

◆ 連絡先の削除

1 連絡先画面で削除したい連絡先を選択→ ⋮→[1件削除]→[OK]

- 連絡先画面で ⋮→［選択削除］をタップすると、連絡先を選択して削除できます。［全選択］をタップすると、全件削除できます。

◆ 連絡先のインポート／エクスポート

1 連絡先画面で ⋮→[その他]→[インポート／エクスポート]→項目を選択→それぞれの操作を行う

SIMカードからインポート：ドコモminiUIMカードに保存した連絡先から追加したい連絡先を指定してインポートします。

SDカードからインポート：microSDカードに保存されている連絡先データ（vCardファイル）を、指定したアカウントに登録します。ファイルが複数ある場合は、登録するファイルを選択します。

SDカードにエクスポート：「マイプロフィール」を除く連絡先データ（vCardファイル）を、microSDカードに全件保存します。

表示可能な電話帳を共有：連絡先データをBluetooth通信やメールに添付して全件送信します。

✔お知らせ

- SDカードバックアップアプリを使用すると、電話帳やその他のデータを一括でバックアップ／復元することができます。詳細は、「SDカードバックアップ」をご覧ください。→P143

コミュニケーション

SMSの送受信、spモードメール、SNSのメッセージ※の送受信履歴が表示されます。

※ クラウドを利用開始の上、マイSNS機能を利用している場合のみ表示されます。

1 アプリケーションメニューで[ドコモ電話帳]→[コミュニケーション]

表示項目の変更：［表示項目］→表示する項目をチェック→［OK］

タイムライン

「フレンドNEWS」機能、および「マイSNS」機能によるSNS・ブログのタイムラインが表示されます。

※ 表示するためにはクラウドを利用開始している必要があります。

1 アプリケーションメニューで[ドコモ電話帳]→[タイムライン]

表示項目の変更：［表示項目］→表示する項目をチェック→［OK］

マイプロフィールの編集

ご契約電話番号を確認できます。また、ご自身の情報を入力、編集できます。

1 アプリケーションメニューで[ドコモ電話帳]→[マイプロフィール]→[編集]→各項目を設定→[登録完了]

◆ 名刺の作成

マイプロフィールから名刺を作成し、相手と交換できます。

- 名刺の作成や交換を利用するには、名刺作成アプリをインストールする必要があります。
- 名刺の新規作成／編集の利用時は、名刺作成アプリのガイダンス画面が表示されますので［利用開始］をタップします。

1 アプリケーションメニューで[ドコモ電話帳]→[マイプロフィール]

2 [新規作成]→テンプレートを選択→[選択]→[決定]→[編集ツール]→各項目を編集

編集：[名刺編集] → [編集ツール] →各項目を編集 → [編集完了] → [上書き保存] ／ [新規保存]
削除：[名刺削除] → [OK]

3 [編集完了]→保存先を選択

- 名刺交換を行う場合は、保存先に電話帳（マイプロフィール）を選択する必要があります。

◆ 名刺の交換

対応機種どうしであれば、作成した名刺を相手と交換できます。

1 アプリケーションメニューで[ドコモ電話帳]→[マイプロフィール]→[この名刺を交換する]→ガイダンスに従って操作

メール／インターネット

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信をします。
絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。

- spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 アプリケーションメニューで[spモードメール]

以降は画面の指示に従って操作します。

SMS

携帯電話番号を宛先にして、最大全角70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）の文字メッセージを送受信します。

◆ SMSを作成して送信

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]→[新規作成]

2 [To]→携帯電話番号を入力

- 直接入力する場合は、半角で入力してください。

3 [メッセージを入力]→メッセージを入力→➤

✔お知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いて入力してください。

◆ SMSを受信したときは

SMSを受信すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。通知パネルを開いて通知をタップして、新着SMSを確認します。

✔お知らせ

- 本端末からSMSセンターにSMSがあるかどうかを問い合わせることはできません。
- 本端末の初期化をした際、再起動直後にSMSを受信すると、新着SMS通知の設定に関わらず着信音やバイブレータが鳴動しない場合があります。
- 本端末のメモリ容量が少なくなると、SMSを受信できません。不要なアプリケーションを削除するなどして、メモリ空き容量を増やしてください。→P91、117

◆ 送受信したSMSの表示

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択

◆ SMSに返信

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→[メッセージを入力]→メッセージを入力→➤

◆ SMSを転送

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→メッセージをロングタッチ→[転送]

3 [To]→携帯電話番号を入力→➤

◆ SMSを削除

〈例〉SMSを1件削除する

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→メッセージをロングタッチ→[削除]

メッセージスレッドの削除：メッセージスレッドをロングタッチ→🗑

すべてのメッセージスレッドの削除：⋮→［すべてのスレッドを削除]

3 [削除]

◆ SMSの設定

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]→⋮→[設定]

2 各項目を設定

古いメッセージを削除：保存件数が上限に達したら古いメッセージを削除するかを設定します。

メッセージの制限件数：スレッドごとに保存するメッセージの件数を設定します。

バックアップ：本体とmicroSDカード間でメッセージをコピーします。

受取確認通知：送信するメッセージの受取確認を毎回要求するかを設定します。

SIMカードのメッセージ：ドコモminiUIMカードに保存したメッセージを管理します。

通知：メッセージ受信時にステータスバーで通知するかを設定します。

着信音を選択：メッセージ受信時の着信音を設定します。

バイブレーション：メッセージ受信時のバイブレータの動作を設定します。

LED：メッセージ受信時のお知らせLEDの動作を設定します。

Eメール

mopera Uや一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用します。

◆ mopera Uのメールアカウントの設定

mopera Uのアカウントを設定して、mopera Uメールを利用します。

- mopera Uメールのメールボックス容量は約50MBです。1メール当たり最大約5MBまでの添付ファイルを送受信できます。

■ POPサーバーを利用する場合

1 アプリケーションメニューで[メール]

2 [メールアドレス]→mopera Uのメールアドレスを入力→[パスワード]→mopera Uのパスワードを入力→[手動セットアップ]→[POP3]

3 [ユーザー名]→mopera UのユーザIDを入力→[パスワード]→mopera Uのパスワードを入力→[POP3サーバー]→「mail.mopera.net」を入力

4 [セキュリティの種類]→セキュリティを選択

5 入力内容を確認→[次へ]

6 [SMTPサーバー]→「mail.mopera.net」を入力→mopera UのユーザIDとパスワードの入力内容を確認→[次へ]

7 オプションの設定画面で[受信トレイを確認する頻度]などを設定→[次へ]

8 メールアカウントの登録画面で[あなたの名前]→名前を入力→[次へ]

◆ 一般プロバイダのメールアカウントの設定

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 アプリケーションメニューで[メール]

2 [メールアドレス]→メールアドレスを入力→[パスワード]→パスワードを入力→[次へ]

以降は画面の指示に従って操作します。

✔お知らせ

- メールアカウントの自動設定が完了しない場合、操作2で［手動セットアップ］をタップしてアカウント設定を手動で入力します。
- サービスプロバイダによっては、「OP25B（Outbound Port 25 Blocking）：迷惑メール送信規制」の設定が必要になります。詳しくは、ご契約のサービスプロバイダへお問い合わせください。

- すでにメールアカウントが設定済みで、さらに別のメールアカウントを追加する場合は、メール一覧画面で⋮→［設定］→［アカウントを追加］をタップします。

◆ Eメールを作成して送信

1 アプリケーションメニューで［メール］

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面左上のアカウントをタップして切り替えます。

2

3 ［To］→アドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、［CC／BCCを追加］をタップします。

4 ［件名］→件名を入力

5 ［メールを作成します］→メッセージを入力

- ファイルを添付する場合は、→ファイルを選択します。

6

✔お知らせ

- Eメールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でパソコンからの受信拒否の設定をしていると、Eメールを送信できません。

◆ Eメールの受信／表示

1 アプリケーションメニューで［メール］

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面左上のアカウントをタップして切り替えます。
アカウントをタップして［統合ビュー］をタップすると、すべてのメールアカウントのEメールが混在した受信トレイが表示されます。各メールアカウントはEメールの右側にあるカラーバーで区別されます。

2 受信トレイを更新するには

3 Eメールを選択

✔お知らせ

- アカウントの設定で受信トレイの確認頻度とメール着信通知（→P62）を設定していると、通知アイコンがステータスバーに表示されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、受信トレイが表示されます。

◆ Eメールに返信

1 Eメールを表示→／→［メールを作成します］→メッセージを入力→

◆ Eメールを転送

1 Eメールを表示→→［To］→メールアドレスを入力→

◆Eメールを削除

1 Eメール一覧を表示→メールをチェック→🗑

◆Eメールの設定

Eメールに関するさまざまな設定をします。

❖Eメールの全般の設定

1 アプリケーションメニューで[メール]

2 ⋮→[設定]→[全般]

3 各項目を設定

自動表示：メッセージを削除した後に表示する画面を設定します。
メッセージの文字サイズ：文字サイズを設定します。
画像の自動表示を解除：インライン画像の自動表示の設定を手動で表示するように設定解除します。

❖Eメールのアカウント設定

1 アプリケーションメニューで[メール]

2 ⋮→[設定]→アカウントを選択

3 各項目を設定

アカウント名：アカウント名を編集します。
名前：名前を編集します。
署名：署名を登録します。
クイック返信：Eメール作成時に頻繁に挿入する文章を編集します。
優先アカウントにする：Eメール作成時にこのアカウントを優先するかを設定します。
受信トレイの確認頻度：受信トレイの確認頻度を設定します。
添付ファイルのダウンロード：IMAPアカウントの場合、Wi-Fi接続時に添付ファイルを自動でダウンロードするかを設定します。
メール着信通知：Eメール受信時にステータスバーで通知するかを設定します。
着信音を選択：Eメール受信時の着信音を設定します。
バイブレーション：Eメール受信時のバイブレータの動作を設定します。
受信設定：受信サーバーについて設定します。
送信設定：送信サーバーについて設定します。
アカウントを削除：アカウントを削除します。

❖Eメールのバックアップ／復元

1 アプリケーションメニューで[メール]

2 ⋮→[設定]→[バックアップ／復元]→[microSDへバックアップ]／[本体へ復元]→[開始]

Gmail

Gmailは、GoogleのオンラインEメールサービスです。本端末のGmailを使用して、Eメールの送受信が行えます。

- Gmailを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回Gmail起動時に画面の指示に従って設定してください。

◆ Gmailを開く

1 アプリケーションメニューで[Gmail]

受信トレイにメッセージスレッドの一覧が表示されます。

❖ Gmailの更新

1 受信トレイで

本端末のGmailとWebサイトのGmailを同期させて、受信トレイを更新します。

◆ Gmailを作成して送信

1 アプリケーションメニューで[Gmail]

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面左上のアカウントをタップして切り替えます。

2

3 [To]→アドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、[CC/BCCを追加]をタップします。

4 [件名]→件名を入力

5 [メールを作成]→メッセージを入力

- ファイルを添付する場合は、→ファイルを選択します。

6

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本端末のメモリ容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

◆ 緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴りステータスバーに通知アイコンが表示され、内容表示画面が表示されます。

- ブザー音または着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモード中でも鳴動します。鳴動しないように設定できます。→P64

◆ 受信したエリアメールの表示

1 アプリケーションメニューで[災害用キット]→[緊急速報「エリアメール」]→エリアメールを選択

- 初回起動時は「ご利用にあたって」を読み、[同意して利用する]をタップします。

◆ 緊急速報「エリアメール」設定

1 アプリケーションメニューで[災害用キット]→[緊急速報「エリアメール」]→≡→[設定]

2 各項目を設定

受信設定：エリアメールを受信するかどうかを設定します。

着信音：着信音の鳴動時間とマナーモード時の着信音の動作を設定します。

受信画面および着信音確認：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報のエリアメールを受信したときの受信画面と着信音を確認します。

その他の設定：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報以外に受信するエリアメールを新規登録／編集／削除します。

Googleトーク

Googleトークは、Googleのオンラインインスタントメッセージサービスです。本端末のGoogleトークを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。

- Googleトークを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回Googleトーク起動時に画面の指示に従って設定してください。

◆ オンラインチャット

❖Googleトークの起動

1 アプリケーションメニューで[トーク]→ログインする

友だちリストが表示されます。

- Googleトークの詳細については、次の操作でモバイルヘルプをご覧ください。
  Googleトークの友だちリストで⋮→［ヘルプ］

ブラウザ

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebサイトを閲覧できます。
本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でブラウザを利用できます。
本端末には、Android標準の「ブラウザ」と「かんたんインターネット」（→P69）の2種類のブラウザがあります。

◆ Webサイト表示中の画面操作

■ Webページを縦表示／横表示に切り替え

本端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

■ Webページの拡大／縮小

次の方法で拡大／縮小します。
ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。
ダブルタップ：拡大します。

- 拡大前の表示に戻す場合は、再度ダブルタップします。

■ 画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパンして見たい部分を表示します。

◆ ブラウザを起動してWebサイトを表示

1 アプリケーションメニューで[ブラウザ]

2 Webページ最上部にスライド→アドレスバーにURL／キーワードを入力

3 [Go]／候補を選択

◆ 新しいタブを開く

- 最大16個のタブを開くことができます。

1 Webサイトを表示

- Webサイトの表示方法→P65

2 ⋮→[新しいタブ]／[新しいシークレットタブ]

- シークレットタブでWebサイトを表示中はタブにが表示されます。

切り替え：タブを選択
閉じる：タブを選択→×

✔お知らせ

- Webサイト表示中に＋をタップしても新しいタブを開けます。

◆ 履歴からWebサイトを表示

1 Webサイト表示中にWebページ最上部にスライド→→[履歴]

2 履歴の種別を選択

- よく閲覧するWebサイトの履歴を表示する場合は、［よく使用］をタップします。

3 Webサイトの履歴を選択

◆ ブックマークを登録してすばやく表示

❖ブックマークの登録

1 Webサイト表示中にWebページ最上部にスライド→☆

ブックマークの詳細情報が表示されます。

2 [OK]

❖ブックマークからWebサイトを表示

1 Webサイト表示中にWebページ最上部にスライド→

2 ブックマークを選択

編集：ブックマーク画像をロングタッチ→［編集］→各項目を設定→［OK］
削除：ブックマーク画像をロングタッチ→［削除］→［OK］

◆ 先読み機能

表示中のWebサイトのリンク先ページを専用キャッシュに読み込みます。
あらかじめ読み込んでおくと、リンク先をタップした際、回線状況に関わらず素早くリンク先のページを表示することができます。

- リンク先のページによっては、本機能が利用できない場合があります。

1 Webサイト表示中にWebページ最上部にスライド→[icon]→[はい]

- [icon]→［先読み］とタップしても操作できます。
- 先読み中に通知パネルを開いて［先読み中］をタップすると、先読みを中断します。

✔お知らせ

- 先読みしたリンク先を表示した際に、ページによっては正しく再現されない場合があります。
- 次の場合は先読みキャッシュが消去されます。
  - 先読み開始時
  - ブラウザ終了時
  - ブラウザの設定からキャッシュの消去を行った場合
  - 再読み込みを行った場合
- 先読み機能はリンク先ページの取得が終了するまで通信を行います。そのためパケット通信料金が高額になる場合がありますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- シークレットタブを表示している場合は、先読み機能は利用できません。

◆ Webサイトのリンクを操作

Webサイトに表示されているリンクをタップすると、次の操作ができます。

URLの場合

- **タップ**：Webサイトを開きます。
- **ロングタッチ**：URLをコピーできます。

電子メールアドレスの場合

- **タップ**：メールを作成できます。
- **ロングタッチ**：メールアドレスをコピーできます。

電話番号の場合

- **ロングタッチ**：電話番号を連絡先に追加、コピーできます。

ファイルの場合

- **タップ**：ファイルを閲覧、保存できます。
- **ロングタッチ**：ファイルを保存できます。

✔お知らせ

- 保存したファイルは、Document Viewer（→P143）などで確認できます。

◆ Webサイトに表示されている画像を保存

1 Webサイト表示中に画像を選択（ロングタッチ）→［画像を保存］

- 保存した画像は、ギャラリー（→P133）で確認できます。

◆ Webサイトの語句を辞書で検索

Webサイトに表示されている語句を辞書で検索することができます。

- ブラウザの設定の「全般」で、「すぐ辞書を表示する」を設定して利用します。→P68

1 **Webサイト表示中にテキストをロングタッチ**

選択された語句がハイライト表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをスライドすると選択範囲を調節できます。

2 **表示された吹き出しをタップ**

検索結果一覧が表示されます。

- 該当する語句が辞書にないときは、吹き出しは表示されません。

3 **候補一覧から調べたい語句をタップ**

◆ ブラウザの設定

1 **Webサイト表示中に⋮→[設定]→[全般]／[プライバシーとセキュリティ]／[ユーザー補助]／[高度な設定]／[帯域幅の管理]／[Labs]**

2 **各項目を設定**

全般：ブラウザ起動時のホームページ、ダウンロードファイルの保存先、フォームの自動入力、自動入力テキスト、辞書検索について設定します。

プライバシーとセキュリティ：キャッシュやブラウザの履歴の消去、警告画面の表示／非表示、Cookie、フォームデータ、現在地情報、パスワードについて設定します。

ユーザー補助：拡大縮小設定の上書き、テキストのサイズ、画面の反転レンダリングについて設定します。

- ［コントラスト］は［反転レンダリング］にチェックが付いている場合に調整できます。

高度な設定：検索エンジンの設定、タブのバックグラウンド表示、JavaScriptの設定、プラグインの設定、ウェブサイト設定、先読み機能の設定、ページコンテンツ、初期設定リセットについて設定します。

- 先読み機能の設定で「先読み表示速度優先」にチェックを付けている場合は、先読みしたページ内JavaScriptの動作や新たな通信・更新表示などが一部制限されます。この結果、ページが正しく表示されない場合があります。なお、「先読み表示速度優先」はブラウザでタブを複数表示していないときに有効です。
- ページコンテンツの［ページの自動調整］にチェックを付けている場合は、Webページのテキストやその他の要素が画面に合わせて自動的に最適化されて表示されます。
  テキストの列をダブルタップすると、そのテキストが画面の幅に収まるように調整されて表示されます。

帯域幅の管理：検索結果のプリロードや画像の読み込みについて設定します。

Labs：クイックコントロールについて設定します。

かんたんインターネット

わかりやすく使いやすい操作で、Webサイトを閲覧できます。

◆ かんたんインターネットでWebサイト表示中の画面操作

画面上部の操作バーに表示されるボタンで操作します。

■ Webページを縦表示／横表示に切り替え

本端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

■ Webページの拡大／縮小

次の方法で拡大／縮小します。

ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。

ダブルタップ：拡大します。

- 拡大前の表示に戻す場合は、再度ダブルタップします。

ズームコントロール：[拡大]で拡大し、[縮小]で縮小します。

■ 画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパンして見たい部分を表示します。

■ Webページを戻る／進む

前に表示していたWebページに[戻る][進む]で移動します。

■ ホームページに戻る

[ホーム]でホームページに移動します。

◆ かんたんインターネットを起動してWebサイトを表示

1 アプリケーションメニューで[かんたんインターネット]

2 操作バーの[検索]→検索キーワード入力エリアにURLを入力／キーワードを入力または選択

3 [Go]／[検索]／[検索実行]

再読み込み：Webサイト表示中に［メニュー］→［再読み込みする］

URLなどを表示：Webサイト表示中に［メニュー］→［URLなどを表示する］→［OK］

URL入力して接続：Webサイト表示中に［メニュー］→［URLを入力して接続］→URLを入力→［接続］

ダウンロード履歴を見る：Webサイト表示中に［メニュー］→［ダウンロード履歴］

Webサイトのリンクを操作：→P67

✔お知らせ

- 検索サービスを変更することができます。→P70

◆かんたんインターネットでブックマークを登録してすばやく表示

❖ブックマークの登録

1 Webサイト表示中に[お気に入り]→[ブックマークに登録]→[OK]

❖ブックマークからWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に[お気に入り]→[ブックマークを見る]

2 ブックマークを選択

題名を変更：[メニュー] → [題名を変更する] → ブックマークを選択→題名を変更→ [完了] → [OK]
削除：[メニュー] → [削除する] →ブックマークを選択→ [削除する] → [削除する] → [OK]
並び順の変更：[メニュー] → [並び順を変更する] →項目を選択
URL表示：[メニュー] → [URLを表示する] →ブックマークを選択→ [OK]
表示方法の切り替え：[メニュー] → [表示方法を切り替える]

◆かんたんインターネットの履歴からWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に[お気に入り]→[閲覧履歴を見る]

2 履歴を選択→[接続する]

ブックマークに登録：[メニュー] → [ブックマークに登録] →履歴を選択→ [OK]
削除：[メニュー] → [削除する] →履歴を選択→ [削除する] → [削除する] → [OK]
URL表示：[メニュー] → [URLを表示する] →履歴を選択→ [OK]
URLコピー：[メニュー] → [URLをコピーする] → 履歴を選択→ [OK]

◆かんたんインターネットの設定

1 Webサイト表示中に[メニュー]→[インターネットを設定する]→[文字の大きさ]／[ホームページの設定]／[詳細設定]

2 各項目を設定

文字の大きさ：文字の大きさを選択します。
ホームページの設定：ホームページの設定方法を選択して、ホームページを設定します。
詳細設定：フォームデータ保存、パスワード保存、Cookie、JavaScriptの設定、位置情報の許可／不許可、検索サービスの選択、設定を初期状態に戻すかどうかについて設定します。

本体設定

設定メニュー

アプリケーションメニューで［設定］を選択して表示される設定メニューから、各種設定を行います。

メニュー		参照
初期設定	スライドイン機能設定	43
	画面ロックの認証設定	
	セキュリティ解除方法	

■ 無線とネットワーク

メニュー		参照
Wi-Fi		76
Wi-Fi簡単登録	AOSS方式	78
	WPS方式	
Bluetooth		107
その他...	データ使用	79
	機内モード	79
	VPN設定	79
	テザリング	80
	NFC	117
	Androidビーム	
	Wi-Fi Direct	82
	モバイルネットワーク	75 82 147
	Bluetooth Low Energy設定	109

■ 端末

メニュー		参照
音・バイブ	音量	84
	マナーモード	82
	マイク入力	84
	IP通話アプリの音質サポート	84
	通知音	84
	バイブレーションと着信音	
	タッチ操作音	
	画面ロックの音	
	充電通知バイブ	
	ロック解除時バイブ	
	はっきりタッチ	83
	振動の強さ	

メニュー		参照
ディスプレイ	画面の明るさ	85
	スリープ	85
	フォトフレーム	85
	壁紙	49
	ホーム画面切替	32
	ロック画面の表示	85
	ロック画面の消灯時間	86
	画面のカスタマイズ	86
	電池アイコン	86
	画面の自動回転	86
	フォント	86
	フォントサイズ	87
	インテリカラー	87
	あわせるビュー	87
スタイル設定	スタイル切替	87
	キッズ切替ガード	88
	キッズ利用アプリ選択	88
	ファミリー利用設定	88
マルチメディア	設定アプリケーションを起動	88
ストレージ	SDカードのマウント解除／SDカードをマウント	89
	SDカード内データを消去	
	USBストレージのマウント解除／USBストレージをマウント	111

メニュー	参照
電池	89
NX!エコ	89
アプリケーション	90

■ ユーザー設定

メニュー		参照
ドコモサービス	アプリケーション管理	ー
	ドコモアプリWi-Fi利用設定	
	ドコモアプリパスワード	
	オートGPS	
	ドコモ位置情報	
	docomo Wi-Fiかんたん接続	
	データ量確認アプリ	
	SDカードバックアップ	
	オープンソースライセンス	
アカウントと同期		91
位置情報サービス	Googleの位置情報サービス	137
	GPS機能	137
	位置情報とGoogle検索	137

メニュー		参照
セキュリティ	画面ロックの認証設定	95
	セキュリティ解除方法	95
	指紋設定	98
	所有者情報	96
	SIMカードロック設定	94
	パスワードを表示する	99
	パスワードマネージャー	99
	プライバシーモード設定	100
	デバイス管理機能の選択	ー
	提供元不明のアプリ	102
	信頼できる認証情報	102
	SDカードからインストール	103
	認証ストレージの消去	103
	SDカードパスワード設定	103
その他...	スライドイン機能設定	104
	言語と入力	40 42 105
	初期化	155

■ システム

メニュー		参照
日付と時刻	日付と時刻の自動設定	106
	タイムゾーンを自動設定	
	日付設定	
	時刻設定	
	タイムゾーンの選択	
	24時間表示	
	日付形式	
ユーザー補助	大きい文字サイズ	106
	画面の自動回転	
	パスワードの音声出力	
	ウェブスクリプトをインストール	
開発者向けオプション	USBデバッグ	―
	開発端末ID	
	スリープモードにしない	
	擬似ロケーションを許可	
	厳格モードを有効にする	
	ポインタの位置	
	タップを表示	
	CPU使用状況を表示	
	ウィンドウアニメスケール	
	トランジションアニメスケール	
	すべてのANRを表示	

メニュー		参照
端末情報	ソフトウェア更新	158
	マイプロフィール	57
	端末の状態	106
	法的情報	
	認証	
	モデル番号	
	Androidバージョン	
	ベースバンドバージョン	
	カーネルバージョン	
	ビルド番号	

✔お知らせ

- ［開発者向けオプション］のUSBデバッグ機能を利用するためには、パソコン側にUSBドライバをインストールする必要があります。詳細については、次のサイトの本製品に関する情報をご覧ください。
  http://spf.fmworld.net/fujitsu/c/develop/sp/android/
- ［開発者向けオプション］のUSBデバッグや擬似ロケーションなどのソフトウェア開発者用機能については、次のホームページをご覧ください。
  http://developer.android.com/

無線とネットワーク

◆アクセスポイント（APN）の設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）はあらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

- お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。
- テザリングを有効にしているときは、アクセスポイントの設定はできません。→P80

❖利用中のアクセスポイントの確認

1 アプリケーションメニューで[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]

❖アクセスポイントの追加（新しいAPN）

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 アプリケーションメニューで[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]

2 ⋮→[新しいAPN]

3 [名前]→ネットワークプロファイル名を入力→[OK]

4 [APN]→アクセスポイント名を入力→[OK]

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力→⋮→[保存]

✔**お知らせ**

- MCC、MNCの設定を変更してAPNの一覧画面に表示されなくなった場合は、アクセスポイントの初期化を行うか、［新しいAPN］で再度アクセスポイントの設定を行ってください。

❖アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 アプリケーションメニューで[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]

2 ⋮→[初期設定にリセット]

✔**お知らせ**

- APNの一覧画面でアクセスポイントを選択し、⋮→［APNを削除］をタップして、アクセスポイントを1件ずつ削除することもできます。

❖spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。

- spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

❖mopera Uの設定

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。

- mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]**

2 **[mopera U]／[mopera U設定]**

✔お知らせ

- ［mopera U設定］は、mopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

◆ Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスの無線LANアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。
無線LANアクセスポイントに接続するには、接続情報を設定する必要があります。

■ Bluetooth機能との電波干渉について

無線LAN（IEEE 802.11b/g/n）とBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、本端末の無線LAN機能とBluetooth機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。
また、本端末の無線LAN機能のみ使用している場合でも、Bluetooth機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

- 本端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

❖Wi-FiをONにしてネットワークに接続

1 **アプリケーションメニューで[設定]**

2 **[Wi-Fi]を[ON]**

3 **[Wi-Fi]→Wi-Fiネットワークを選択**

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード（セキュリティキー）を入力し、［接続］をタップします。
- Wi-Fiネットワークを選択後、接続を選択する画面が表示される場合があります。

✔お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE／3G／GSMネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード（セキュリティキー）を入力した場合、［プライベートなIPアドレスが割り当てられました。接続が制限されています。］と表示されます。パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても［プライベートなIPアドレスが割り当てられました。接続が制限されています。］と表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- Wi-Fi利用時にドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合には、あらかじめWi-Fiオプションパスワードの設定が必要です。設定するには、アプリケーションメニューで［設定］→［ドコモサービス］→［ドコモアプリWi-Fi利用設定］で［Wi-Fiオプションパスワード］をタップして操作してください。

❖Wi-Fiネットワークのスキャン

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 **アプリケーションメニューで［設定］→［Wi-Fi］→［スキャン］**

❖Wi-Fiネットワークの追加

ネットワークSSIDやセキュリティを入力して、手動でWi-Fiネットワークを追加します。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 **アプリケーションメニューで［設定］→［Wi-Fi］**

2 **［ネットワークを追加］**

3 **追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択**

- セキュリティは［なし］［WEP］［WPA/WPA2 PSK］［802.1x EAP］が設定可能です。

4 **必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力→［保存］**

❖Wi-Fiネットワークの切断

1 **アプリケーションメニューで［設定］→［Wi-Fi］**

2 **接続しているWi-Fiネットワークを選択→［切断］**

✔お知らせ

- Wi-FiをOFFにしてWi-Fiネットワークを切断した場合、次回Wi-FiのON時に接続可能なWi-Fiネットワークがあるときは、自動的に接続されます。

❖Wi-Fiの詳細設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→[Wi-Fi]

2 ▮→[詳細設定]

3 各項目を設定

ネットワークの通知：Wi-Fiのオープンネットワークが利用可能なときに通知するように設定します。

Wi-FiオートON／OFF：一度接続したWi-Fiエリアで、利用可能なエリアを検出したときに、自動でWi-FiをON／OFFにするかを設定します。

画面消灯時のWi-Fi設定：本端末の画面がオフになったときや充電しているときに、Wi-Fiを使用するかを設定します。

Wi-Fi周波数帯域：Wi-Fiの周波数帯域を設定します。

MACアドレス／IPアドレス：MACアドレス、IPアドレスが表示されます。

✔お知らせ

- ［Wi-FiオートON／OFF］は、機内モードがONまたはWi-FiテザリングがONの場合、動作しません。
- ［Wi-FiオートON／OFF］は、Wi-Fiエリアの情報が変わった場合などに自動で接続できないことがあります。その場合は、手動で接続してください。

◆Wi-Fiネットワークの簡単登録

AOSS™またはWPSに対応した無線LANアクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[Wi-Fi簡単登録]

2 登録方式を選択

AOSS™方式：［AOSS方式］→アクセスポイント側でAOSS™ボタンを押す

WPS方式：［WPS方式］→［プッシュボタン方式］／［PIN入力方式（8桁）］／［PIN入力方式（4桁）］→アクセスポイント側で操作

- プッシュボタン方式の場合は、アクセスポイント側で専用ボタンを押します。PIN入力方式の場合は、本端末に表示されたPINコードをアクセスポイント側で入力後、［OK］をタップします。

✔お知らせ

- 無線LANアクセスポイントによっては、AOSS™方式での接続ができない場合があります。接続できない場合はWPS方式または手動で接続してください。
- 無線LANアクセスポイント側のセキュリティがWEPに設定されている場合は、WPS方式で接続できません。
- AOSS™方式は2.4GHzのみに対応しています。

◆ データ使用

モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にしたり、グラフ上でモバイルデータ通信使用量の制限や警告を行う使用量の設定をしたりできます。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[データ使用]**

2 **[モバイルデータ]を[ON]**

データ使用の管理画面が表示され、期間ごとやアプリケーションごとのモバイルデータ通信使用量（目安）が表示されます。

- ［モバイルデータの制限を設定する］にチェックを付けると、使用量の制限を設定できます。
- ［モバイルデータの制限を設定する］にチェックを付けた状態で、⋮→［バックグラウンドデータ制限］にチェックを付けるとバックグラウンドデータを制限することができます。

◆ 機内モード

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能（パケット通信、Wi-Fi、テザリング、Bluetooth機能）が無効になります。ただし、Wi-FiおよびBluetooth機能は機内モード中に手動でONにすることができます。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[機内モード]にチェック**

◆ VPN（仮想プライベートネットワーク）への接続

VPN（Virtual Private Network：仮想プライベートネットワーク）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

- ISPをspモードに設定している場合は、PPTPはご利用いただけません。

❖VPNの追加

1 **アプリケーションメニューで[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[VPN設定]→[VPNネットワークの追加]**

2 **VPN設定の各項目を設定→[保存]**

❖VPNへの接続

1 **アプリケーションメニューで[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[VPN設定]**

2 **接続するVPNを選択**

3 **必要な認証情報を入力→[接続]**

- VPNに接続すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。

❖VPNの切断

1 通知パネルを開く

2 VPN接続中を示す通知を選択

3 VPN設定画面で接続中のVPNをタップ→[切断]

◆ テザリング

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使用することにより、USBケーブルやWi-Fiで接続した外部接続機器を、インターネットに接続できるようにする機能です。

- テザリングを有効にした状態では、インターネット接続・メールサービス以外のspモードの機能をご利用になれません。
- テザリングを利用してインターネットに接続した場合、ご利用の環境によってはWi-Fi対応機器のブラウザやゲームなどのアプリケーションが正常に動作しない場合があります。

✔お知らせ

- アプリケーションメニューで［設定］→無線とネットワークの［その他...］→［テザリング］→［ヘルプ］で、テザリングについての情報を見ることができます。

❖USBテザリング

本端末を別売りのPC接続用USBケーブル T01でパソコンと接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続できます。

1 本端末とパソコンをUSBケーブルで接続

2 アプリケーションメニューで[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[テザリング]

3 [USBテザリング]

- Windows XPパソコンをお使いの場合はUSBテザリングをOFFにせずに、パソコンからUSBケーブルを取り外してください。

4 注意事項の詳細を確認して[OK]

✔お知らせ

- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境は次のとおりです。なお、OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
  - Windows XP（Service Pack 3以降）、Windows Vista、Windows 7
- Windows XPパソコンでUSBテザリングを行うには、パソコン側に専用ドライバをインストールする必要があります。専用ドライバのダウンロードについては、次のサイトをご覧ください。
  http://www.fmworld.net/product/phone/usb/

❖Wi-Fiテザリング

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器をインターネットに接続できます。

- Wi-Fi対応機器を8台まで同時接続できます。
- テザリングは、2.4GHzのみに対応しています。

■ Wi-Fiテザリングの設定

Wi-FiテザリングをONにして、接続の設定を行います。

- お買い上げ時の状態では、セキュリティには［WPA/WPA2 PSK］が、［パスワード］にはランダムな値が設定されています。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

1 アプリケーションメニューで［設定］→無線とネットワークの［その他...］→［テザリング］

2 ［Wi-Fiテザリング］

3 注意事項の詳細を確認して［OK］

4 ［ネットワークSSID］→ネットワークSSIDを入力

- お買い上げ時には、「F-05E_AP」が設定されています。
- 登録済みの設定を変更する場合は、［Wi-Fiアクセスポイントを設定］を選択すると設定画面が表示されます。

5 ［セキュリティ］→セキュリティを選択

- セキュリティは［Open］［WEP64］［WEP128］［WPA PSK TKIP］［WPA PSK AES］［WPA2 PSK AES］［WPA/WPA2 PSK］が設定可能です。

6 ［パスワード］→パスワードを入力→［保存］

❖Wi-Fi対応機器の簡単登録

AOSS™またはWPSに対応したWi-Fi対応機器を登録します。

- あらかじめWi-FiテザリングをONにしてください。

1 アプリケーションメニューで［設定］→無線とネットワークの［その他...］→［テザリング］→［Wi-Fi簡単登録］

2 登録方式を選択

AOSS™方式：［AOSS方式］→Wi-Fi対応機器側でAOSS™ボタンを押す

WPS方式：［WPS方式］→［プッシュボタン方式］／［PIN入力方式］→各種操作→登録画面で［OK］

- プッシュボタン方式の場合は、Wi-Fi対応機器側で専用ボタンを押します。PIN入力方式の場合は、Wi-Fi対応機器に表示されたPINコードを入力後、［OK］をタップします。

✔お知らせ

- AOSS™登録機器数が最大件数の24件を超えると、古い登録データの削除確認画面が表示されます。新たな機器でAOSS™接続を利用する場合は［はい］をタップしてください。
- AOSS™設定を解除するには、［Wi-Fiアクセスポイントを設定］画面で［AOSS解除］をタップします。
- Wi-Fi対応機器によっては、AOSS™方式での接続ができない場合があります。接続できない場合はWPS方式または手動で接続してください。
- AOSS™方式は2.4GHzのみに対応しています。

◆ Wi-Fi Direct

アクセスポイントなどを経由せずに、Wi-Fi Direct対応機器どうしで接続ができます。

- 本機能は、PlayストアからWi-Fi Direct機能を利用するアプリケーションを入手し、インストールすることで利用できます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[Wi-Fi Direct]にチェック／チェックを外す

◆ パケット接続の停止

アプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信を切断するかタイムアウトにならないかぎり、接続されたままになります。必要に応じて、パケット通信の有効／無効を切り替えてください。

1 アプリケーションメニューで[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[モバイルネットワーク]

2 [データ通信を有効にする]のチェックを外す

音・バイブ

◆ マナーモード

マナーモードを設定／解除します。

- マナーモードの種類は変更できます。→P83

1 アプリケーションメニューで[設定]→[音・バイブ]→[マナーモード]

2 [マナーモードを有効]にチェック

- マナーモードが起動すると、ステータスバーにステータスアイコンが表示されます。アイコンはマナーモードの種類によって異なります。各アイコンについては「ステータスバーのアイコン」をご覧ください。→P44

✔お知らせ

- マナーモード中でも、シャッター音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、Bluetooth Low Energy設定のFind Me通知音は鳴ります。

❖マナーモードの種類を変更

1 アプリケーションメニューで[設定]→[音・バイブ]→[マナーモード]→[マナーモード選択]

2 項目を選択

通常マナー：本端末のスピーカーから音を鳴らしません。

サイレントマナー：音を鳴らさないだけでなく、バイブレーションもオフになります。

アラームONマナー：アラームの音量とバイブレーションがアラームの設定に従う以外は、通常のマナーモードと同じです。

オリジナルマナー：音の種類ごとに音量とバイブレーションを設定できます。

- オリジナルマナーを選択した場合、オリジナルマナーの設定に対応する音量を調節すると、オリジナルマナーの設定に反映されます。

❖オリジナルマナー

1 アプリケーションメニューで[設定]→[音・バイブ]→[マナーモード]→[オリジナルマナー]

2 [音量]

3 [メディア再生音量]／[アラーム音量]／[通知音量]

4 スライダーをスライドして音量を調節→[OK]→[戻る]

5 [バイブレーション]

6 [アラーム]／[通知]にチェック／チェックを外す

◆はっきりタッチ

タップが認識されていることを振動でお知らせするかどうかを設定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[音・バイブ]→[はっきりタッチ]にチェック／チェックを外す

- ［はっきりタッチ］の振動の強さは、アプリケーションメニューで［設定］→［音・バイブ］→［振動の強さ］で設定できます。［強い］／［ふつう］を選択するとスクロールやタップしたときに設定した強さで振動し、［マイルド］を選択するとスクロールしたときは振動せず、タップしたときのみ設定した強さで振動します。

◆ IP通話アプリの音質サポート

IP通話アプリの音質サポート機能を使用するかどうかを設定します。

- Voice over IPの技術を使用したアプリケーションでの通話は、ネットワークの遅延時間などにより、電話と比較して音質が劣る場合があります。本機能は、アプリケーションの実現している音質を元に、ノイズや通話相手側に聞こえるエコー量の削減を行います。音の途切れや遅延などに関する効果はありません。
- 使用するアプリケーションによっては、本機能の効果が得られないことがあります。その場合は、本設定をオフにしてください。
- アプリケーションのバージョンアップを行ったことにより、本機能の効果が得られなくなる場合があります。その場合は、本設定をオフにしてください。
- 本機能はBluetoothを使用した通話時には動作しません。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[音・バイブ]→[IP通話アプリの音質サポート]にチェック／チェックを外す**

◆ 音量

メディア再生音、着信音／通知音、アラームの音量を調節できます。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[音・バイブ]→[音量]**

2 **スライダーをスライドして音量を調節→[OK]**

◆ 着信音／通知音／操作音／バイブレーションの設定

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[音・バイブ]**

2 **各項目を設定**

マイク入力：ステレオイヤホン接続時の音声入力先を設定します。マイクなしのステレオイヤホンを接続時は［端末のマイク］を選択してください。
通知音：通知音を設定します。
バイブレーションと着信音：着信音が鳴っているときに、振動でもお知らせするかどうかを設定します。
タッチ操作音：メニュー選択時の操作音のオン／オフを切り替えます。
画面ロックの音：画面ロック設定時および解除時の通知音のオン／オフを切り替えます。
充電通知バイブ：充電開始時および終了時に振動でお知らせするかどうかを設定します。
ロック解除時バイブ：ロック画面のをタップして解除したときに、振動でお知らせするかどうかを設定します。

ディスプレイ

◆ 画面の明るさ

画面の明るさを設定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[画面の明るさ]

2 スライダーをスライドして明るさを調節→[OK]

- 周囲の状況に応じて明るさを自動調整する場合は、［明るさを自動調整］にチェックを付け、スライダーをスライドして明るさを調節します。

◆ スリープ

画面の消灯時間を設定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[スリープ]→時間を選択

◆ フォトフレーム

設定した複数の画像をスライドショー形式で表示します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[フォトフレーム]

2 [フォトフレーム設定]→各項目を設定

- 設定済みの設定を変更する場合は、［フォトフレーム設定］にチェックを付けた状態で［画像設定］をタップします。
- ［Flickr］／［Picasa］を選択した場合は、Flickr／Picasaからキーワードに一致する画像を自動取得して、スライドショー表示します。選択後は、［更新間隔］と［利用するネットワーク］を設定します。
- ［更新間隔］で［指定時刻］を選択した場合は、［更新時刻の指定］を選択して時刻を指定します。
- ［フォトフレーム消灯時間］を選択すると、フォトフレーム起動後の消灯時間を設定できます。
- ［クレードルに載せたら起動］を選択すると、卓上ホルダに端末を差し込んで充電を開始したとき、すぐにフォトフレームを起動するかどうかを設定できます。

✔お知らせ

- ［更新時刻の指定］で設定した時間は、画像の自動取得を開始する時間です。取得した画像が表示される時間ではありません。
- フォトフレーム起動中は、指紋センサーの指紋読み取り機能が利用できません。

◆ ロック画面の表示

ロック画面を表示するかを設定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[ロック画面の表示]にチェック／チェックを外す

◆ ロック画面の消灯時間

ロック画面の消灯時間を設定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[ロック画面の消灯時間]→時間を選択

✔お知らせ

- 本設定より［スリープ］の設定時間が長い場合、充電中は［スリープ］で設定した消灯時間に従います。

◆ 画面のカスタマイズ

パターンの入力画面、指紋認証画面、NX!inputのキーボード画面を好みのデザインに変更できます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[画面のカスタマイズ]→各項目を設定

◆ 電池アイコン

電池アイコンを変更します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[電池アイコン]→アイコンを選択

◆ 画面の自動回転

本端末の向きに合わせて画面を自動回転させるかどうかを設定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]

2 [画面の自動回転]にチェック／チェックを外す

✔お知らせ

- カメラやビデオ録画など一部のアプリケーションは本設定に従いません。

◆ フォント

表示フォントの種類を変更します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[フォント]→フォントを選択→[OK]

- ［オリジナル手書きフォント］を選択すると、オリジナルのフォントを作成して使用できます。［オリジナル手書きフォント］の［個別文字編集］を選択すると、作成した文字と自分の手書き文字を交換することができます。

✔お知らせ

- 画面によっては、電源を入れ直すとフォントの設定が反映されます。
- アプリケーションやWebサイトによっては、フォントの設定が反映されない場合やフォントが正しく表示されない場合があります。

- ［オリジナル手書きフォント］の［個別文字編集］で作成した文字と自分の手書き文字を交換した場合、文字によっては文章の意味がわかりにくくなることがありますのでご注意ください。

◆ フォントサイズ

文字の大きさを変更します。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[フォントサイズ]→サイズを選択**

◆ インテリカラー

周囲の光環境に合わせて画面の色味を自動で調整するかを設定します。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[インテリカラー]にチェック／チェックを外す**

◆ あわせるビュー

年齢に合わせて、画面の色合いを調整します。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[ディスプレイ]→[あわせるビュー]→各項目を設定**

スタイル設定

◆ スタイル切替

スタイルを作成・設定することができます。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[スタイル設定]→[スタイル切替]**

2 **スタイルを選択**

- ［新規作成］をタップしてスタイルを作成することができます。また、スタイルの選択画面でスタイルをロングタッチすると、スタイル名を編集したり、スタイルを削除したりすることができます。ただし、キッズスタイル設定時は操作できません。

✔お知らせ

- キッズスタイル設定時にセキュリティ解除方法を設定していると、設定メニュー内を表示する際に認証操作が必要です。また、一部のメニュー項目を表示する際にも認証操作が必要です。

◆ キッズ切替ガード

チェックを付けると、キッズスタイル以外のスタイルに変更するときは、認証操作が必要になります。

- あらかじめセキュリティ解除方法を設定してください。→P95

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[スタイル設定]→[キッズ切替ガード]→認証操作**

◆ キッズ利用アプリ選択

キッズスタイル設定時に利用可能なアプリケーションを選択します。

- あらかじめセキュリティ解除方法を設定してください。→P95

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[スタイル設定]→[キッズ利用アプリ選択]**

- キッズスタイルを設定している場合は、認証操作が必要です。

2 **アプリを選択→[選択完了]**

◆ ファミリー利用設定

標準モード／ファミリーモードを選択します。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[スタイル設定]→[ファミリー利用設定]→[標準モードで使う]／[ファミリーモードで使う]**

マルチメディア

◆ Dolby Digital Plus設定

動画や音楽の再生にDolby Digital Plusを使用するかどうかを設定できます。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[マルチメディア]→[設定アプリケーションを起動]**

2 **各項目を設定**

- ⏻をタップするたびにDolby Digital Plusのオン／オフが切り替わります。オンになると、ステータスバーにDDが表示されます。
- 映画／音楽／ゲーム／ボイス／カスタム1／カスタム2をタップすると、好みのプロファイルが選択できます。
- ?をタップすると、各機能の説明が表示されます。
- Cをタップすると、選択しているプロファイルをお買い上げ時の状態に戻します。

✔お知らせ

- Dolby Digital Plusをオンにすると、［メディアプレイヤー］の［オーディオエフェクト設定］は無効になります。

ストレージ

◆ メモリ空き容量の確認

本端末、microSDカード、USB接続した大容量記憶装置（USBマスストレージ）の空き容量を確認します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[ストレージ]

- microSDカードは「空き容量」の他に、アプリケーションが含まれる場合は「アプリケーション」の容量が表示されます。

◆ microSDカードのデータ消去（フォーマット）

- 操作を行うと、microSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[ストレージ]→[SDカードのマウント解除]

- SDカードのマウント解除についての注意が表示された場合は［OK］をタップします。

2 [SDカード内データを消去]→[SDカード内データを消去]

- セキュリティ解除方法が設定されているときは、認証操作が必要です。

3 [すべて消去]

電池

電池の使用状況を確認します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[電池]

- 右上の［アプリ電池診断］→［アプリ電池診断］タブをタップすると、画面消灯中にバックグラウンドで動作するなど、電力消費に影響があるアプリケーションが表示されます。

NX!エコ

電池残量や設定した時間帯に、画面の明るさや各種機能を調整して消費電力を抑えることができます。

◆ エコモードの設定

エコモードを設定／解除します。

- エコモードが起動すると、ステータスバーにステータスアイコンが表示されます。アイコンはエコモードの種類によって異なります。各アイコンについては「ステータスバーのアイコン」をご覧ください。→P44

1 アプリケーションメニューで[設定]→[NX!エコ]→各項目を設定

タイマーエコモード：設定した時間帯になると、エコモードが起動します。
電池残量エコモード：設定した電池残量より少なくなると、エコモードが起動します。
今すぐエコモード：すぐにエコモードが起動します。

✔**お知らせ**

- エコモードは①今すぐエコモード、②電池残量エコモード、③タイマーエコモードの優先順位で動作します。
- ［充電時はエコモードを解除する］にチェックを付けると、充電中はエコモードが解除されます。
- お買い上げ時は、電池をフル充電してから本機能をお使いください。充電が十分でない場合、「電池残量エコモード」が起動しないことがあります。
- 右上の→［アプリ電池診断］タブをタップすると、画面消灯中にバックグラウンドで動作するなど、電力消費に影響があるアプリケーションが表示されます。

❖エコレベルの設定

1 アプリケーションメニューで［設定］→［NX!エコ］→各モード内の［設定］→［エコレベル］

2 レベルを選択→［決定］

- ［確認］をタップすると各レベルの設定値を確認できます。オリジナルの設定値に変更することもできます。→P90

❖オリジナルエコレベルを設定

1 アプリケーションメニューで［設定］→［NX!エコ］→各モード内の［設定］→［エコレベル］

2 ［オリジナルエコモード］→［編集］→各項目を設定→［完了］→［OK］

アプリケーション

◆本端末のアプリケーションに許可されている動作の表示

1 アプリケーションメニューで［設定］→［アプリケーション］

2 アプリケーションを選択

- すべての許可されている動作が表示されていない場合は、［すべて表示］をタップします。

◆アプリケーションのデータやキャッシュの消去

1 アプリケーションメニューで［設定］→［アプリケーション］

2 アプリケーションを選択→［データを消去］／［キャッシュを消去］

- ［データを消去］の場合は［OK］をタップします。

◆ アプリケーションの削除

- Playストアから入手したアプリケーションは、Google Play画面から削除することをおすすめします。→P117
- お買い上げ時にインストールされているアプリケーションによっては削除できません。また、削除した場合は本端末をリセットすると復元することができます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[アプリケーション]

2 アプリケーションを選択→[アンインストール]→[OK]→[OK]

◆ アプリケーションの無効化

- アプリケーションの無効化は、アンインストールできない一部のアプリケーションやサービスで利用できます。無効化したアプリケーションはアプリケーション一覧に表示されず、起動もできなくなりますがアンインストールはされていません。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[アプリケーション]

2 アプリケーションを選択→[無効にする]／[有効にする]

- ［無効にする］を選択した場合は、［OK］をタップします。

✔お知らせ

- アプリケーションを無効化した場合、無効化されたアプリケーションと連携している他のアプリケーションが正しく動作しないことがあります。その場合、再度アプリケーションを有効にすることで正しく動作します。

アカウントと同期

◆ アカウントの追加

1 アプリケーションメニューで[設定]→[アカウントと同期]

2 [アカウントを追加]→アカウントの種類を選択→各項目を設定

アカウントを設定：アカウントを選択→各項目を設定

✔お知らせ

- 本端末に複数のGoogleアカウントを追加することができます。
- 表示された画面以外の空き領域をタップすると、キャンセルの動作になる場合があります。
- Googleアカウントの初回設定時に［バックアップと復元］という画面が表示されます。本端末はこの機能に対応していないため、［Googleアカウントでこのタブレットを常にバックアップする］にチェックを付けても、データはバックアップされません。

◆ アカウントの削除

1 アプリケーションメニューで[設定]→[アカウントと同期]→アカウントを選択→ ⋮ →[アカウントを削除]→[アカウントを削除]

✔お知らせ

- docomoアカウント、FUJITSUアカウントは削除できません。

◆ 自動同期の設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→[アカウントと同期]

2 アカウントと同期画面の右上を[ON]

◆ 手動で同期を開始

1 アプリケーションメニューで[設定]→[アカウントと同期]→アカウントを選択→ ⋮ →[今すぐ同期]

❖同期の中止

1 同期中に ⋮ →[同期をキャンセル]

ロック／セキュリティ

◆ 本端末で利用する暗証番号

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

❖ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomoID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なおdメニューからは、dメニュー→「お客様サポート」→「各種お申込・お手続き」からお客様ご自身で変更ができます。
※「My docomo」「お客様サポート」については、P178（アプリケーションの「取扱説明書」では、「付録」の「マナーもいっしょに携帯しましょう」）をご覧ください。

❖PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P94
PINコードは、第三者による本端末の無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PINコードを入力することにより、端末操作ができます。

- 別の端末で利用していたドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。ロックを解除しないと新しいPINコードは設定できません。
- ドコモminiUIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、ドコモminiUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

❖PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
- ドコモminiUIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、ドコモminiUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

❖microSDパスワード

microSDカードにパスワードを設定できます。パスワードを設定したmicroSDカードを他の端末に取り付けて使用する場合は、その端末にパスワード認証をする必要があります。パソコンやパスワード設定機能のない端末などに取り付けた場合には、データの利用や初期化ができません。

- microSDカードによっては本機能に対応していない場合があります。

◆ PINコードの設定

❖SIMカードロックの設定

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[SIMカードロック設定]

2 [SIMカードをロック]→PINコードを入力→[OK]

[SIMカードをロック]にチェックが付きます。

- 設定を解除するには、[SIMカードをロック]→PINコードを入力→[OK]でチェックを外します。

✔お知らせ

- 初めてPINコードを入力する場合は、「0000」を入力してください。

❖PINコードの変更

PINコードを変更するには、あらかじめPINコードを設定([SIMカードをロック]にチェックを付ける)しておく必要があります。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[SIMカードロック設定]

2 [SIM PINの変更]

3 現在のPINコードを入力→[OK]

4 新しいPINコードを入力→[OK]

5 新しいPINコードを再入力→[OK]

❖PINコードの入力

1 電源を入れる→PINコード入力画面でPINコードを入力→[OK]

❖PINロックの解除

PINコードがロックされた場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

1 PUKコード欄にPINロック解除コードを入力

2 新しいPINコード欄に新しいPINコードを入力

3 新しいPINコード(確認)欄に新しいPINコードを入力→[OK]

◆ セキュリティロック

ロック画面で認証操作を必要にして、他人が不正に本端末を使用するのを防ぐことができます。
また、パスワードマネージャーを利用する場合もセキュリティ解除方法で設定した認証操作を利用できます。

❖画面ロックの認証設定

スリープモードから復帰したときに、画面で認証操作をするように設定します。
- 画面ロックの認証設定を有効にするには、あらかじめセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P95

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[画面ロックの認証設定]→認証操作

✔お知らせ
- アプリケーションメニューで［設定］→［セキュリティ］→［電源ボタンですぐにロックする］にチェックを付けると、[⏻]／指紋センサーを押してすぐに画面ロックがかかり、解除するには認証操作が必要になります。

❖セキュリティ解除方法の設定

画面ロックの解除や、パスワードマネージャーなどで使用する認証操作の種類を設定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[セキュリティ解除方法]

2 認証操作
- 初めて設定するときは、認証操作は必要ありません。

3 解除方法を選択

パターン：最低4つの点を結ぶパターンでロック解除するように設定します。
- 画面ロック解除時にパターンを表示させない場合は、アプリケーションメニューで［設定］→［セキュリティ］→［パターンを表示する］のチェックを外します。

暗証番号：暗証番号（4～16桁の数字）でロック解除するように設定します。

パスワード：パスワード（英字を含む4～16桁の英数字と記号）でロック解除するように設定します。

指紋：指紋認証でロック解除するように設定します。
- 指紋認証を利用する場合は、留意事項（→P97）を確認してから指紋登録をしてください。
- すでに指紋を登録している場合で、初めてセキュリティ解除方法を設定するときは、［指紋］をタップした後に指紋認証の操作が必要です。

顔認証：顔認証でロック解除するように設定します。
- 顔認証に設定した場合、画面ロックの解除のみ顔認証で操作します。画面ロックの解除以外のセキュリティ解除では、バックアップのロックで選択した解除方法で操作します。

✔お知らせ
- 顔認証以外の認証時に振動させる場合は、アプリケーションメニューで［設定］→［セキュリティ］→［タッチ操作バイブ］のチェックを付けます。
- 認証ストレージを利用している場合、セキュリティ解除方法は暗証番号とパスワードのみ使用できます。

- 認証ストレージを利用している場合、指紋と併用する解除方法を設定すると、電源を入れ直したあと一時的に指紋認証が利用できなくなることがあります。この場合、指紋と併用する解除方法で一度認証すると、以降は指紋認証が利用できるようになります。

❖画面の自動ロック

- 画面の自動ロックを設定するには、あらかじめセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P95

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[自動ロック]→時間を選択

スリープモードになってから設定した時間が経過すると、自動的に画面ロックがかかります。

❖画面の手動ロック

1 [⏻]／指紋センサーを押す

スリープモードになり、画面ロックがかかります。

❖画面ロックの解除

1 スリープモード中に[⏻]／指紋センサーを押す

2 ロック画面で🔒→セキュリティ解除方法に応じて解除操作

- ロック画面の表示（→P85）によっては、ロック画面での操作は不要です。
- 指紋認証の場合、操作1で指紋センサーを押したときは、指を指紋センサーから離してから、指紋センサー上を登録した指でスライドして解除ができます。
- 指紋認証ができないときは、他の解除方法のボタンをタップして認証操作ができます。

❖解除方法を忘れたときは

画面ロックの解除方法を忘れたときは、次の操作で新しいセキュリティ解除方法を設定してから解除してください。

- ロックの解除に5回失敗すると、30秒後にもう一度やり直すことができます。
- Googleアカウントでログインしていない場合は操作できません。

1 ロック解除画面で[パターンを忘れた場合]／[暗証番号を忘れた場合]／[パスワードを忘れた場合]→Googleアカウントでログイン→画面に従って新しいセキュリティ解除方法を設定

❖ロック画面に所有者情報を表示

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[所有者情報]

2 所有者情報を入力

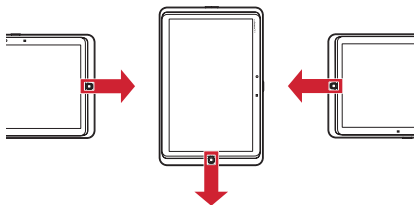
- ［ロック画面に所有者情報を表示］のチェックが外れている場合は、チェックを付けます。

◆ 指紋認証機能

指紋認証機能は、指紋センサーに指をスライドして行う認証操作です。

❖ 指紋認証機能利用時の留意事項

指紋認証機能利用時の留意事項は次のとおりです。

- 本機能は指紋画像の特徴情報を認証に利用するものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で3回以上の読み取りが必要です。異なる指で登録を行わないでください。
- 認証性能（正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される性能）はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変える、手荒れや乾いている場合はクリームを塗るなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
  - お風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れていたり、汗をかいたりしている
  - 指に汗や脂が多く、指紋の間が埋まっていたり、泥や油などで汚れている
  - 手が荒れたり、指に損傷（切傷やただれなど）を負ったりしている
  - 手が極端に乾燥している、乾燥肌である
  - 太ったりやせたりして指紋が変化した
  - 磨耗して指紋が薄い
  - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- 指紋の登録・認証の際は、第1関節をセンサー中央に合わせ、センサーと平行／垂直になるように指を押し当てながら指紋センサーの領域を通過するまで、図のように下／横方向へスライドさせます。登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を防ぐためには、端末と同じ方向に指を置いてスライドさせてください。

- スライドが速すぎたり遅すぎたりすると、正常に認識できないことがあります。
- 親指は指紋の渦の中心がずれたりゆがんだりして、登録や認証が困難な場合があります。できるだけ指紋の渦の中心が指紋センサーの中心を通過するようにスライドさせてください。
- 指紋が正常に読み取れなかったときは、警告メッセージが表示されます。
- 指紋センサーに指を置いたまま指紋の登録・認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離して操作をやり直してください。

- 端末を、デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器にUSBケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。その場合は、接続する機器の金属部分（筐体や外部接続用コネクタなど）に触れながら指紋認証を行うか、端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

❖指紋センサー利用時の留意事項

指紋センサー利用時の留意事項は次のとおりです。

- 指紋センサー表面のシート部は防水性を維持するための保護膜です。はがしたり、ペン先など鋭利なものでつついたりしないでください。
- 指紋センサー表面は防水性を有していますが、指紋センサー表面や操作する指先に水滴や汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- 次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
  - ぶつけたり、強い衝撃を与えたりする
  - ひっかいたり、先の尖ったものでつついたりする
  - 爪やストラップの金具など硬いものを押し付け、指紋センサー表面にキズが入る
  - 泥などで指紋センサー表面にキズが入る、表面が汚れる
  - シールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりする
- 次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
  - ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分の付着や結露
- 次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。
  - 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する
- 指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長期間の使用によりゴミがたまることがありますが、その場合でも先の尖ったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬期など乾燥する時期は、特にご注意ください。

❖指紋登録

指紋認証に使う指の指紋を登録します。

- 指紋認証を利用するには、2件以上の指紋登録が必要です。最大10件登録できます。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[指紋設定]**

- セキュリティ解除方法が設定されている場合は、認証操作が必要です。また、セキュリティ解除方法が設定されていない場合でも、すでに指紋を登録しているときは指紋認証の操作が必要です。

2 項目を選択→メッセージに従って指紋センサーに指を押し当ててスライド

- 2件目も同様の操作で登録します。

登録した指紋の削除：項目を選択→［はい］

- セキュリティ解除方法が、指紋認証に設定されているときは、登録件数が2件の場合は削除できません。

3 ［OK］

❖指紋認証の操作

1 指紋認証画面が表示されたら、指紋センサー上を登録した指でスライド

- 正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、もう一度認証操作を行ってください。

◆ パスワードの表示

パスワードを入力するときに、入力した文字を表示するように設定できます。

1 アプリケーションメニューで［設定］→［セキュリティ］→［パスワードを表示する］にチェック

◆ パスワードマネージャー

ID（アカウント）やパスワードなど認証情報を登録して管理します。登録した内容を引用して入力できます。

- パスワードマネージャーを利用するにはセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P95
- 最大50件登録できます。

1 アプリケーションメニューで［設定］→［セキュリティ］→［パスワードマネージャー］→認証操作

2 ＋→各項目を設定→［OK］

パスワードの編集：タイトルをタップ→✎→各項目を編集→［OK］

パスワードの削除：タイトルをタップ→🗑→［OK］

◆ プライバシーモード

プライバシーモードを設定すると、Android標準ブラウザのブックマークや画像、アプリケーション（ホームアプリをNX!ホームにした場合）を非表示にできます。また、プライバシーモード対応アプリをダウンロードしていただくことで、特定の人物の電話帳やメールを非表示にしたり、メールの受信を非通知にしたりできます。

- NX!電話帳とNX!メールに対応しています。「プライバシーモードの動作設定（電話帳）」（→P100）の操作の途中で表示される画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードしてご利用ください。ダウンロード後は必ず「使用許諾契約書」を確認の上、インストールしてください。

❖ プライバシーモード利用時の留意事項

- プライバシーモードの機能説明や注意事項、対応アプリケーションについては、アプリケーションメニューで［設定］→［セキュリティ］→［プライバシーモード設定］→認証操作→［機能説明・注意事項］をご覧ください。
- FUJITSUアカウントの電話帳のみプライバシーモードを設定できます。docomoアカウントからFUJITSUアカウントに変更すると、名刺データ、SNSアカウント情報は保存されません。
- お気に入りやグループに登録した電話帳にプライバシーモードを設定すると、アカウントが自動で変更され、登録情報が変更されるため、お気に入りやグループに表示されなくなります。
- spモードメールには対応していません。

❖ プライバシーモード設定

- プライバシーモードを設定するには、あらかじめセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P95

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[プライバシーモード設定]→認証操作**

2 **[プライバシーモード]にチェック／チェックを外す**

- 注意事項が表示されたら、内容を確認して［閉じる］をタップします。［機能説明・注意事項を表示］をタップした場合は、確認後にをタップします。

❖ プライバシーモードの動作設定（電話帳）

非表示にする電話帳を指定します。

- 電話帳の動作設定をするには、NX!電話帳をインストールする必要があります。インストールしていない場合は、操作の途中で表示される画面の指示に従ってダウンロードしてください。
- 非表示に指定した電話帳／グループにはが表示されます。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[プライバシーモード設定]→認証操作→[電話帳・メールの設定]**

2 各項目を設定

電話帳：プライバシーモード中、指定した電話帳／グループを非表示にするかを設定します。

電話帳設定：非表示にする電話帳／グループを指定します。

- 電話帳一覧／グループ一覧では、🔒をタップして指定します。［アカウント変更］の画面が表示されたら［OK］をタップします。

✔お知らせ

- グループを指定すると、グループに登録した電話帳にプライバシーモードが設定されます。グループ変更などでプライバシーモード設定を解除する場合は、電話帳のプライバシーモード設定を解除してください。
- グループのプライバシーモードを解除すると、グループに登録した電話帳のプライバシーモードも解除されます。このとき、複数のグループに登録している電話帳は、他のグループにプライバシーモードが設定されていても表示されるようになります。この場合は、グループを指定し直してください。

❖プライバシーモードの動作設定（通知）

メール受信時の動作を設定します。

- 「プライバシーモードの動作設定（電話帳）」で電話帳を指定してください。→P100

1 アプリケーションメニューで［設定］→［セキュリティ］→［プライバシーモード設定］→認証操作→［電話帳・メールの設定］→［メール通知動作設定］→項目を選択

❖プライバシーモードの動作設定（その他の設定）

アプリケーションメニュー（ホームアプリをNX!ホームにした場合）のアイコン、Android標準ブラウザのフォルダやブックマーク、ギャラリーのアルバムや画像などを指定して非表示にします。

- 非表示に指定したフォルダ／アルバム、ブックマーク、画像には🔓が表示されます。

1 アプリケーションメニューで［設定］→［セキュリティ］→［プライバシーモード設定］→認証操作→［その他の設定］

2 各項目を設定

ホーム／ブラウザ／画像：プライバシーモード中、指定したアプリケーションのアイコンをホーム画面で非表示にしたり、指定したブックマークやフォルダ／アルバム、画像を非表示にしたりするかを設定します。

ホーム設定／ブラウザ設定／画像設定：非表示にするアプリケーション、ブックマーク、フォルダ／アルバム、画像を指定します。

アプリケーション通知動作設定：プライバシーモード中、アプリケーションからの通知を非表示にするかを設定します。

文字入力予測辞書：プライバシーモード中に使用するNX!inputの予測変換辞書を設定します。

プライバシー新着通知：プライバシーモード中、非表示に指定した電話帳／グループからのメール受信時やアプリケーションからの通知などを電池アイコンの種類を変えてお知らせするかを設定します。

❖プライバシーモード解除設定

プライバシーモードの解除方法を設定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[プライバシーモード設定]→認証操作→[解除設定]→[解除操作]→[標準]／[操作非表示]

❖プライバシーモードの起動／解除

1 通知パネルを開いた状態で電池アイコンを右にフリック／指紋センサーを1秒以上押す

✔お知らせ

- プライバシーモードを解除した状態で画面が消灯すると、次に画面が表示されたときにプライバシーモードは起動状態になります。
- アプリケーション起動中に指紋センサーを1秒以上押すと、正常に動作しないことがあります。

◆ 提供元不明のアプリケーションのインストールを許可

Playストア以外のサイトやメールなどから入手したアプリケーションのインストールを許可します。

- 本端末と個人データを保護するため、Playストアなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[提供元不明のアプリ]→注意文を確認後に[OK]

◆ 認証情報の管理

セキュリティ保護されたWi-FiネットワークやVPNなどに接続するための認証情報やその他の証明書をmicroSDカードからインストールできます。

❖信頼できる認証情報や証明書の表示

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[信頼できる認証情報]

❖認証情報や証明書のインストール

microSDカードから認証情報や証明書をインストールします。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[SDカードからインストール]

2 インストールする認証情報／証明書を選択

3 必要な場合はパスワードを入力→[OK]

4 認証情報／証明書の名前を入力→[OK]

❖認証ストレージの消去

認証ストレージからすべての認証情報や証明書を消去します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[認証ストレージの消去]→[OK]

◆ SDカードパスワード設定

microSDカードにパスワードを設定して、他人が不正に使用するのを防ぎます。

- microSDカードによっては本機能に対応していない場合があります。
- SDカードパスワードを設定するには、あらかじめセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P95

1 アプリケーションメニューで[設定]→[セキュリティ]→[SDカードパスワード設定]→認証操作

2 各項目を設定

- SDカードのマウント解除についての注意が表示された場合は［OK］をタップします。

パスワード登録：microSDカードのパスワード（半角16桁以内）を登録します。

- microSDカードごとに1件、最大20件登録できます。最大件数以上の登録があった場合は、最も古い日付の登録情報を削除して登録します。

パスワード認証：本端末以外でパスワードが設定されたmicroSDカードのパスワード認証をします。

パスワード変更：microSDカードのパスワードを変更します。

パスワード削除：microSDカードのパスワードを削除します。

パスワード強制削除：microSDカードのパスワードを含むすべてのデータを削除します。

■ microSDカードにパスワードを設定すると

microSDカードを他の端末に取り付けた場合はパスワード認証が必要です。パソコンやパスワード設定機能のない端末などに取り付けた場合には、データの利用や初期化もできません。

スライドイン機能設定

画面の端から指をスライドさせると、表示されたランチャー（アプリケーションやショートカットの一覧）からアプリケーションを起動できるように設定します。

1 アプリケーションメニューで［設定］→ユーザー設定の［その他...］→［スライドイン機能設定］

2 各項目を設定

- ［スタートガイド］をタップすると、スライドインランチャーやキャプメモの使いかたが表示されます。

✔お知らせ

- ランチャーに登録したアプリケーションが更新された場合、登録が解除されることがあります。

◆ キャプメモ

表示されている画面をキャプチャして、画像として編集したり、他のアプリケーションと共有したりできます。
- 画面によってはキャプチャできない場合があります。
- あらかじめ、キャプメモをスライドスポットに登録する必要があります。

1 スライドスポットから画面の中央方向にスライドし、キャプメモ領域で指を離す

2 目的の操作を選択

- キャプチャした画像は、ギャラリーの［Screenshots］に保存されます。
- ブラウザ表示中にWebページをキャプチャした場合は、URLの情報も同時に取得されます。共有時にURLの情報も取得するかどうかは、画像編集画面で ☰ →［URL共有設定］で設定できます。

言語と入力

- ATOKについては「NX!inputとATOKの設定」をご覧ください。→P40

◆ 英語表示に切り替え

利用する言語を英語に変更します。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→ユーザー設定の[その他...]→[言語と入力]→[Language]→[English]**

✔**お知らせ**

- アプリケーションによっては英語表示されません。
- 日本語表示に戻す場合は次の操作を行います。
  アプリケーションメニューで［Settings］→ PERSONAL：［More...］→［Language & input］→［言語］→［日本語］

◆ 単語登録

1 **アプリケーションメニューで[設定]→ユーザー設定の[その他...]→[言語と入力]→[ユーザー辞書]**

2 **[追加]→単語を入力→[OK]**

◆ Androidキーボードの設定

Androidキーボードのキー操作音やテキストの自動修正などを設定します。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→ユーザー設定の[その他...]→[言語と入力]→[Androidキーボード]の[設定アイコン]→各項目を設定**

◆ 音声検索の設定

Google音声検索の機能を設定します。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→ユーザー設定の[その他...]→[言語と入力]→[音声検索]→各項目を設定**

言語：Google音声検索時に入力する言語を設定します。

セーフサーチ：画像やテキストのアダルトフィルタを設定します。

不適切な語句をブロック：不適切な結果を表示するかどうかを設定します。

◆ テキスト読み上げの設定

テキスト読み上げプラグインの読み上げ速度を設定します。

- お買い上げ時、日本語のテキスト読み上げには対応していません。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→ユーザー設定の[その他...]→[言語と入力]→[テキスト読み上げの出力]**

2 **[音声の速度]→速度を選択**

日付と時刻

日付と時刻に関する設定を行います。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[日付と時刻]→各項目を設定

- ［日付と時刻の自動設定］／［タイムゾーンを自動設定］のチェックを外すと、日付とタイムゾーン、時刻を手動で設定できます。

ユーザー補助

ユーザー操作を補助する設定を行います。

- 初めて起動したときは、スクリーンリーダーを利用するかの確認画面が表示されます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[ユーザー補助]→各項目を設定

端末情報

本端末に関する各種情報を表示します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[端末情報]

2 項目を確認

ソフトウェア更新：ソフトウェアを最新の状態にします。→P158

マイプロフィール：プロフィール情報の設定、確認をします。

端末の状態：電池の状態、電話番号、各種ネットワーク名やアドレス、IMEI（個別のシリアルナンバー）などを確認します。

法的情報／認証：オープンソースライセンスやGoogle利用規約、認証ロゴを確認します。

モデル番号／Androidバージョン／ベースバンドバージョン／カーネルバージョン／ビルド番号：各バージョンや番号を確認します。

ファイル管理

Bluetooth®通信

本端末とBluetooth機器を接続してワイヤレスで通信したり、音声や音楽などを再生したりします。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

✔お知らせ

- 対応バージョン、プロファイルなどについては「主な仕様」をご覧ください。→P162
- ワンセグの音声は、SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみ再生できます。
- Bluetooth機器のご使用にあたっては、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

❖Bluetooth機能取り扱い上のご注意

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。本端末とBluetooth機器の間に障害物がある場合や周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。
- 電気製品／AV機器／OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。他の機器の電源が入っているときは正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

❖無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、無線LANの電源を切るか、本端末やBluetooth機器を無線LANから10m以上離してください。

◆ Bluetooth機能ON／OFF

Bluetooth機能を利用するときは、Bluetooth機能をONに設定してください。利用しないときは、電池の減りを防ぐためOFFに設定してください。
- ONのときはステータスバーにが表示されます。
- Bluetooth機能ON／OFFの設定は、電源を切っても変更されません。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[Bluetooth]を[ON]／[OFF]
- aptXについての画面が表示されたら［OK］をタップします。

◆ Bluetooth機器との接続

Bluetooth機器を接続します。Bluetooth機器で音楽を聴いたり、Bluetooth機器とデータを送受信したりすることができます。また、Bluetooth対応キーボードで本端末の文字入力ができます。
- Bluetooth機器をあらかじめ接続できる状態にしてください。
- 接続中はステータスバーにが表示されます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[Bluetooth]
- 接続するBluetooth機器が表示されないときは、［他のBluetoothデバイスには非表示］／［ペア設定したデバイスにのみ表示］をタップして［周辺のすべてのBluetoothデバイスに表示］にしてから［デバイスの検索］をタップします。

2 検出されたBluetooth機器をタップ→必要に応じてパスコード(PIN)を入力して[OK]／[ペア設定する]

■ 他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合

Bluetoothのペア設定リクエスト画面が表示された場合は、必要に応じてパスコード（PIN）を入力して［OK］をタップするか、［ペア設定する］をタップしてください。

✔お知らせ
- DUN（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル）で接続時は、通信料が高額になる場合がある旨のメッセージが表示されます。

◆ Bluetooth機器とのデータ送受信

ギャラリー（→P133）や連絡先などのデータを送信したり、Bluetooth機器からデータを受信したりできます。
- Bluetooth機器をあらかじめ接続できる状態にしてください。

〈例〉ギャラリーのファイルを送信する

1 ギャラリーを開いて画像をロングタッチ

2 →[すべて見る...]→[Bluetooth]／

3 Bluetooth機器をタップ

通知パネルを開くと送信完了を確認できます。

〈例〉Bluetooth機器からファイルを受信する

1 Bluetooth機器からファイルを送信

2 ファイル着信通知後に通知パネルを開く→[Bluetooth共有:ファイル着信]→[承諾]

- 受信したファイルは、アプリケーションメニューで［設定］→［Bluetooth］→ ⋮ →［受信済みファイルを表示］で確認できます。

◆ Bluetooth機器との接続解除

1 アプリケーションメニューで[設定]→[Bluetooth]

2 Bluetooth機器をタップ→[OK]

◆ Bluetooth機器とのペアリング解除

1 アプリケーションメニューで[設定]→[Bluetooth]

2 Bluetooth機器の 設定アイコン →[ペアを解除]

◆ Bluetooth機器の名前を変更

1 アプリケーションメニューで[設定]→[Bluetooth]

2 Bluetooth機器の 設定アイコン →[名前を変更]→機器名を入力→[OK]

◆ Bluetooth Low Energy設定

Bluetooth Low Energy対応機器との通知設定をします。

1 アプリケーションメニューで[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[Bluetooth Low Energy設定]

2 各項目を設定

Alert Notification：メール受信時などに対応機器に通知するかを設定します。

Find Me通知音：対応機器から通知を受けたときの音を設定します。

Proximity：接続を解除したときの対応機器の通知レベルを設定します。

- 本設定を反映するには、再度対応機器との接続が必要です。

Time：Time対応機器と時刻の同期をするかを設定します。

- 本設定に関わらず、本端末とTime対応機器のペアリング中の時刻は同期します。本設定がオンの場合には、ペアリング完了後に本端末の時刻が変わった場合でも、Time対応機器の時刻は同期します。

✔お知らせ

- マナーモードの設定に関わらず、Bluetooth Low Energy設定のFind Me通知音は鳴ります。

外部機器接続

◆ microSDカードのデータをパソコンから操作

PC接続用USBケーブル T01（別売）で本端末とパソコンを接続すると、本端末の内蔵ストレージやmicroSDカードのデータをパソコンから操作できます。

- Windows XP、Windows Vista、Windows 7に対応しています。

1 USBケーブルのmicroUSBプラグを本端末の外部接続端子に、USBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに差し込む

- microSDカードがマウントされていない場合は、アプリケーションメニューで［設定］→［ストレージ］→［SDカードをマウント］をタップします。
- 初めて接続する場合は操作2に進みます。2回目以降の接続の場合は操作3に進みます。

2 通知パネルを開く→［メディアデバイスとして接続］→［メディアデバイス（MTP）］／［カメラ（PTP）］

- Windows XPでは［メディアデバイス（MTP）］を選択してください。［カメラ（PTP）］を選択すると本端末のmicroSDカードのデータを正しく表示できない場合があります。

3 プログラムを選択→プログラムの画面の表示に従って操作

4 目的の操作を行う

✔**お知らせ**

- ［カメラ（PTP）］を選択している場合は、microSDカードを取り外しているときのみ本端末の内蔵ストレージのデータをパソコンから操作できます。

◆ USBマスストレージとのデータやりとり

USBメモリやUSB接続の外付けハードディスクドライブなどを周辺機器接続用USBケーブル（市販品）で本端末に接続して、データのやりとりができます。

1 USBケーブルのmicroUSBプラグを本端末の外部接続端子に、USBマスストレージのUSBコネクタをUSBケーブルのソケットに差し込む

- USBマスストレージ（複数接続した場合は1台のみ）が自動でマウントされます。

2 目的の操作を行う

✔**お知らせ**

- ACアダプタ付きのUSBマスストレージは、ACアダプタを接続してください。接続しないと外部ストレージと認識されません。
- ブラウザ、カメラ、ワンセグなどと同時に使用中は、ホスト機能停止の警告が表示される場合があります。その場合は、使用中の機能を停止してから操作してください。

❖USBマスストレージの取り外し

- データ転送中にUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[ストレージ]→[USBストレージのマウント解除]→USBケーブルを取り外す**

◆ MHL接続でテレビに表示

テレビに動画、画像、ブラウザ画面、メディアプレイヤー、モバキャス、ワンセグなどを表示します。

- 本端末とHDMI端子付きのテレビを接続するには、HDMIプラグ（Type A）に対応した、HDMI規格認証品（カテゴリー 2推奨）のHDMIケーブル（市販品）とHDMI変換ケーブル L01（別売）またはHDMI変換ケーブル SC01（別売）が必要です。また、MHLに対応したテレビとはMHLケーブル（市販品）を使用することで接続できます。
- すべてのHDMI機器との動作を保証するものではありません。

1 **HDMIケーブルとHDMI変換ケーブルを接続**

- HDMI変換ケーブルの接続方法については、HDMI変換ケーブルの取扱説明書をご覧ください。

2 **テレビのHDMI端子にHDMIケーブルを接続**

- HDMI端子への接続方法や入力の切り替え、音量の調整などについてはテレビの取扱説明書をご覧ください。

3 **本端末の外部接続端子にHDMI変換ケーブルを接続**

- テレビ表示中にHDMIケーブルが抜けると、一定時間接続待機状態になります。

✔お知らせ

- HDCP非対応のテレビと接続した場合、映像・音声は正しく出力されません。
- MHL出力開始時、接続するテレビによっては入力が切り替わらず映像が表示されない場合があります。その場合、テレビのリモコンなどで入力を切り替えてください。
- 接続するテレビによっては本端末から出力するデータが画面に収まらない場合があります。その場合、テレビの表示設定を変更してください。
- HDMIケーブルを接続中に、HDMIケーブルを持って本端末を持ち上げないでください。
- テレビに表示しないときは、HDMIケーブルを取り外すことをおすすめします。
- モバキャス、ワンセグ視聴時には、受信状態に影響が出ることがあります。次の方法で受信状態が良くなる場合があります。
  - TVアンテナを十分伸ばしてください。
  - 本端末をできるだけテレビから離してください。
  - テレビと接続するケーブルをできるだけTVアンテナから離してください。
  - 本端末の向きやTVアンテナの向きを変えてみてください。

DLNA対応機器との連携

本端末のmicroSDカードに保存されている静止画、動画、音楽のコンテンツを、DLNA対応のテレビやパソコンで再生できます。また、DLNA対応のパソコンやネットワーク接続HDD（NAS）のコンテンツを、本端末で再生できます。

- DLNA対応機器と連携するにはWi-Fiネットワーク接続が必要です。→P76
- DLNA対応機器側での操作については、DLNA対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本端末とすべてのDLNA対応機器間での連携を保証するものではありません。
- 本端末はDTCP-IPに対応しています。ただし、すべてのDTCP-IP対応機器との連携を保証するものではありません。

◆ DiXiM Serverの設定

本端末のコンテンツを、ホームネットワーク上で公開するための設定を行います。

1 アプリケーションメニューで[DiXiM Player]

- Wi-Fi設定の確認画面が表示されたら、画面の指示に従って操作してください。

2 ⚙→[DiXiM Serverの設定]

- ［DiXiM Server］の確認画面が表示されたら、［はい］をタップします。

3 各項目を設定

DiXiM Server：チェックを付けると、サーバー機能がオンになります。
サーバー名：DLNA対応機器に表示される名前を変更できます。
アクセス権の設定：［アクセス権の初期設定］にチェックを付けると、DLNA対応機器から本端末へのアクセスを許可します。チェックを外すと、［接続機器の一覧］でチェックを付けたDLNA対応機器のみアクセスが許可されます。
保存先設定：DLNA対応機器からアップロードされるコンテンツの保存先を設定します。microSDカードまたは本体メモリに保存できます。
公開フォルダ設定：接続機器に公開するコンテンツのフォルダを設定します。
Wi-Fi設定：Wi-Fiネットワークの接続を設定します。
起動時のメッセージ：起動したときにメッセージを表示するように設定できます。
画面ロック中の動作：画面ロック解除の認証が必要な場合でも、サーバーの動作を継続するかどうかを設定します。

◆ 本端末のコンテンツをDLNA対応機器で再生

- あらかじめDiXiM Serverを起動し、DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。

1 DLNA対応機器側で操作

- 本端末のDiXiM Serverにアクセスしてコンテンツを再生します。

✔お知らせ

- 本端末のカメラで撮影した動画などは、F-05E以外のDLNA対応機器で再生できない場合があります。

◆ 本端末のコンテンツを配信

本端末のコンテンツをDLNA対応機器に配信し、本端末で再生の操作ができます。

- あらかじめDiXiM Serverを起動し、DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。また、DLNA対応機器側でも本端末からの制御を許可しておきます。

1 アプリケーションメニューで[DiXiM Player]→サーバー一覧で本端末のサーバー名を選択

2 ⚙→[コンテンツタップ時の動作]→[リモート機器で再生]

3 [リモート再生機器の選択方法]→[その都度選ぶ]／[あらかじめ決めておく]

- ［その都度選ぶ］を選択した場合は、操作5に進みます。

4 [既定のリモート再生機器]→再生先のDLNA対応機器を選択

5 ⮌→再生する種別を選択→フォルダを選択→コンテンツを選択

- 操作3で［その都度選ぶ］を選択した場合は、リモート再生機器一覧から選択してください。

◆ DLNA対応機器のコンテンツを本端末で再生

- あらかじめDLNA対応機器側でコンテンツを公開し、本端末からのアクセスを許可してください。

1 アプリケーションメニューで[DiXiM Player]→サーバー一覧でDLNA対応機器のサーバー名を選択

2 ⚙→[コンテンツタップ時の動作]→[この端末で再生]

- ［コンテンツタップ時の動作］で［リモート機器で再生］を選択し、リモート機器の再生先を選択することで、別のDLNA対応機器で再生することもできます。

3 ⮌→再生する種別を選択→フォルダを選択→コンテンツを選択

4 プレーヤー画面で再生

- ドラマなどの連続放送の録画番組は、コンテンツが終了すると次のコンテンツを連続して再生します。
- プレーヤーとしてコンテンツの再生をしているときに再生先を切り替えると、コンテンツの続きから再生します。

✔お知らせ

- コンテンツ選択画面でコンテンツをロングタッチ→⬇をタップすると、コンテンツのダウンロードができます。ただし、DLNA対応機器によっては著作権保護されたコンテンツがダウンロードできない場合があります。

◆ デジタル録画番組を持ち出して再生

レコーダーなどのDLNA対応機器に録画したデジタル録画番組を本端末に保存し、再生することができます。

- DLNA対応機器はコンテンツのアップロードに対応している必要があります。
- あらかじめDLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。

1 アプリケーションメニューで[DiXiM Player]→[サーバー起動]→[はい]

2 DLNA対応機器からアップロードを実行

［保存先設定］で設定した保存先に、コンテンツが保存されます。→P112

3 →持ち出し番組一覧で再生するコンテンツを選択

アプリケーション

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリケーションに簡単にアクセスすることができます。

1 アプリケーションメニューで［dメニュー］

ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

- お買い上げ時は、ホーム画面で［dメニュー］をタップしても操作できます。

✔**お知らせ**

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE／3G／GPRS）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリケーションのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリケーションには、一部有料のアプリケーションが含まれます。

dマーケット

dマーケットでは、自分に合った便利で楽しいコンテンツを手に入れることができます。

1 アプリケーションメニューで［dマーケット］

dマーケットのトップ画面が表示されます。

- お買い上げ時は、ホーム画面で［dマーケット］をタップしても操作できます。
- 初回起動時は、「dマーケットソフトウェア使用許諾契約書」の［同意する］にチェックを付けて、［利用開始］をタップします。
- dマーケットの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

Playストア

Playストアを利用してGoogle Playのサイトへ接続すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームを検索して、本端末にダウンロード、インストールできます。また、映画コンテンツをレンタル視聴することができます。

- Google Playを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回起動時に画面の指示に従って設定してください。

◆ アプリケーションをインストール

1 アプリケーションメニューで[Playストア]

Google Playの画面が表示されます。

- 初回起動時は利用規約を読み、［同意する］をタップします。

2 アプリケーションを検索→アプリケーションを選択

3 [インストール](無料アプリケーションの場合)／[金額](有料アプリケーションの場合)

- アプリケーションによって表示される内容は異なります。
- アプリケーションが本端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリケーションがどの機能を利用するかを示す画面が表示されます。
  多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションにはご注意ください。この画面で［同意してダウンロード］／［同意して購入］をタップすると、本端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。アプリケーションの使用条件に同意する場合は［同意してダウンロード］／［同意して購入］をタップします。有料アプリケーションの場合、支払方法を設定していないときは［次へ］をタップして支払方法を設定し、最後に［同意する］をタップします。
- 有料アプリケーションの購入時はGoogleウォレットを利用できます。画面の指示に従って支払方法を設定してください。
  アプリケーションの購入後、規定の時間内であれば返金を要求することができます（各アプリケーションにつき1回のみ有効）。アプリケーション購入時の請求やキャンセルなどの詳細は、Google Play画面で⋮→［ヘルプ］→［Androidアプリ］をタップして、「アプリケーションの購入」をご覧ください。

4 ダウンロードの進捗状況を確認

インストールが完了すると、ステータスバーに▶が表示されます。

✔お知らせ

- アプリケーションのインストールは、安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染やデータの破壊などが起きる可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- アプリケーションメニューにインストールしたアプリケーションのアイコンが表示されます。

- インストールしたユーザー補助プラグインは、ユーザー補助プラグインの一覧画面で有効にすることができます。→P106

◆ Google Playのアプリケーションの削除

1 Google Play画面で画面右上の

2 アプリケーションを選択

3 [アンインストール]→[OK]

◆ Google Playのヘルプ

1 Google Play画面で→[ヘルプ]

Androidビーム

NFC（Near Field Communication）に対応した端末間で互いのNFCマークをかざすと、画面に表示したコンテンツをAndroidビーム機能で転送できます。

- Androidビームを利用するには、あらかじめAndroidビーム機能をONに設定しておく必要があります。
- アプリケーションによっては、Androidビームをご利用になれません。また、送受信できるデータはアプリケーションによって異なります。
- すべてのAndroidビーム機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

1 アプリケーションメニューで[設定]→無線とネットワークの[その他...]

2 [NFC]にチェック

3 [Androidビーム]→画面右上を[ON]／[OFF]

❖画面に表示したコンテンツを転送する

1 対応端末それぞれのAndroidビーム機能を利用可能に設定

2 送信側の端末で転送するウェブサイトや地図などを表示

3 対応端末のNFCマークを近づける

対向機を検知すると通知音が鳴り、送信側の端末の画面が縮小表示され、「タップしてビーム」と表示されます。

4 転送する画面をタップ

受信側の端末に、送信側で表示されていた内容が転送され表示されます。

❖NFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざす際の注意事項

- NFCマークを対向機にかざす際に、強くぶつけないようにご注意ください。
- NFCマークは対向機の中心に平行になるようにかざしてください。
- NFCマークを対向機にかざす際はゆっくりと近づけてください。
- NFCマークを対向機の中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- NFCマークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

モバキャス

モバキャスは、スマートフォン向けの放送サービスです。番組をリアルタイムに視聴できる「リアルタイム」（リアルタイム型放送）、映画やドラマだけでなく、マンガ・小説・音楽・ゲームなどをいつでもどこでも楽しむことができる「シフトタイム」（蓄積型放送）の2つの視聴スタイルが楽しめます。また、端末の通信機能を利用したソーシャルサービスとの連携など、今までにない放送サービスを楽しめます。

- モバキャスの詳細については、モバキャス放送局（NOTTV）のホームページをご覧ください。
  NOTTV　http://www.nottv.jp/

■ モバキャスのご利用にあたって

- モバキャスのご利用には別途モバキャス放送局（NOTTV）との有料放送受信契約が必要になります。
- 本端末にドコモminiUIMカードが入ってない場合は放送の受信・視聴ができません。
- モバキャスは日本国内で提供される放送サービスです。
- シフトタイムのご利用には本体メモリの容量が必要です。

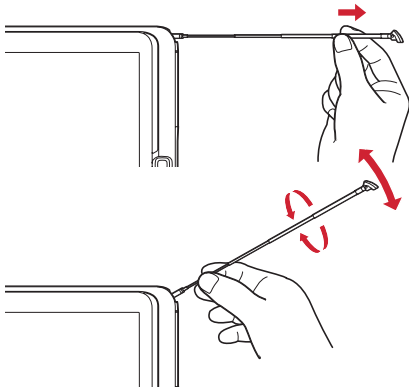
■ 放送電波・受信エリアについて

モバキャスは、XiサービスおよびFOMAサービスやワンセグとは異なる電波を受信しています。そのため、Xiサービスおよびの圏外／圏内に関わらず、モバキャスの放送電波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、モバキャス放送エリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送電波が送信される基地局から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所
- MHL接続でテレビに表示した場合に、モバキャス放送エリア内であっても、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

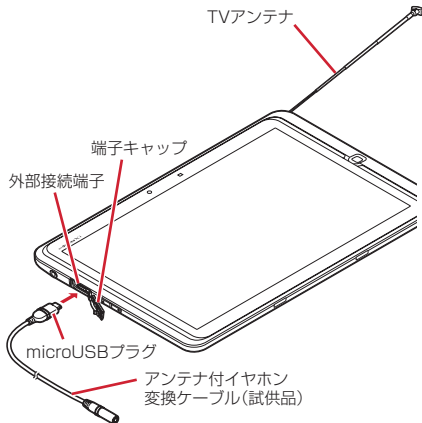
■ TVアンテナについて

モバキャスやワンセグを視聴するときは、TVアンテナが放送電波を受信します。

- TVアンテナを引き出すときは、最後までしっかり引き出してください。
- TVアンテナの方向を変えるときは、TVアンテナの根元近くを持って行います。無理に力を加えないでください。

- TVアンテナをしまうときは、TVアンテナの根元を持って止まるまで引っ込めます。TVアンテナの先端を持って引っ込めないでください。

■ 受信状態をよくするには

- ご利用時にはTVアンテナを十分伸ばしてください。
- TVアンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。
- アンテナ付イヤホン変換ケーブル（試供品）のmicroUSBプラグを本端末の外部接続端子に接続して、受信状態を改善できる場合があります。また、ケーブルの向きを変えたり、人体から離したりすることで受信状態が良くなることがあります。

〈アンテナ付イヤホン変換ケーブル（試供品）の接続のしかた〉

◆ モバキャス視聴

❖番組／コンテンツの視聴

1 **アプリケーションメニューで[NOTTV]**

NOTTVのホーム画面が表示されます。

- 初回起動時は、アプリの利用規約を確認して［同意する］をタップすると、自動的に初期設定が行われます。
- 初期設定は通信環境の良いところで実施してください。

2 **[すぐ見る]**

3 **番組／コンテンツを選択**

▲▼：音量調節

- ☰→［設定］→［表示・音声］をタップして、字幕や音声の設定を行うことができます。

✔お知らせ

- モバキャス視聴画面はコピー禁止のデータであるため、視聴中にスクリーンショットは実行できません。

■ 視聴画面の見かた

モバキャス視聴画面（縦）

① **コンテンツ表示エリア**
- 画面を左右にフリックしてチャンネルを選局します。（リアルタイム番組視聴時）
- 端末を横にすると表示が切り替わります。

② **ソーシャルボタン（縦画面のみ）**
- 番組／コンテンツに関連したタイムラインが表示されます。
- 右下の▲をタップして表示できます。

③ **詳細情報表示ボタン（縦画面のみ）**
- 番組詳細が表示されます。
- 右下の▲をタップして表示できます。

✔お知らせ

- コンテンツの表示構成は番組／コンテンツにより異なります。

◆ 番組／コンテンツを検索

番組／コンテンツをアプリケーション内でさまざまな方法で探すことができます。

❖番組表から検索（リアルタイム）

1 NOTTVのホーム画面で[番組表]

リアルタイム番組表が表示されます。

- 現在放送中の番組をタップすると視聴画面に切り替わります。

❖条件を指定して検索

1 NOTTVのホーム画面で[すべて]

2 番組／コンテンツをタップ

◆ 番組／コンテンツの受信予約（シフトタイム）

1 NOTTVのホーム画面で[すべて]

2 [コンテンツ予定表]

今後放送される番組／コンテンツの一覧が表示されます。

3 番組／コンテンツをタップ

番組／コンテンツの詳細画面が表示されます。

4 [受信予約する]

✔**お知らせ**

- 番組／コンテンツの放送時間に端末の電源が入っていない、電池残量不足、モバキャス放送エリア外など電波受信状況が良くない、本体メモリの空き容量不足などの場合は、番組／コンテンツが受信できない場合があります。
- 本体メモリに一時保存された番組／コンテンツは、ご利用中の端末でのみ視聴・利用できます。
- 利用期限を過ぎた番組／コンテンツは自動的に本体メモリから削除されます。なお、利用期限が過ぎる前の番組／コンテンツも手動で削除することができます。
- お客様が予約を行っていない場合も自動的に番組／コンテンツが予約される場合があります。（自動受信）
- 自動受信は設定で解除できます。
- 放送電波の受信状況によってはコンテンツデータが正常に受信できない場合があります。その場合、自動的にパケット通信にてデータを補完します。（自動コンテンツ補完）
- 自動コンテンツ補完は設定で解除できます。

◆ モバキャスの設定

1 NOTTVのホーム画面で[すべて]

2 [メニュー]→[その他]→[設定]

3 各項目を設定

表示・音声

字幕表示：字幕表示のオン／オフを設定します。

文字スーパー表示：文字スーパーを表示するかどうかを設定します。

音声：音声言語と主音声・副音声について設定します。

自動処理

自動受信：コンテンツ自動受信のON／OFFを設定します。

おすすめのリセット：おすすめの番組／コンテンツを自動受信するための情報をリセットします。

番組・コンテンツ情報取得：番組表／コンテンツリストの情報を放送で取得する時間帯を設定します。

自動コンテンツ補完：放送受信環境などの理由によりコンテンツを完全に受信できなかった際に、自動的にパケット通信でデータを補完するかを設定します。

利用ログ送信：リアルタイム型放送の視聴、蓄積型放送の再生／利用、アプリケーションの操作に関するログなどを送信するかどうかを設定します。

自動ライセンス取得：コンテンツのライセンスを自動的に取得するかを設定します。

ペアレンタルコントロール：年齢に応じた番組／コンテンツの利用制限を設定します。

ブラウザ

Cookie：Cookieの保存を許可するかどうかをON／OFFで設定します。

Cookieを削除：保存されているCookieを削除します。

放送用保存領域消去：放送受信データの保存領域を消去します。

データ放送表示：視聴画面のデータ放送領域を表示するかどうかを設定します。

履歴

番組／コンテンツの受信結果や自動的に番組／コンテンツを削除した履歴が表示されます。

ステータスバー

放送中番組を表示：ステータスバーに放送中番組を表示するかどうかを設定します。

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。
また、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。

「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

◆ ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送エリアに表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
  「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。
  「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
  サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

◆ 放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、Xiサービスおよび FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするためには、TVアンテナを十分伸ばしてください。また、TVアンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなる場合があります。→P119

◆ ワンセグの起動

1 アプリケーションメニューで[テレビ]

ワンセグ視聴画面が表示されます。

- 初めて起動したときは、使用許諾を読んで［同意する］をタップし、視聴する地域に対応したチャンネルリストを作成します。→P128

✔お知らせ

- 起動時に最低限必要な電池残量は5%、起動中に動作を継続するのに最低限必要な電池残量は2%です。
- ワンセグを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 電波状態によって映像や音声が途切れたり、停止したりする場合があります。
- ワンセグ視聴画面はコピー禁止のデータであるため、スクリーンショットは実行できません。

❖ワンセグ視聴画面について

① **テレビ映像エリア**
- 全画面表示でタップして選局ボタンの表示
- ダブルタップして全画面／視聴画面の切り替え
- ロングタッチして画面の向きを固定／解除
- 左右にスライドしてチャンネルの切り替え

② **字幕表示エリア**

③ **チャンネル、放送局、番組名**
- タップして番組内容の表示

④ **データ放送エリア**
- 横画面でのみ表示

⑤ **データ放送の操作ボタン**
- 横画面でのみ表示

⑥ **選局ボタン**

⑦ **チャンネル切り替えボタン**
- ロングタッチして、チャンネルサーチの実行

未登録の放送局が見つかったときは、→［チャンネルリスト］→［チャンネル追加］→［はい］をタップすると、チャンネルリストに追加できます。

⑧ 左にスライドして録画開始／右にスライドして録画終了

：音量調節
：番組表の表示
：録画リストを表示して再生
：予約リストを表示
：ワンセグのメニューを表示

◆ワンセグの終了

1 ワンセグ視聴画面で→［終了］

◆テレビリンク

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクを登録すると、関連サイトを直接表示できます。

❖テレビリンクの登録

1 データ放送エリアでテレビリンク登録可能な項目を選択
- テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

❖テレビリンクの表示

1 ワンセグ視聴画面で→［TVリンク］→テレビリンクを選択

登録されたサイトに接続します。

❖テレビリンクの削除

1 ワンセグ視聴画面で■→[TVリンク]

2 テレビリンクを選択(ロングタッチ)→[削除]→[はい]

テレビリンクをすべて削除：■→［全件削除］→［はい］

テレビリンクを選択削除：■→［選択削除］→テレビリンクを選択→［削除］→［はい］

- テレビリンクを選択するときに［一括選択］／［一括解除］をタップして一括操作ができます。

◆ 録画予約／視聴予約

テレビ番組の録画や視聴の予約ができます。

1 ワンセグ視聴画面で◎

予約リストが表示されます。

2 [録画予約]／[視聴予約]→[新規録画予約]／[新規視聴予約]→[番組表から予約]／[手動で予約]

3 各項目を設定→[完了]

✔**お知らせ**

- 予約した時刻になると、予約アラーム設定で設定した時間に従って、予約通知画面が表示され、アラーム音や振動でお知らせします。
- 予約した時刻に電源を切っている場合は、予約を実行できません。
- 手動で録画を行っている際に別の予約録画の開始時刻になった場合は、現在の録画を終了して予約録画を開始します。

❖予約内容の確認

1 ワンセグ視聴画面で◎→[録画予約]／[視聴予約]

録画予約一覧／視聴予約一覧が表示されます。

2 予約をタップ

✔**お知らせ**

- 録画予約一覧／視聴予約一覧画面で予約をロングタッチすると、［予約の詳細］／［予約を編集］／［予約を削除］を操作できます。

❖録画予約結果の確認

1 ワンセグ視聴画面で→[録画予約結果]

予約結果一覧が表示されます。

- ［全件消去］をタップしてすべての予約結果を消去できます。

2 予約結果をタップ

予約結果の詳細が表示されます。

- 予約結果をロングタッチすると、［予約結果の詳細］／［予約結果を削除］を操作できます。

◆ワンセグ録画

視聴中の映像・音声・字幕・データ放送を録画してmicroSDカードに保存します。

1 ワンセグ視聴画面でを左にスライドして録画を開始

- ワンセグ視聴画面→P124

2 を右にスライドして録画を終了

✔お知らせ

- あらかじめ本端末でフォーマットしたmicroSDカードを使用してください。
- 録画を開始するにはmicroSDカードの空き容量が10MB以上、電池残量が20%以上必要です。
- 録画中に次の状態になると録画が自動で停止します。
  - microSDカードの空き容量が2MB以下
  - 電池残量が10%以下
  - 録画開始から6時間経過
- 録画したテレビ番組は、著作権保護が設定されているデータとして保存されます。メールに添付することはできません。
- 録画時間が極端に短い（10秒以下）場合は、録画停止できません。
- 受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。
- 録画中は、チャンネル切り替えはできません。
- 録画とMTP転送など、負荷が大きな機能を同時に使用すると、正常に録画できない場合があります。
- 録画中にデータ通信サービスを行うと、ワンセグの電波状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
- 録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了する場合があります。

❖録画番組の再生

1 ワンセグ視聴画面で

2 データを選択

- 再生画面をタップすると、再生コントローラーが表示されます。また、再生画面をダブルタップすると、全画面表示になります。
- 前回途中で再生を終了した場合は、続きから再生されます。

：音量調節

✔お知らせ

- 録画リスト画面で、データをロングタッチすると、再生、タイトル名の変更、データの保護／解除などが行えます。

❖録画リストからデータを削除

1 ワンセグ視聴画面で▶

2 データを選択（ロングタッチ）

3 [削除]→[はい]

- 全件削除するときは、録画リスト画面で⋮→［全件削除］→［はい］
- 選択削除するときは、録画リスト画面で⋮→［選択削除］→データを選択→［削除］→［はい］

◆ワンセグの各種設定

1 ワンセグ視聴画面で⋮→[設定]

2 [全般設定]／[予約アラーム設定]→各項目を設定

全般設定

字幕表示：字幕表示のオン／オフを設定します。

字幕言語切替：複数の字幕がある番組で、どの字幕を表示するかを設定します。

主・副音声切替：副音声を放送している番組で、主音声と副音声を切り替えます。

音声切替：複数の音声を放送している番組で、どの音声を聞くかを設定します。

左右音声切替：左右どちらの音声を聞くかを設定します。

なめらかモード：映像をなめらかにする機能を使用するかどうかを設定します。［なめらかモード］にチェックを付けると電池の消費が増え、視聴できる時間が短くなります。

- エコモードが起動すると、なめらかモードは解除されます。

高画質化：映像を高画質化する機能を使用するかどうかを設定します。

再生情報表示：録画番組再生時に再生情報を表示します。

放送用メモリ初期化：データ放送で登録した情報やテレビリンクなどを消去します。

予約アラーム設定

アラーム通知：予約した時刻の前に設定した時間（OFF／30秒前／45秒前／1分前）にアラームで通知します。

録画時アラーム：録画開始時にアラームやバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。

アラーム音量：アラームの音量を設定します。

バイブレーション：アラーム通知時に振動するように設定します。

◆ チャンネル設定

❖チャンネルリストの作成

1 ワンセグ視聴画面で▮→[チャンネルリスト]→[チャンネルリスト編集]→[新規作成]

2 [手動設定]／[自動設定]→チャンネルリストを設定

手動設定：地域一覧から視聴する地域を選択して、チャンネルリストを作成します。

自動設定：現在地で受信可能な放送局をスキャンして、チャンネルリストを作成します。

❖チャンネルリストの切り替え

1 ワンセグ視聴画面で▮→[チャンネルリスト]→[チャンネルリスト切替]→チャンネルリストを選択

❖チャンネルリストから放送局を削除

1 ワンセグ視聴画面で▮→[チャンネルリスト]→[チャンネルリスト編集]

2 チャンネルリストを選択

3 放送局を選択（ロングタッチ）

複数削除：[複数削除] →放送局にチェック→ [削除]

4 [はい]

❖チャンネルボタンの割り当てを変更

1 ワンセグ視聴画面で▮→[チャンネルリスト]→[チャンネルリスト編集]

2 チャンネルリストを選択→[並べ替え]

3 ▤をドラッグしてリストを並べ替える→[完了]

❖チャンネルリストの初期化

1 ワンセグ視聴画面で▮→[チャンネルリスト]→[チャンネルリスト初期化]→[はい]

◆ 地デジ番組を再生する

microSDカードに書き込んだ地デジ放送番組を高画質（VGAクラス）で視聴することができます（地デジ持ち出し機能）。

- 書き込んだ機器によっては再生できない場合があります。

1 microSDカードに地デジ放送番組を書き込む

2 microSDカードを本端末に挿入

3 アプリケーションメニューで[テレビ]→▶

4 地デジ番組を選択

- 再生画面をタップすると、再生コントローラーを表示して、再生・一時停止・早送り・巻戻しなどを操作できます。

✔お知らせ

- 地デジ放送番組をmicroSDカードに書き込むときは、別売のSDメモリカード変換アダプタなどを使用して行ってください。

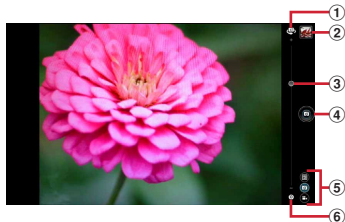
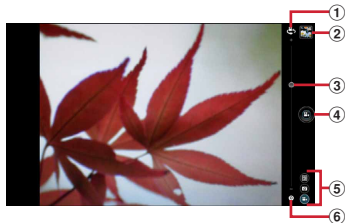
カメラ

◆ 撮影時の注意事項

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が現れることがありますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 本端末の温度が高い状態が続くと、カメラを利用できなくなる場合があります。本端末の温度が下がってからカメラをご利用ください。
- 本端末の電池残量が少ないと、カメラを利用できなくなる場合があります。十分に充電してからカメラをご利用ください。
- 撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- カメラ利用時は電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- マナーモードの設定に関わらず、シャッター音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音は鳴ります。
- 「パノラマ撮影」で撮影するには、microSDカードを取り付けている必要があります。

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。
カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。
お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

◆ 撮影画面の見かた

静止画撮影画面

動画撮影画面

① インカメラ／アウトカメラの切り替え
② 撮影履歴
③ ズーム
④ シャッターボタン
⑤ バーコードリーダー／静止画撮影／動画撮影の切り替え
⑥ 設定アイコン（タップして設定項目を表示）

◆ 静止画撮影

1 アプリケーションメニューで[カメラ]→撮影画面に被写体を表示→

シャッター音が鳴り、写真が撮影されます。

◆ 動画撮影

1 アプリケーションメニューで[カメラ]

2 →[動画撮影]

- 静止画撮影画面でをタップして切り替えることもできます。

3 撮影画面に被写体を表示→（開始）

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 撮影が開始されると、撮影画面に録画経過時間が表示されます。

4 （終了）

撮影停止音が鳴り、撮影が終了します。

◆ パノラマ撮影

静止画撮影時に、カメラの方向を左右または上下に少しずつずらすだけで連続したパノラマ画像を撮影できます。

- インカメラでのパノラマ撮影はできません。
- 「パノラマ撮影」で撮影した画像は、microSDカードに保存されます。microSDカードが取り付けられていることを確認してください。

1 **アプリケーションメニューで［カメラ］**

2 **→［パノラマに切替］**

パノラマ撮影画面に切り替わります。

3 **カメラを被写体に向ける**

4 **（開始）**

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 撮影時にカメラの方向をずらす速度が速すぎた場合は、「速すぎます」と表示されますので、表示されないようにカメラを動かします。

5 **（終了）**

撮影停止音が鳴り、撮影が終了してパノラマ画像が保存されます。

- シャッターボタンをタップしないで撮影が終了した場合は、撮影停止音は鳴りません。

◆ 撮影時の設定変更

- 組み合わせにより選択できない項目があります。
- ホーム画面、アプリケーション画面以外からカメラを起動した場合、設定できない項目があります。

❖ 静止画撮影時の設定変更

■ セルフタイマー

セルフタイマーを設定します。

■ ちらつき調整

蛍光灯などの照明下でちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えます。

■ ホワイトバランス

カメラの色味を環境に合わせて設定します。

■ 表示サイズ

撮影サイズを選択します。

■ 明るさ調整

画像の明るさを設定します。

■ カメラ設定

カメラの設定を変更したり、お買い上げ時の状態に戻したりします。

- 各設定項目の左右に表示される「<」や「>」をタップして設定項目を切り替えます。

位置情報を記録する：撮影した画像に位置情報を付加するかどうかを設定（ON／OFF）します。

データ保存先切替：撮影データの保存先（本体／SDカード）を選択します。

画面の明るさアップ：画面を明るくするかどうかを設定（ON／OFF）します。

初期設定に戻す：カメラの各設定をお買い上げ時の状態に戻します。

❖動画撮影時の設定変更

■ セルフタイマー

セルフタイマーを設定します。

■ ちらつき調整

蛍光灯などの照明下でちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えます。

■ ホワイトバランス

カメラの色味を環境に合わせて設定します。

■ 動画の画質

動画撮影時の画質を選択します。

■ サイズ選択

動画撮影時の画像サイズを選択します。

■ 録画音声

録画音声のON／OFFを切り替えます。

■ 明るさ調整

画像の明るさを設定します。

■ カメラ設定

カメラの設定を変更したり、お買い上げ時の状態に戻したりします。

- 各設定項目の左右に表示される「<」や「>」をタップして設定項目を切り替えます。

データ保存先切替：撮影データの保存先（本体／SDカード）を選択します。

画面の明るさアップ：画面を明るくするかどうかを設定（ON／OFF）します。

初期設定に戻す：カメラの各設定をお買い上げ時の状態に戻します。

◆バーコードリーダー

JANコード（JAN8、JAN13）、NW7コード、CODE39コード、QRコードのデータを読み取り、利用できます。

- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。

❖バーコードの読み取り

- コードが読み取りにくい場合は、コードとカメラの距離、角度、方向などの調節により、読み取れることがあります。

1 **アプリケーションメニューで[カメラ]→ ☰ →[バーコードリーダーに切替]**

- 静止画撮影画面や動画撮影画面で▣をタップして切り替えることもできます。

2 **撮影画面にコードを表示→スキャンまたは撮影画面をタップ**

読み取りが完了すると確認音が鳴り、読取結果画面が表示されます。

分割されたデータを読み取るとき：複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータを連結して表示できます。未取得のデータがある場合、続けて読み取ってください。

静止画撮影／動画撮影の切り替え：→［カメラ切替］→［静止画］／［動画］

履歴の表示：→［履歴］

ヘルプの表示：→［ヘルプ］

ちらつき調整の変更：→［ちらつき調整］→［自動］／［50Hz（東日本）］／［60Hz（西日本）］

3 **読み取りデータを確認**

データの保存：→［履歴を保存］→履歴欄をタップ

❖バーコードの主な利用

読取結果画面で、読み取ったバーコードデータを利用します。

- 読み取ったデータによって、表示されるメニューは異なります。

電話帳に一括登録：→［電話帳一括登録］→電話帳に登録

メールの作成：メールアドレスを選択してメールを作成

サイトまたはホームページに接続：URLを選択

URLをブックマークに登録：→［ブックマークに登録］

電話をかける：電話番号を選択して電話をかける

ギャラリー

カメラで撮影したりダウンロードしたりして保存した画像（静止画、動画）を表示／再生します。

- 次のファイル形式のデータを表示／再生できます。
  静止画：JPEG、BMP、GIF※、PNG、WEBP
  動画：H.263、H.264、MPEG-4、WMV9、VC-1、VP8
  ※ GIFアニメーションは再生できません。
- ファイルによっては表示／再生できない場合があります。

◆ 画像の表示／再生

1 **アプリケーションメニューで［ギャラリー］→アルバムを選択→画像を選択**

- 動画は画像一覧で が表示されます。
- 前後の画像に切り替えるには、画面を左右にフリックします。

■ 静止画表示中の操作

- ピンチイン／ピンチアウトで縮小／拡大します。
- 静止画表示中にをタップすると、［スライドショー］／［編集］／［左に回転］／［右に回転］／［トリミング］／［登録］／［詳細情報］の各操作ができます。［編集］では、色調や明るさの補正、特殊効果などの編集ができます。［登録］では、電話帳の写真や壁紙に登録できます。
- 静止画表示中にをタップすると、表示中の画像を削除できます。

■ 動画再生中の操作

- [▲][▼]で音量を調節します。
- 画像をタップして表示される操作画面で再生／一時停止のほか、プログレスバーをスライドさせて再生位置を変更できます。

■ 画像一覧での操作

- 画像をロングタッチすると、画面左上にチェックが表示され、画像に水色の枠が表示されて選択状態になります。タップすると選択解除します。
- 画像を選択した状態で画面上部の［○件選択…］をタップすると、［すべて選択］／［選択をすべて解除］の操作ができます。
- 1件の画像を選択した状態で、[⋮]をタップすると、［編集］／［左に回転］／［右に回転］／［トリミング］／［登録］／［詳細情報］／［地図に表示］の操作ができます。

■ テレビ表示中のリモコン操作

MHL接続でテレビに表示中はテレビのリモコンを使って操作できます。

- リモコンのボタンに対応する基本的な操作は次のとおりです。接続するテレビによっては、操作が異なる場合があります。

「決定」ボタン：選択
「←／→／↑／↓」ボタン：スライド／フリック
「ホーム」ボタン：ナビゲーションバーのホームキー
「戻る」ボタン：ナビゲーションバーのバックキー

- 動画再生画面では、「再生／一時停止」ボタンで再生／一時停止、「巻戻し／早送り」ボタンで5秒巻き戻し／15秒早送り、「前／次」ボタンでトータル時間の5%巻き戻し／早送りができます。

✔お知らせ

- アルバム一覧で左上に表示される［アルバム］をタップすると、画像を［アルバム］／［ロケーション］／［時間］／［タグ］別に分類して表示を切り替えることができます。［タグ］による分類は、Picasaのアルバムに設定されたタグ情報による分類となります。あらかじめPicasaのアルバムにタグ情報を設定した上で、Picasaに登録されているGoogleアカウントを本端末に同期させてからご利用ください。
- 画面上部に表示されるアイコンをタップすると、次の操作ができます。
  [📷]：カメラを起動
  [▶]：スライドショー
  [共有]：送信方法を選択して画像の送付や共有
  [🗑]：画像の削除
  [⋮]：各画面でのメニューを表示

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーを利用して、音楽／動画の再生、ストアからダウンロードした音楽／動画コンテンツを再生します。

- 音楽の再生可能なファイル形式／コーデックはAAC、HE-AAC v1、HE-AAC v2、MP3、MIDI、WMAです。動画の再生可能なファイル形式はH.263、H.264、MPEG-4、WMV9、VC-1、VP8です。ただし、ファイルによっては再生できない場合があります。
- MIDI形式および着信用のファイルは、一覧画面に表示されません。他のアプリケーションでファイルを選択したときなどに再生が可能です。
- パソコンからmicroSDカードへ音楽／動画ファイルを転送する方法については、「microSDカードのデータをパソコンから操作」をご覧ください。→P110

◆ 音楽／動画の再生

1 アプリケーションメニューで[メディアプレイヤー]→アイコンを選択

- 音楽／動画の一覧が表示された場合は、操作3に進みます。

2 アイテムを選択

3 音楽／動画を選択

◆ ストアからの購入

1 アプリケーションメニューで[メディアプレイヤー]→[MUSICストア]／[VIDEOストア]

ストア画面が表示されます。

- 初回起動時の場合は「dマーケットソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

◆ メディアプレイヤーのヘルプ

メディアプレイヤーの操作方法を確認できます。

1 アプリケーションメニューで[メディアプレイヤー]

2 ⋮→[ヘルプ]

YouTube

YouTubeは、Googleのオンライン動画ストリーミングサービスです。動画の再生、検索、アップロードなどができます。

1 アプリケーションメニューで[YouTube]

- ⋮→［ログイン］をタップして、ログインすると動画をアップロードしたり、お気に入りや再生リストなどを作成したりできます。
- YouTubeにログインして利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回ログイン時に画面の指示に従って設定してください。
- ⋮→［ヘルプ］をタップしてヘルプを表示します。

2 動画を選択

- ▲▼で音量を調節します。
- ⏸／▶で一時停止／再生します。
- 再生画面をタップして表示されるプログレスバーをスライドさせて再生位置を変更します。

✔お知らせ

- 数百MB以上の大容量の動画ファイルは、パソコンからアップロードしてください。ネットワーク環境により本端末からはアップロードできない場合があります。

GPS／ナビ

本端末のGPS機能と対応するアプリケーションを使用して、現在地の確認や目的地までのルート検索などを行うことができます。

◆ GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。

- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。また、本体左上部分にGPSアンテナがありますので、その付近を手で覆わないようにしてお使いください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

◆ 位置情報サービスの設定

❖GPS機能

GPSを使用して現在地の特定をアプリケーションに許可するかを設定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[位置情報サービス]→[GPS機能]にチェック→[同意する]

✔お知らせ

- 精度の高い位置情報を測位するには、視界が良好な場所で使用してください。
- 本機能を使用すると電池の消費が多くなりますのでご注意ください。
- Googleの位置情報サービスと併用することをおすすめします。

❖Googleの位置情報サービス

Wi-Fiやモバイルネットワーク基地局からの情報をもとに、現在地の特定を許可します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[位置情報サービス]→[Googleの位置情報サービス]にチェック→[同意する]

❖位置情報とGoogle検索

検索結果やサービスの品質向上にGoogleが現在地情報を使用することを許可します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[位置情報サービス]→[位置情報とGoogle検索]にチェック→[同意する]

- ［位置情報とGoogle検索］にチェックを付けると、Googleの位置情報サービスによる匿名化された位置データの収集に同意したものとみなされます。データ収集はアプリケーション起動の有無に関わらず行われます。

◆ Googleマップ

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行います。

- Googleマップを利用するには、LTE／3G／GSMネットワークでの接続またはWi-Fi接続が必要です。
- 現在地を測位するには、あらかじめ位置情報サービスを有効にしてください。
- Googleマップは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

❖現在地を表示

1 アプリケーションメニューで[マップ]→

- 地図表示中は次の操作ができます。
  スクロール：地図をスクロールします。
  2本指スワイプ：上下スワイプで地図の表示が傾斜します。回転スワイプで地図の表示が回転します。
  ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。
  ダブルタップ：拡大します。
  2本指タップ：縮小します。

❖ストリートビュー

- ストリートビューに対応していない地域もあります。

1 地図表示中に地点をロングタッチ→表示された吹き出しをタップ→[ストリートビュー]

- 初回起動時はストリートビューの新機能を確認し、［OK］をタップします。
- ストリートビュー表示中に→［コンパスモード］をタップしてコンパスモードをオンにすると、本端末の電子コンパスとストリートビューの方位が連動します。

❖場所を検索

1 地図表示中に[地図を検索]→検索ボックスにキーワードを入力

- 住所、都市、ビジネスの種類や施設（例：ロンドン美術館）を入力します。

2 ／検索候補を選択→地図上の吹き出しをタップ

- 検索結果が複数ある場合は、地図上の赤丸を選択して吹き出しを表示します。また、画面左側に検索結果のリストが表示されます。目的の場所を選択して詳細情報とオプションを開くこともできます。
- 場所によって利用できるオプションは異なります。

❖レイヤを表示

地図表示中に道路の交通状況を追加したり、航空写真表示に切り替えたりします。

1 **地図表示中に →項目を選択**

- 交通状況と路線図は提供地域が限定されています。

❖道案内

1 **地図表示中に**

2 **[現在地]→出発地を入力→[目的地:]→目的地を入力**

- 現在地から道案内をする場合は、[現在地] のままにします。
- 入力欄右の をタップして、現在地や連絡先の住所、地図上の場所、マイプレイスを指定することもできます。

3 **移動手段(車/公共交通機関/徒歩)を選択→[実行]**

: 車　: 公共交通機関　: 徒歩

- 検索して複数の経路が見つかった場合は選択します。
- をタップするとナビを開始します。

✔お知らせ

- アプリケーションメニューで [ナビ] の操作でもナビを起動できます。

◆ Google Latitudeで友だちの現在地を確認

地図上で友だちと位置を確認しあうことができます。

- Google Latitudeを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、Latitudeの初回起動時に画面の指示に従って設定してください。
- 位置情報は自動的に共有されません。Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友だちを招待するか、友だちからの招待を受ける必要があります。

❖Latitudeに参加

1 **地図表示中に →[Latitude]**

- Latitudeの詳細については、次の操作でヘルプをご覧ください。
  地図表示中に → [ヘルプ] → [操作手順] → [その他のマップの機能] → [Latitude]

✔お知らせ

- アプリケーションメニューで [Latitude] の操作でもGoogle Latitudeを起動できます。

◆ ローカル

現在地周辺の施設や店舗などをすばやく検索します。

1 **アプリケーションメニューで[ローカル]**

2 **施設/店舗を選択**

- → [検索を追加] をタップすると、一覧にない施設や店舗 (美術館、書店など) を追加できます。

3 目的の操作を選択

- 場所によって利用できるオプションは異なります。

時計

卓上時計を表示したり、アラームを設定したりします。

1 アプリケーションメニューで[時計]

卓上時計が表示されます。

◆ アラームの設定

1 アプリケーションメニューで[時計]→

2 目的の操作を行う

新規アラームを設定：[アラームの設定]→[時刻]→時刻を設定→[繰り返し]／[アラーム音]／[バイブレーション]／[ラベル]を設定→[OK]

アラームON／OFF切り替え：アラームにチェック／チェックを外す

アラームの削除：時刻表示欄をロングタッチ→[アラームを削除]→[OK]

3 [完了]

❖アラーム通知時刻になると

設定に従ってアラームが動作します。

アラームの停止：通知画面で[停止]

スヌーズを設定：通知画面で[スヌーズ]

- 一定時間が経過すると再びアラームが動作します。

スヌーズを解除：通知パネルを開く→スヌーズ通知をタップ

カレンダー

本端末のカレンダーをオンラインのGoogleカレンダーと同期させて、予定を管理できます。

- カレンダーを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。

◆ カレンダーの表示

1 アプリケーションメニューで[カレンダー]

■ カレンダー画面での主な操作

表示単位の切り替え：[日]／[週]／[月]／[予定リスト]

今日を含む表示に切り替え：[今日]

同期、表示するカレンダーの選択：→[設定]→同期、表示するアカウントをタップ→右側リスト欄のアカウントにチェック

カレンダー設定：→[設定]→[全般設定]→各項目を設定

◆ 予定の登録

1 カレンダー画面で

- 初回や未同期のときはアカウント追加画面が表示されます。必要に応じてアカウントを追加してください。
- 時間帯をロングタッチ（月表示の場合は日付をタップしてから時間帯をロングタッチ）しても登録できます。

2 各項目を設定→[完了]

❖通知の時間になると

設定に従って通知が行われます。次の操作で通知を消去したりスヌーズを設定したりできます。

1 通知パネルを開き、通知をタップ

2 目的の操作を行う

予定の確認：通知をタップ
詳細画面が表示され、通知を編集できます。
通知をすべて消去：[通知を消去]
通知をすべてスヌーズ：[すべてスヌーズ]
5分後に再度予定を通知します。

◆予定の確認

カレンダーに登録した予定の詳細を表示します。

1 カレンダー画面で予定をタップ

- 月表示の場合は日付をタップしてから予定をタップします。

■ 詳細画面での操作

予定の編集：→予定を編集→［完了］
予定の削除：→［OK］

電卓

1 アプリケーションメニューで[電卓]

2 計算する

入力した文字の消去：
数式をすべて消去：[C]
切り取り／コピー／貼り付け：数式表示欄をロングタッチ→切り取り／コピー／貼り付けの操作を行う

電子辞書

電子辞書を利用します。

1 アプリケーションメニューで[統合辞書+]

2 キーワードを入力→[検索]

- 文字入力中はキーワードに連動して検索候補が表示されます（インクリメンタルサーチ）。

音声検索：→キーワードを発声
ヘルプの表示：
電子辞書の操作方法を確認できます。
バージョン情報の表示：
電子辞書設定：→［設定］→各項目を設定
文字サイズ、検索件数、動画や音声再生の動作などを設定できます。
辞書の管理：→［辞書管理］→目的の操作を行う
辞書の保存先を移動したり、辞書を削除したりします。

3 候補一覧から調べたいキーワードをタップ

✔**お知らせ**

- 本端末またはパソコンを使ってダウンロードサイトから辞書データを追加して利用できます。詳しくは、[辞書を追加する]をご覧ください。
- パソコンを使って、辞書コンテンツをダウンロードする場合は、あらかじめmicroSDカードを本端末から取り外して、microSDカードリーダー／ライターなどを使ってパソコンと接続し、microSDカードへ辞書コンテンツをインストールしてください。
- インターネットに接続して辞書コンテンツをダウンロードする場合には、通信環境によって時間がかかることがあります。また、本端末でダウンロードするとパケット通信料金が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 本端末でのダウンロード中は、辞書ダウンロード以外の機能をご利用になれます。
- ダウンロードが途中でキャンセルされた場合でも、ダウンロードが完了している辞書は更新されます。
- 音声検索を利用する場合や、Wikipedia検索を利用した場合は、パケット通信料がかかることがあります。

検索

キーワードを入力して本端末内やWebサイトを検索したり、本端末内のアプリケーションを呼び出して起動したりできます。音声でWebサイトを検索することもできます。

1 アプリケーションメニューで[検索]

- 初回起動時は利用規約を読み、[OK]をタップします。

2 キーワードを入力

文字の入力に従って検索候補が表示されます。

音声検索：**入力欄右側の をタップ→キーワードを発声**

3 検索候補を選択

◆ 検索設定

検索機能の設定を行います。

1 アプリケーションメニューで[検索]→ →[設定]→各項目を設定

検索対象：検索対象を指定します。

Google検索：Google検索について設定します。

✔**お知らせ**

- 特定の検索サイトを選択して検索できる[ウルトラ統合検索]を検索設定で検索対象にした場合は、ホーム画面をロングタッチ→[ウィジェット]→[ウルトラ統合検索]をタップして一度起動してからご利用いただけます。

Document Viewer

Office文書（Word、Excel、PowerPoint）やPDFファイル、テキストファイルを表示します。

1 アプリケーションメニューで[Document Viewer]

- 画面適合ズームの画面が表示されたら、[OK] をタップします。

2 フォルダ／ファイルを選択

- 画面をタップするとアイコンが表示され、次の操作ができます。
  ◀／▶：前後のページ（シート）を表示
  🔍：ズームコントロールを表示
  ✥：画面サイズで表示する範囲を指定
  📖：ファイル一覧に戻る
- 各ファイルの閲覧画面で☰をタップすると、移動、検索、ページ表示、コピー、設定、共有、エンコードの設定、バージョン情報の表示などができます。操作できる項目はファイルの種類により異なります。

✔お知らせ

- Office文書の表示内容がパソコンでの表示と異なっていたり、文書の一部が表示されない場合があります。

SDカードバックアップ

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、spモードメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができます。

- 初回起動時は「利用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

◆ バックアップ

電話帳、spモードメール、メディアファイルなどのデータをmicroSDカードにバックアップします。

- 本端末のメモリ構成上、microSDカードが未挿入の場合、画像・動画などのデータは本体メモリに保存されます。本アプリケーションでは画像・動画などのデータのうち本体メモリに保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[ドコモサービス]→[SDカードバックアップ]

2 [バックアップ]→バックアップするデータを選択→[バックアップ開始]→[OK]→ドコモアプリパスワードを入力

◆ 復元

microSDカードにバックアップした電話帳、spモードメール、メディアファイルなどのデータを本体に復元します。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[ドコモサービス]→[SDカードバックアップ]**

2 **[復元]→復元するデータの種別で[選択]→復元するデータを選択→[選択]→復元方法を選択→[復元開始]→[OK]→ドコモアプリパスワードを入力**

◆ 電話帳アカウントコピー

Googleアカウントの電話帳をdocomoアカウントにコピーします。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[ドコモサービス]→[SDカードバックアップ]**

2 **[電話帳アカウントコピー]→Googleアカウントの電話帳で[選択]→[上書き]／[追加]**

✔**お知らせ**

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外さないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 各機能や操作の詳しい説明、その他のメニュー項目の説明については、⋮ → ［ヘルプ］をタップしてご確認ください。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。SMSは設定の変更なくご利用になれます。

- 本端末は、クラス4になります。3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。海外ではXiエリア外のため、3GまたはGSM/GPRSネットワークをご利用ください。
- 海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  - 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - ドコモの「国際サービスホームページ」

✔お知らせ

- 国番号／国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号／接続可能な国・地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

海外で利用できるサービス

主な通信サービス	3G	3G850	GSM (GPRS)
SMS	○	○	○
メール※	○	○	○
ブラウザ※	○	○	○

※ ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミングの設定をオンにしてください。→P147

✔お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

海外で利用する前の確認事項

◆ ご出発前の確認

海外でご利用いただく際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 料金について

海外でのご利用料金（パケット通信料）は日本国内とは異なります。

- ご利用のアプリケーションによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリケーションの動作については、お客様ご自身でアプリケーション提供元にご確認ください。

◆ 滞在国での確認

海外に到着後、端末の電源を入れると、自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ 接続について

［モバイルネットワーク］の［通信事業者］を［自動選択］に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

定額サービス適用対象通信事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が1日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用には国内のパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

■ ディスプレイの表示

- 国際ローミング中は電波状態アイコンの左上に［R］が表示されます。本端末は、3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。
- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

■ 日付と時刻

［日付と時刻］の［日付と時刻の自動設定］、［タイムゾーンを自動設定］にチェックを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」→P106

❖ お問い合わせについて

- 本端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

海外で利用するための設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

◆ ネットワークモードの設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[モバイルネットワーク]→[ネットワークモード]

2 [LTE/3G/GSM(自動)]／[LTE/3G]／[GSM]

✔お知らせ

- ［LTE/3G/GSM（自動）］に設定しているときに、同じ通信事業者のGSM/GPRSネットワークと3Gネットワークを同時に検出すると、3Gネットワークに優先的に接続します。
- 滞在先で［GSM］に設定した場合は、日本に帰国後、［LTE/3G］または［LTE/3G/GSM（自動）］に設定してください。

◆ 手動で通信事業者を設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[モバイルネットワーク]→[通信事業者]

利用可能なネットワークを検索して表示します。

2 通信事業者のネットワークを選択

✔お知らせ

- 滞在先で通信事業者を手動で設定した場合、日本帰国後に［通信事業者］を［自動選択］に設定してください。

◆ データローミングの設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→無線とネットワークの[その他...]→[モバイルネットワーク]

2 [データローミング]→注意画面の内容を確認して[OK]

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、次の設定を行ってください。

- ［モバイルネットワーク］の［ネットワークモード］を［LTE/3G/GSM（自動）］に設定します。→P147
- ［モバイルネットワーク］の［通信事業者］を［自動選択］に設定します。→P147

付録／索引

オプション・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳細は、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01
- 卓上ホルダ F39
- PC接続用USBケーブル T01
- FOMA ACアダプタ 01※1／02※1、2
- FOMA DCアダプタ 01※1／02※1
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01※1、2
- ACアダプタ F05※2／F06※2／F07※2
- ACアダプタ 03※2
- DCアダプタ 03
- FOMA乾電池アダプタ 01※1
- ワイヤレスイヤホンセット 02／03
- Bluetoothヘッドセット F01
- Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
- 海外用AC変換プラグCタイプ 01※3
- microUSB接続ケーブル 01
- HDMI変換ケーブル SC01
- HDMI変換ケーブル L01

※1 本端末と接続するには、FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01が必要です。
※2 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
※3 ACアダプタ 03と組み合わせてご利用ください。

トラブルシューティング（FAQ）

◆ 故障かな？と思ったら

- まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P158
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源・充電

●本端末の電源が入らない
電池切れになっていませんか。

● 充電ができない

- アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。
- 別売りのACアダプタ03をご使用の場合、microUSB接続ケーブルのプラグが本端末およびACアダプタと正しく接続されていますか。→P31
- 付属の卓上ホルダを使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- 別売りのPC接続用USBケーブル T01をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇してお知らせLEDが消える場合があります。温度が高い状態では安全のために充電を停止しているため、ご使用後に本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

● 本端末の電源が切れない

[⏻]を10秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。

■ 端末操作・画面

● キーを押しても動作しない

スリープモードになっていませんか。[⏻]または指紋センサーを押して解除してください。→P46

● 電池の使用時間が短い

- 複数のアプリケーションを起動していると、電池の消費が増えて使用時間が短くなることがあります。次の方法で使用していないアプリケーションを終了してください。
  - タスクマネージャでアプリケーションを終了→P47
  - [戻る]でアプリケーションを終了
- 「NX!エコ」を利用して、電池の消費を抑える設定を行ってください。→P89
- 電池の消費を抑える設定については、ARROWS@（http://atfe.fmworld.net/at/）をあわせてご覧ください。
- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、本書巻末の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

● ドコモminiUIMカードが認識されない

ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P26

● **タッチパネルをタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い**

本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

● **操作中・充電中に熱くなる**

操作中や充電中、充電しながらワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

● **操作中・充電中に熱くなり、機能が利用できない**

本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電またはご使用中の一部機能を利用できないことがあります。

● **端末が熱くなり、電源が切れる**

複数のアプリケーションの起動、カメラの使用やインターネット接続などを長時間行った場合など、本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電や機能が停止したり、画面の明るさを調整したりすることがあります。また、やけどを防ぐため本端末の電源が切れることがあります。

● **ディスプレイが暗い**

- 画面の明るさ設定を確認してください。→P85
- NX!エコのエコモードを設定していませんか。→P89

● **時計がずれる**

長い間、電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付と時刻の［日付と時刻の自動設定］にチェックが付いていることを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。→P106

● **端末動作が不安定**

- ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションにより不安定になっている可能性があります。
  セーフモード（ご購入時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
  次の方法でセーフモードを起動してください。
  電源を切った状態で[⏻]を2秒以上押し、docomoのロゴ表示が消えてから[▾]を押し続けてください。セーフモードが起動されるとロック画面左下に［セーフモード］と表示されます。セーフモードを終了させるには、電源を入れ直してください。

※ 事前に必要なデータをバックアップしてからセーフモードをご利用ください。

※ お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。

※ セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合にはセーフモードを終了し、ご利用ください。

- 開発者向けオプションは開発専用に設計されているため、設定すると端末や端末上のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。

● **タップしても正しく操作できない**

- 手袋をしたままで操作していませんか。
- 爪の先で操作したり、異物を操作面に乗せたままで操作したりしていませんか。
- ディスプレイに保護シートやシールなどを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。
- タッチパネルが濡れたままで操作したり、指が汗や水などで濡れた状態で操作していませんか。
- 指で直接画面に触れて操作してください。

● 電源を入れたのに操作できない
PINコードを入力する画面が表示されていませんか。
→P94

● 本端末の動作が遅くなった／アプリケーションの動作が不安定になった／一部のアプリケーションを起動できない
本端末のメモリの空き容量が少なくなると動作が安定しません。空き容量が少ない旨のメッセージが表示された場合は、不要なアプリケーションなどを削除してください。→P91

● アプリケーションが正しく動作しない（アプリケーションが起動できない、エラーが頻繁に起こる）
無効化されているアプリケーションはありませんか。無効化されているアプリケーションを有効にしてから、再度操作してください。→P91

● データが正常に表示されない／タッチパネルを正しく操作できない
電源を入れ直してください。→P32

■ メール

● 新着メールを知らせる通知アイコンが表示されない
- 次の設定を変更していませんか。
  - SMSの設定の通知→P59
  - Eメールのアカウント設定のメール着信通知→P62

■ ワンセグ・カメラ

● ワンセグの視聴ができない
- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送波の弱い場所にいませんか。
- チャンネルを設定していますか。→P128

● カメラで撮影した静止画や動画がぼやける
カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。

■ 海外利用

● 海外で、電波状態アイコンが表示されているのに本端末が使えない
WORLD WINGのお申し込みをされていますか。
WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

● 海外で、圏外が表示され本端末が使えない
- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。
- 利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。
- ネットワークモードの種類を［LTE/3G/GSM(自動)］に変更してください。→P147
- 通信事業者を［自動選択］に設定してください。→P147
- 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。

● 海外で利用中に突然、本端末が使えなくなった
利用停止目安額を超えていませんか。国際ローミング（WORLD WING）のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

● 海外でデータ通信ができない
データローミングの設定を確認してください。→P147

■ データ管理

●microSDカードに保存したデータが表示されない

microSDカードを取り付け直してください。→P28

●データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

■ Bluetooth機能

●Bluetooth機器と接続ができない／サーチしても見つからない

Bluetooth機器を登録待機状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度、機器登録を行う場合は本端末とBluetooth機器の両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。

■ 地図・GPS機能

●オートGPSサービス情報が設定できない

- 電池残量が少なくなり、オートGPS機能が停止していませんか。低電力時動作設定により、オートGPS機能が停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、低電力時動作設定を［停止しない］に設定するか、または、充電をすることで設定できるようになります。→P73
- オートGPS動作設定が［OFF］になっていませんか。→P73
- GPS機能が［OFF］になっていませんか。GPS機能がOFFの場合、オートGPS機能は停止します。→P73

■ その他

●指紋認証や登録の際、センサーに指を触れていないのに［滑らせ方が速すぎます。］［滑らせ方が遅すぎます。］などと表示される

センサー表面が濡れていたり、結露していたりすることが考えられます。柔らかい布で水分を取り除いてからご使用ください。

●指紋センサー利用時にディスプレイの表示が消える

指紋センサーを押してしまうと、スリープモードになります。指紋センサーを押さない程度の力で指をスライドさせてください。

●ディスプレイがちらつく

画面の明るさ設定の［明るさを自動調整］にチェックを付けていると、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されたとき、ちらついて見える場合があります。→P85

●ディスプレイに常時点灯する／点灯しないドット（点）がある

ディスプレイは非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯するドットや点灯しないドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

●ディスプレイに残像が残る

しばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

●ディスプレイの端から光が漏れている

ディスプレイを斜めにして見ると光が漏れていることがありますが不良品ではありません。あらかじめご了承ください。

- **パソコンなどと本端末を接続したときに指紋認証できない**
  デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器に本端末をUSBケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。
  アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。そのときは、接続する機器の金属部分（筐体や外部接続用コネクタなど）に触れながら指紋認証を行うか、本端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。
- **USBマスストレージに保存したデータが表示されない**
  USBマスストレージを取り付け直してください。
- **音声が出力されない**
  ワンセグ視聴中やメディアプレイヤーなどでのコンテンツ再生中にステレオイヤホンプラグを抜くと、再生が一時停止したり、音量が消音になります。
- **市販の外部機器（USBマウス、キーボードなど）が認識されない**
  市販のmicroUSB用変換アダプタを使用している場合は、microUSB用変換アダプタと外部機器を接続後、本体に接続してください。

◆ エラーメッセージ

- **しばらくお待ちください**
  音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
- **しばらくお待ちください（パケット）**
  パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
- **指紋センサーが起動できません。**
  指紋センサーが正常に動作できない場合に表示されます。指紋センサーが利用できなくなった場合は、お近くのドコモショップなど窓口までお問い合わせください。
- **操作できませんでした**
  ドコモminiUIMカードがPUKロックされた状態でPINロック解除コードを入力すると表示されます。ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。→P93
- **電池残量がありません。シャットダウンします。**
  電池残量がありません。充電してください。→P29
- **やり直してください**
  画面ロックの解除時に暗証番号またはパスワードが誤っていると表示されます。正しい暗証番号またはパスワードを入力してください。→P95
- **PINコードが正しくありません。残り回数：X回**
  正しくないPINコードを入力すると表示されます。正しいPINコードを入力してください。→P94

● SIMカードが挿入されていません
ドコモminiUIMカードが正しく挿入されていない場合に表示されます。ドコモminiUIMカードが正しく挿入されているか確認してください。

● SIM card 異常
このカードは認識できません。再起動します。ドコモUIMカード（FOMAカード）の金属部分の汚れは再起動の原因となります。金属部分は定期的な清掃をお勧めします。清掃には乾いた綿棒を使用してください。
ドコモminiUIMカードの金属部分が汚れている場合に表示されることがありますが故障ではありません。ドコモminiUIMカードの金属部分は定期的に清掃してください。

スマートフォンあんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモminiUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 スマートフォン遠隔サポートセンター
0120-783-360
受付時間：午前9:00～午後8:00（年中無休）へ電話

2 アプリケーションメニューで［遠隔サポート］
- 初めてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

3 ドコモからご案内する接続番号を入力

4 接続後、遠隔サポートを開始

本端末の初期化

本端末をお買い上げ時の状態に戻します。本端末にお客様がインストールしたアプリケーションや登録したデータは、一部を除きすべて削除されます。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→ユーザー設定の[その他...]→[初期化]→[データの初期化]→[携帯端末をリセット]**

- セキュリティ解除方法が設定されているときは、認証操作が必要です。

2 **[すべて消去]**

リセットが完了してしばらくたつと、本端末が再起動します。

- 初期化中に電源を切らないでください。

✔お知らせ

- プライバシーモード中に端末の初期化を行うと、プライバシーモード設定をしているmicroSDカード内のデータは、アクセスできなくなります。microSDカードを取り付けた状態でプライバシーモードを無効にしてから、初期化を行ってください。→P100
- タッチパネル操作が正しく動作しない場合などは、電源を入れ直してください。

保証とアフターサービス

❖保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無料保証期間は、お買い上げ日より１年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって連絡先などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え連絡先などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、連絡先などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

❖アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください（→P148）。それでも調子がよくないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 次の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や、内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ステレオイヤホン端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書巻末の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■ お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 次のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - 液晶部やキー部にシールなどを貼る
  - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定してくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末のスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（連絡先機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化、消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

F-05Eのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページでご案内いたします。

- 更新方法は、次の3種類があります。
  自動更新：更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。
  即時更新：今すぐ更新を行います。
  予約更新：予約した時刻に自動的に更新します。

✔お知らせ

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した連絡先、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

◆ ご利用にあたって

- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。更新時は充電ケーブルを接続することをおすすめします。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 圏外が表示されているとき※
  - 国際ローミング中※
  - 機内モード中※
  - OSバージョンアップ中
  - 日付と時刻を正しく設定していないとき
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ソフトウェア更新に必要なメモリ空き容量がないとき

※ 圏外、国際ローミング中は、Wi-Fi接続中であっても更新できません。

- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、各種通信機能およびその他の機能を利用できません。
- ソフトウェア更新は電波状態のよい所で、移動せずに実施することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新が不要な場合は、［更新の必要はありません。このままお使いください］と表示されます。
- 国際ローミング中、または圏外にいるときは［ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はWi-Fi接続中であってもダウンロードを開始できません］または［ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はWi-Fi接続中であっても書換え処理を開始できません］と表示されます。Wi-Fi接続中も同様です。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。

- ソフトウェア更新の際、お客様のF-05E固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合に、端末が起動しなくなることや、［ソフトウェア更新に失敗しました。］と表示され、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中でPINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

◆ ソフトウェアの自動更新

更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。

❖ソフトウェアの自動更新設定

- お買い上げ時は、自動更新設定が［自動で更新を行う］に設定されています。

1 **アプリケーションメニューで［設定］→［端末情報］→［ソフトウェア更新］→［ソフトウェア更新設定の変更］**

2 **［自動で更新を行う］／［自動で更新を行わない］**

❖ソフトウェア更新が必要になると

更新ファイルが自動でダウンロードされると、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が通知されます。

- （ソフトウェア更新有）が通知された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、（ソフトウェア更新有）は消えます。

1 **通知パネルを開き、通知をタップ**

書換え予告画面が表示されます。

書換え予告画面

2 **目的の操作を行う**

確認終了：［OK］
ホーム画面に戻ります。設定時刻になると更新を開始します。

時刻の変更：［開始時刻変更］
予約更新→P161「ソフトウェアの予約更新」

すぐに書き換える：［今すぐ開始］
即時更新→P160「ソフトウェアの即時更新」

✔お知らせ

- 更新通知を受信した際に、ソフトウェア更新ができなかった場合には、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が通知されます。
- 書き換え時刻にソフトウェア書き換えが実施できなかった場合、翌日の同じ時刻に再度書き換えを行います。

- 自動更新設定が［自動で更新を行わない］に設定されている場合やソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

◆ ソフトウェアの即時更新

すぐにソフトウェア更新を開始します。

- ソフトウェア更新を起動するには書換え予告画面から起動する方法と設定メニューから起動する方法があります。

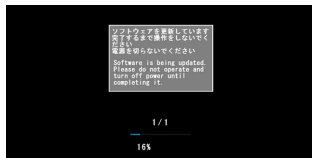
〈例〉設定メニューからソフトウェア更新を起動する

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[端末情報]→[ソフトウェア更新]→[更新を開始する]→[はい]**

- ソフトウェア更新の必要がないときには、［更新の必要はありません。このままお使いください］と表示されます。

書換え予告画面からの起動：書換え予告画面を表示→［今すぐ開始］

2 **[ソフトウェア更新を開始します。他のソフトはご利用にならないでください]と表示され、約10秒後に自動的に書き換え開始**

- ［OK］をタップすると、すぐに書き換えを開始します。
- 更新中は、すべてのボタン操作が無効となり、更新を中止することができません。
- ソフトウェア更新が完了すると、自動的に再起動が行われ、ホーム画面が表示されます。

❖ソフトウェア更新完了後の表示

ソフトウェア更新が完了すると、ステータスバーに☑が通知されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、更新完了画面が表示されます。

◆ ソフトウェアの予約更新

更新ファイルのインストールを別の時刻に予約したい場合は、ソフトウェア書き換えを行う時刻をあらかじめ設定しておきます。

1. **書換え予告画面を表示→[開始時刻変更]**
2. **時刻を設定→[設定]**

❖予約の時刻になると

開始時刻になると［ソフトウェア更新を開始します。他のソフトはご利用にならないでください］と表示され、約10秒後に自動的にソフトウェア書き換えが開始されます。

✔お知らせ

- 更新中は、すべてのボタン操作が無効となり、更新を中止することができません。
- 開始時刻にソフトウェア更新が開始できなかった場合には、翌日の同じ時刻にソフトウェア更新を行います。
- OSバージョンアップ中の場合、予約時刻になってもソフトウェア更新は行われません。
- 開始時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合でも、ソフトウェア更新は実施されます。
- 開始時刻にF-05Eの電源を切った状態の場合、電源を入れた後、予約時刻と同じ時刻になったときにソフトウェア更新を行います。
- ソフトウェア更新実施時にステータスバーに❗（ソフトウェア更新を中断しました 本体メモリの空き領域をご確認のうえ、再度更新を行ってください）が通知された場合には、本端末のメモリの空き容量を確認し、再度ソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新実施時にステータスバーに❗（ソフトウェア更新を中断しました 端末の状態をご確認のうえ、再度更新を行ってください）が通知された場合は、次の状態でないことを確認し、再度ソフトウェア更新を行ってください。
  - 圏外
  - 他機能との競合

主な仕様

■本体

項目		仕様
品名		F-05E
サイズ		高さ約169mm×幅約259mm×厚さ約9.9mm（最厚部：約9.9mm）
質量		約589g
メモリ		ROM：32GB RAM：2GB
連続待受時間※1	FOMA／3G	静止時（自動）：約2190時間
	GSM	静止時（自動）：約1590時間
	LTE	静止時（自動）：約1430時間
ワンセグ視聴時間※2		約510分
モバキャス視聴時間※3		約380分
充電時間※4	ACアダプタ F07	約300分（卓上ホルダ F39併用）
	ACアダプタ 03	約800分
	DCアダプタ 03	約950分
ディスプレイ	種類	TFT
	サイズ	約10.1inch
	発色数	16777216色
	ドット数	横1920ドット×縦1200ドット（WUXGA）
撮像素子	種類	アウトカメラ：CMOS インカメラ：CMOS
	サイズ	アウトカメラ：1／4.0inch インカメラ：1／8.2inch
カメラ有効画素数		アウトカメラ：約810万画素 インカメラ：約130万画素
記録画素数（最大時）		アウトカメラ：約800万画素 インカメラ：約120万画素
デジタルズーム	静止画	アウトカメラ：最大約12.0倍（32段階）
	動画	アウトカメラ：最大約8.0倍（32段階）
無線LAN		IEEE802.11a/b/g/n※5準拠
Bluetooth機能	バージョン	4※6
	出力	Power Class 1
	見通し通信距離※7	約10m以内
	対応プロファイル※8	HSP、DUN、OPP、SPP、HID、A2DP、AVRCP、PBAP、HDP、ANP、TIP、PXP、PASP、FMP

※1 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

なお、内蔵電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、待受時間が約半分程度になる場合があります。また、インターネット接続をしなくてもアプリケーションを起動すると待受時間は短くなります。

※2 ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で視聴できる時間の目安です。

※3 モバキャス視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で視聴できる時間の目安です。

※4 充電時間とは、本端末の電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電したときの目安です。本端末の電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

※5 IEEE802.11nは、2.4GHz／5GHzに対応しています。

※6 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※7 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。

※8 Bluetooth機器の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

■内蔵電池

使用電池	リチウムポリマー電池
公称電圧	3.7V
公称容量	10080mAh（37Wh）

❖ファイル形式

本端末で撮影した静止画と動画は次のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画ファイル	JPEG	jpg
動画ファイル	MP4	3gp

❖静止画の撮影枚数（目安）

画像サイズ	本体	microSDカード（1GB）
VGA（640×480）	約180000枚	約8000枚

❖動画の撮影時間（目安）

画像サイズ	本体	microSDカード（1GB）
VGA（640×480）	約1035分（1件あたり約87分）	約43分

❖ワンセグの録画時間（目安）

microSDカード（1GB）	microSDHCカード（32GB）
約320分	約10240分（1件あたり約360分）

※ microSDカードの空き容量や、録画する番組の内容（データ放送の容量など）によって変化します。

認定および準拠について

本端末に固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）は、本端末で以下の操作を行うとご確認いただけます。
アプリケーションメニューで［設定］→［端末情報］→［認証］

Declaration of Conformity

The product "F-05E" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.fmworld.net/product/phone/doc/.

Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
  Operation is subject to the following two conditions :
  ① this device may not cause harmful interference, and
  ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.
- The device complies with 15.205 of the FCC Rules.

FCC RF Exposure Information

This model device meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves.
This model device contains a radio transmitter and receiver. This model device is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless tablet PC employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the device while operating can be well below the maximum value. This is because the device is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the device.
Before a tablet PC model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model device as reported to the FCC, when worn on the body, is 0.614W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels at various positions, they all meet the U.S. government requirements.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model device is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ (please search on FCC ID VQK-F05E).
For body worn operation, this device has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the device a minimum of 1.5 cm from the body.
※In the United States, the SAR limit for wireless tablet PC used by the general public is 1.6

Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules.

These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Tablet PC should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the device in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a tablet PC and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker.

Hearing Aids

Some digital wireless devices may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices :

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

Warning

This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.

<Prevention of Hearing Loss>

Warning statement requirement under EN 60950-1:A12.

Warning: To prevent possible hearing damage, do not listen to high volume levels for long periods.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

◆ 著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

◆ 商標

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「Xi」「Xi／クロッシィ」「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉモーション」「デコメール®」「トルカ」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「ｉチャネル」「WORLD WING」「エリアメール」「spモード」「eトリセツ」「dメニュー」「dマーケット」および「Xi」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Document Viewerを搭載しています。ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。

- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。本書ではExcel、Wordのように表記している場合があります。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- GoogleおよびGoogleロゴ、AndroidおよびAndroidロゴ、Google PlayおよびGoogle Playロゴ、Gmail、Google LatitudeおよびGoogle Latitudeロゴ、YouTubeおよびYouTubeロゴ、Googleマップ、GoogleマップナビおよびGoogleマップナビロゴ、GoogleトークおよびGoogleトークロゴ、GoogleローカルおよびGoogleローカルロゴ、Google音声検索、Google+およびGoogle+ロゴ、Picasa、Google ChromeおよびGoogle Chromeロゴ、Google Playブックスは、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- Bluetooth® smart readyとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

- aptXはCSR plc.の商標です。
- 「milock」はオーセンテック株式会社の登録商標です。
- 「UD新丸ゴ」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WMM®、Wi-FiロゴおよびWi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™、WPA™、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™およびWi-Fi Direct™はWi-Fi Allianceの商標です。

- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。

- DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™は、Digital Living Network Allianceの商標です。
  DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
  本機のDLNA認証は富士通株式会社が取得しました。
- OBEX™は、Infrared Data Association®の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- FrameSolidは株式会社モルフォの登録商標です。
- DigiOn及びDiXiMは株式会社デジオンの商標です。
- StationMobile®は株式会社ピクセラの登録商標です。

- TouchSense® Technology and MOTIV™ Integrator Licensed from Immersion Corporation and protected under one or more of the following United States Patents: 5844392, 5959613, 6088017, 6104158, 6147674, 6275213, 6278439, 6300936, 6424333, 6424356, 6429846, 7091948, 7154470, 7168042, 7191191, 7209117, 7218310, 7369115, 7592999, 7623114, 7639232, 7656388, 7701438, 7765333, 7779166, 7821493, 7969288 and additional patents pending.
- MHLおよびMHLロゴは、MHL, LLCの商標または登録商標です。

- 「モバキャス」は、株式会社ジャパン・モバイルキャスティングの登録商標です。
- 「NOTTV」及び「NOTTV」ロゴは、株式会社mmbiの商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

◆ その他

- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。
- FrameSolidは株式会社モルフォの画像フレーム補間機能です。
- お買い上げ時、端末本体メモリには以下の辞書コンテンツがインストールされています。
  本端末で辞書コンテンツをダウンロードする場合、通信環境によっては膨大なパケット通信が発生しますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
  お手持ちのパソコンを使ってダウンロードした場合には、microSDカードへコピーし、本端末に取り付けてください。
  〈岩波書店〉
  広辞苑第六版 DVD-ROM版（新村出編）
  〈研究社〉
  リーダーズ英和辞典　第2版（松田徳一郎編）
  新和英中辞典　第5版（Martin Collick、David P.Dutcher、田辺宗一、金子稔編）

〈大修館書店〉
新漢語林MX（鎌田正、米山寅太郎著）
みんなで国語辞典② あふれる新語（北原保雄編著／「もっと明鏡」委員会編集）
KY式日本語（北原保雄編著／「もっと明鏡」委員会編集）
問題な日本語（北原保雄編（北原保雄、小林賢次、砂川有里子、鳥飼浩二、矢澤真人執筆））
築地魚河岸ことばの話（生田與克、冨岡一成著）
裁判おもしろことば学（大河原眞美著）
〈自由国民社〉
現代用語の基礎知識2012年版（自由国民社編）
〈小学館〉
家庭医学館（総編集　柳下徳雄／服部光男／岡島重孝／小学館・家庭医学館編集委員会）
〈角川学芸出版〉
角川類語新辞典（大野晋、浜西正人著）
〈三省堂〉
デイリー日中英・中日英辞典（池田巧監修／三省堂編修所編）
デイリー日韓英・韓日英辞典（福井玲・尹亭仁監修／三省堂編修所編）
デイリー日独英・独日英辞典（渡辺学監修／三省堂編修所編）
デイリー日仏英・仏日英辞典（村松定史監修／三省堂編修所編）
デイリー日伊英・伊日英辞典（藤村昌昭監修／三省堂編修所編）
デイリー日西英・西日英辞典（上田博人、アントニオ・ルイズ・ティノコ監修／三省堂編修所編）
デイリー日中英3か国語会話辞典（池田巧・胡興智監修／三省堂編修所編）
デイリー日韓英3か国語会話辞典（尹亭仁監修／三省堂編修所編）
デイリー日独英3か国語会話辞典（渡辺学監修／三省堂編修所編）
デイリー日仏英3か国語会話辞典（村松定史監修／三省堂編修所編）
デイリー日伊英3か国語会話辞典（藤村昌昭監修／三省堂編修所編）
デイリー日西英3か国語会話辞典（山村ひろみ監修／三省堂編修所編）

◆ オープンソースソフトウェア

- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアに当社が必要な改変を施して使用しております。
- 本製品には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License（LGPL）、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれております。ライセンスに関する詳細は、アプリケーションメニューで［設定］→［端末情報］→［法的情報］→［オープンソースライセンス］をご参照ください。
- 本製品で使用しているオープンソースソフトウェアのソースコードは、GPL（http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html、http://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.html）、LGPL（http://www.gnu.org/licenses/lgpl-2.1.html）、MPL（http://www.mozilla.org/MPL/MPL-1.1.html）、CPL（http://www.eclipse.org/legal/cpl-v10.html）の規定に従い開示しております。
詳細については以下のサイトの本製品に関する情報をご参照ください。
http://spf.fmworld.net/fujitsu/c/develop/sp/android/

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式では、ご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

索引

機能名やキーワードを列挙した索引には、「五十音目次」としての機能もあります。なお、「登録」「削除」などの操作については、まず1階層目（**太字**）の機能名やキーワードで検索したのち、2階層目の索引項目から探してください。

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

英数字・記号

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

spモードから	dメニュー ⇒「お客様サポート」 ⇒「各種お申込・お手続き」 （パケット通信料無料）
パソコンから	My docomo （http://www.mydocomo.com/） ⇒ 各種お申込・お手続き

※spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、本書巻末の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ず本端末の電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■ 運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●バイブ→P84
受信したことを、振動でお知らせします。

●マナーモード／オリジナルマナー→P82
着信音や操作音など本端末から鳴る音を消します（マナーモード）。
音の種類ごとに音量とバイブレーションを設定できます（オリジナルマナー）。
※ただし、シャッター音は消せません。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉(24時間受付)

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6832-6600*(無料)

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8000120-0151*

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号/ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について
〈ネットワークオペレーションセンター〉(24時間受付)

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6718-1414*(無料)

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8005931-8600*

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号/ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

総合お問い合わせ先 〈ドコモ インフォメーションセンター〉	故障お問い合わせ先
■ドコモの携帯電話からの場合 (局番なしの) 151 (無料) ※一般電話などからはご利用になれません。 ■一般電話などからの場合 0120-800-000 ※一部のIP電話からは接続できない場合があります。 受付時間　午前9：00～午後8：00　(年中無休)	■ドコモの携帯電話からの場合 (局番なしの) 113 (無料) ※一般電話などからはご利用になれません。 ■一般電話などからの場合 0120-800-000 ※一部のIP電話からは接続できない場合があります。 受付時間　24時間　(年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　富士通株式会社

'12.11(1.1 版)
CA92002-7945